第29卷 第1号



兵庫昆虫同好会

ヒメヒカゲの観察記録 立岩幸雄

はじめに

加古川市内某所で観察したヒメヒカゲについて報告する。ヒメヒカゲはオオウラギンヒョウモン、ヒョウモンモドキ、ウスイロヒョウモンモドキ、オオルリシジミ、ミヤマシジミ、シルビアシジミなど草原性の蝶と同様、全国的には急激にその数を減らしているといわれているが、兵庫県播磨地方各地の生息地においては環境が保たれているせいか、まだ健在である。発生域の広さ、発生数とも、全国的に見て現在では最も密度の濃い生息地であろうと思われる。昨年、成虫の発生時期である5月末から7月はじめにかけて観察した結果を報告する。

観察地の概要

加古川市内北部の標高130mの丘のふもとの東側斜面である。自生している植物としては、マツ、サカキ、ツツジ類、ヤマモモなどであるがいずれも疎らにしかはえておらず、しかも高さ2m以下の低木である。地表近くではヒメヒカゲの食草であるスゲ類、カヤツリグサ類、ルリタテハの食草であるサルトリイバラが茂っているが地表むき出しの個所も多くある。またモウセンゴケの一種やイシモチソウといった食虫植物も見られることから酸性土壌であると考えられ、この影響で高木が自生しない環境を形作っていると考えられる。一般的な印象としては明るい乾燥草原である。

観察エリア

観察エリアの広さは50m×50m、100m×200mの2 ヵ所とした。場所の選定根拠は比較的成虫の密度が



イネ科植物の葉上に止まるヒメヒカゲ

濃かったこと、歩行が容易であったことである。観察はこのエリア内に一定の歩行ルートを設定して、 そのルート上で行った。

観察期間

5月27日の初見にはじまり、3頭まで目撃数が減った7月1日までの36日間である。一昨年の初見日も5月28日であったことから当地においては例年5月末には成虫が現れると考えられる。

観察記録

観察日、天候、観察開始時間、観察時間、目撃数、 その他、を表1に示す。

観察日については1週間以上間隔を空けないように 心掛けた。観察開始時間については毎回一定の時間 が望ましいとは承知しながらも、結果的にはランダ ムな時間になってしまった。観察時間は毎回おおむ ね30分程度としたが、30分より時間がかかってい る日はより詳しく調査しているのではなく、写真撮 影に費やした時間が加算されているためである。目 撃数については選定した歩行ルート上で確認した概 算数を示しており、エリア内の発生数の全てを網羅 したものではない。また6月11日に観察エリア内で 採集者2人を見かけ、この採集によって発生数のカ ウントに影響を受けたと思われるが、影響の大きさ は不明である。♂、♀、計の目撃数を縦軸に、日の 経過を横軸に、結果を図1のグラフに示す。これか ら判断できることは♂と♀の発生のピークに約10日 間のずれがあること。累積発生数は♂.早ともほぼ 同じか若干♀が少なめであることである。

活動

雨天及び極端な強風日以外は日の出から日没まで活動している。また雨天であっても、少しの止み間には翅の開閉を間欠的に行うが、ウラナミジャノメやヒメウラナミジャノメのように活発に行わない。ひとの気配を敏感に感じるらしく近づくと飛び立つことが多いが飛翔力は弱いため潅木の間や地表を"ピョンピョン"と飛び跳ねるように移動する。交尾については6月2日の早朝に1例と6月16日の午後に2例確認した。いずれも♀が上の状態で垂直な枝に止っていた。発生数からみて♂の破損個体が増える6

観察日 5月		5月27日	5月28日	6月2日	6月4日	6月11日	6月16日	6月24日	7月1日
天 気		雨	はれ	はれ	くもり	くもり	はれ	くもり	はれ
観察開始時間		14:00	14:10	7:00	16:05	14:45	16:00	10:15	5:00
観察時間(分)		30	30	40	60	45	30	30	30
目撃数	8	5	10	26	約50	約40	約20	0	0
	9	1	0	4	約10	約35	約50	約20	3
	計	6	10	30	約60	約75	約70	約20	3
その他				交尾1P 目撃	♂破損はまる	♂ ♀ 同 比率,ウラ ナミジャノメ	ご全て 破損,♀ 3割破損 交尾	♀全て 破損,ジ +ノメ現る	ジ*/メ多い

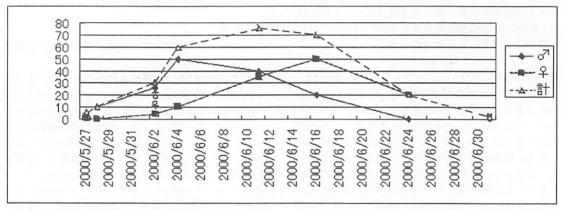
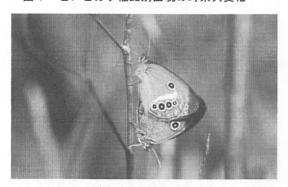


図1 ヒメヒカゲ性比別出現の時系列変化

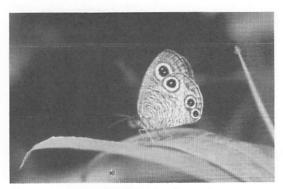


交尾するヒメヒカゲ

月10日ころから交尾個体が増えると考えられるが、 一昨年に同じエリア内で5月30日に産卵場面を目撃 しているので、♀は羽化後すぐ交尾し、すぐに産卵 をはじめていると予想される。成虫の寿命は♂で10 日前後、♀で2週間程度と思われる。やや♂が短い のは探雌行動で活発に飛びまわるためである。6月 11日にそれほど破損していない♂の個体が力尽きているのを2例目撃した。今回の観察中には訪花・吸 蜜には出合わなかった。

ウラナミジャノメとの混生

ヒメヒカゲ生息地内の限られたエリアにウラナミジャノメを見ることができる。限られたエリアというよりは"点"のような非常に狭い場所である。このような場所は水脈が地表に露出しているところばかりである。これはウラナミジャノメの食草となそれとは種類が違い、より親水性な種であることを物語っている。ウラナミジャノメの発生数についてとりがの10分の1以下、発生期間も3週間とヒメヒカゲの10分の1以下、発生期間も3週間とヒメヒカゲよりやや短い。ウラナミジャノメが姿を増りたよりやや短い。ウラナミジャノメも発生してよりでありまりであります。



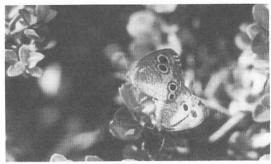
葉上に止まるウラナミジャノメ

ない。明るい草原にはウラナミジャノメ、暗いジメジメした陰性環境にヒメウラナミジャノメが生息している。両者の生息エリアの最短距離は50mもないところがある。当地のウラナミジャノメは第1化の発生しかみないようである。

おわりに

当エリアでヒメヒカゲの観察を行って昨年は2シ

ーズン目であった。あくまで成虫だけの観察であったが、観察地に通う回数が増えれば増えるほど新たな場面に出合うことが出来た。しかしながらその半面、新たな疑問も起こってきた。特に成虫以外の通年生態についておりをみて調査・観察したいと考えている。



交尾するウラナミジャノメ

(TATEIWA YUKIO 加古川市加古川町西河原97-7 サンロイヤル加古川リバージュII 713)

雌岡山のギフチョウ 山口 福男

神戸市西区の雌岡山(メッコサン)の山頂にギフチョウが飛来することは神戸の蝶マニアの間では周知のことであるが、その数は多いと言えるものではない。私の経験では絶好の条件の日を選んで訪ねても必ず出会えるとは限らず、1頭でも見ることのできる確率は50%以下であった。この山のギフチョウのことを私が知ったのは1955年で吉坂道夫さんからの情報によるものであった。翌年(1956)教えられたとおりソメイヨシノの満開になるのを待って穏やかな晴天の日を選んで登山した。そして念願のギフチョウにはじめて出会うことができた。それからは取り付かれたように1991年まで、この山の頂上に祭られた神出神社詣でが続くことになった。途中4回の欠則があるものの32年分の記録が得られたのでここに報告する。

調査方法

4月上旬から中旬の間の1日を選び、午前11時か

ら12時までの間に山頂の境内に飛来する成虫を数え た。上記の方法ははじめからこのように計画したの ではなく、何年か調査を続けているうちに自然に同 じ方法に固定していたのであった。ギフチョウが山 頂に飛来する日はソメイヨシノの開花と同調してい て、いるとすれば開花期間中の穏やかな晴天日なら ば間違いなく会うことができた。飛来が多いと1日 だけの観察で満足できたので重ねて調査をしなかっ たが、少なかったり1頭も見ることができなかった 年には始めの頃は何日か調査していたが結果は同じ であったので、いつしか年に1回となった。観察の 時刻と時間は、ギフチョウのことをあまり知らなか った頃は長時間粘っていたが、そのうち飛来し始め るのは午前11時前後で12時を過ぎると姿を見せな くなることがわかってからは昼前の1時間だけ観察 することにした。飛来数は多いときでも数分おきに 1頭程度で、しかも通過するだけの個体が殆どであ ったので、1時間の間に見ることのできた数を集計

表1 1956年から1991年までの雌岡山におけるギフ チョウ観察記録一覧表

	西暦	月日	اجى	우	計						
	1956	4月12日	3	1	4						
2	1957	4月14日	18	0	18						
3	1958	4月16日	9	1	10						
4	1959	4月 -	0	0	0						
5	1960	4月 9日	1	0	1						
6	1961	4月 -	0	0	0						
	1962年~1965年まで欠測										
7	1966	4月 —	0	0	0						
8	1967	4月 -	0	0	0						
9	1968	4月14日	1	0	1						
10	1969	4月 —	0	0	0						
11	1970	4月 -	0	0	0						
12	1971	4月 -	1	0	1						
13	1972	4月15日	1	0	1						
14	1973	4月18日	1	0	1						
15	1974	4月12日	1	0	1						
16	1975	4月10日	1	0	1						
17	1976	4月 -	0	0	0						
18	1977	4月 -	0	0	0						
19	1978	4月 -	0	0	0						
20	1979	4月10日	3	0	3						
21	1980	4月 -	0	0	0						
22	1981	4月 3日	16	0	16						
23	1982	4月 -	0	0	0						
24	1983	4月 5日	6	1	7						
25	1984	4月17日	0	0	0						
26	1985	4月16日	0	0	0						
27	1986	4月21日	0	0	0						
28	1987	4月15日	1	0	1						
29	1988	4月 一	0	0	0						
30	1989	4月 —	0	0	0						
31	1990	4月 —	0	0	0						
32	1991	4月16日	0	0	0						

するだけとした。この場合、同一個体が周回していれば重複カウントする心配があるが、このことについては1957,1958年の経験からその可能性は少ないと判断した。当時は多くの標本を必要としたので、飛来個体を可能な限り捕獲し、完全個体は残して鱗粉のはげたのや傷のあるのは放していたが、同じ破損状態の個体が再捕獲されることはなかった。

調査結果

1956年から1991年の間に調査できた32回のうち ギフチョウの姿を見ることができたのは14回で、率 にすると44%になる。最も多く飛来したのは1957年 で18頭を見ている。この年の前後数年間は毎年飛来 を見ているが、1959年は姿を見せず、1960年は1頭 だけで1961年は再び観察できなかった。その後4年 間欠測し1966年から調査を再開したが、1968年に1 頭見ただけで1970年まで0が続いた。1971年から19 75年までは飛来するが毎年1頭だけで、1976年から 3年間、またも出会うことができなかった。1979年 からは隔年に3,16,7頭の飛来を見たあと、1984年以 降調査を終了した1991年までの間は1987年の1頭だ けであった。以上をまとめてみると32年のうち飛来 を見たのは14回、そのうち1頭だけが8回、2頭以上 観察できたのは6回あり、この間に多いと感じたの は1956年から1958年の間と1979年から1983年の間 であった。以上の観察結果から雌岡山のギフチョウ は普段の年の生息密度はかなり低いままで経過し、 密度が上昇しはじめると数年間持続するようである が、はじめの多発から次の多発まで20年も間隔があ った。

私はこの山に飛来するギフチョウが何処で育っているか知らない。山頂付近でないことは断言できる。また、南斜面でもない。このあたりは食草のヒメカンアオイは非常に少なく、とうてい発生源になるとは思えない。ヒメカンアオイはこの山の北麓から押部谷にかけて散在する林の周辺に生育していることから見て、ギフチョウは案外違いところから山頂めがけて集まってくると考えるのが無難かもしれない。

(YAMAGUCHI FUKUO

神戸市須磨区神ノ谷3丁目6-4)

兵庫県の蝶観察記録 ―食餌植物― 広畑政巳・近藤伸一

県内で確認できた蝶の食餌植物について各1例報告する。県内に分布する蝶のうち、今回食草が確認できたのは91種であった。調査結果をみて意外であったのは成虫がごく普通に見られ、食草の見当はつくものの自然状態での食草が確認できていな種が多数あったことである。日頃良く観察していなかったり、また観察していても記録として残していないことが多いことも判った。

具体的にはウスバシロチョウ、カラスシジミ、ほとんどのヒョウモン類、イチモンジチョウ、コミスジ、ウラナミジャノメ、ヒメウラナミジャノメ、ヒメヒカゲ、ギンイチモンジセセリ、ホシチャバネセセリ、ミヤマチャバネセセリ、ヒメキマダラセセリ、スジグロチャバネセセリなどである。ウラナミジャノメなどは全国的にみても自然状態での食草は確認されていないようで、今後の課題である。

記載した食草名のうちササ゚としているのはチシスマザサなどのいわゆるクマザサと呼ばれている葉の幅の広いササで種名が確認出来なかったものをすべてササ゚とした。ハギ類、ススキ類についても同定が出来なかったため単にハギ、ススキとした(なお、植物名は半角カタカナで表記している)。

最後になったが、観察記録をご教示いただいた岩村 巌、内海功一、佐々木 薫、大東康人、竹内 隆、 唐士洋一の各氏にお礼申し上げる。

〈ギフチョウ〉

ウスパサイシン 温泉町菖蒲池 1卵塊5卵

2-VI-1984 足立義弘 1)

ヒメカンプオイ 西脇市八坂町 幼虫 8-VI-1986 広畑政巳 サンインカンプオイ 生野町栃原 80卵確認

10-V-1981 近藤伸一

ミナコアオイ 篠山市(西紀町)下板井 2卵塊 -V-1991 近藤伸一

〈ウスパシロチョウ〉

ムラサキケマンの茂っている地面枯れ枝への産卵(千草町 魔巣)やムラサキケマンの茂る場所での幼虫の確認例はあるが、ムラサキケマンを幼虫が食べているところは確認 できていない。

〈アオスジアゲハ〉

クスノキ 姫路市西蒲田 産卵 30-VIII-1981広畑政巳 ヤプニッケイ 御津町室津 産卵 13-VIII-1981 広畑政巳 タプ 高砂市時光寺町 3卵

19-VII-1981 近藤伸一

〈アゲハチョウ〉

サンショウ 夢前町熊部 産卵 3-V-1985 広畑政巳 イヌサ・ンショウ 明石市松蔭新田 産卵

27-VII-1987 近藤伸一

ウンシュウミカン 姫路市打越 幼虫 8-VI-1986 広畑政巳 ユズ 神戸市西区岩岡町 幼虫

5-V-2000 近藤伸一

[‡]/19 市川町上牛尾 幼虫 27-VII-1986 広畑政巳 〈キアゲハ〉

カラスサ゚ンショウ 相生市青葉台 終令幼虫

-X-1981 唐士洋一 2)

シシウト' 生野町黒川 終令幼虫

13-VI-1982 広畑政巳

カワラは、ウフク 関宮町杉が沢 幼虫 6-IX-1981 広畑政巳 ニンジ・ソ 姫路市打越 幼虫 10-X-1983広畑政巳 ミフハ・ 夢前町熊部 産卵 3-V-1985 広畑政巳 セリ 姫路市打越 産卵 2-VIII-1987広畑政巳 〈ナガサキアゲハ〉

7マナツ(ナッミカン)御津町室津 幼虫 9-X-1977 広畑政巳

カンジェクミカン 御津町室津 幼虫 9-X-1977 広畑政巳 ホ川町上牛尾 蛹 5-X-1986 広畑政巳

加古川市鶴林寺 幼虫23-IX-1980 墨谷 健

キンカン 相生市赤坂 幼虫 佐々木 薫

〈クロアゲハ〉

ウンジュウミカン 姫路市打越 産卵 26-VIII-1987 広畑政巳 カラスサ・ンジョウ 市川町上牛尾 幼虫 -VIII-1998 広畑政巳 〈モンキアゲハ〉

ウンシュウミカン 御津町室津 幼虫 9-IX-1981 広畑政巳 カラスサ ンショウ 洲本市安坂 卵・中、終令幼虫

13-VIII-1977 近藤伸一

コリヤナギ 相生市赤坂 幼虫 -VI-1977 佐々木薫 5) <オナガアゲハ>

コクサギ 市川町上牛尾 幼虫 -VII-1980 広畑政巳 <ジャコウアゲハ>

ウマノスス・クサ 安富町三坂 幼虫 15-V-1983 広畑政巳 ホソハ・ウマノスス・クサ(アリマウマノスス・クサ) 西播 唐士洋一 〈カラスアゲハ〉

 キハタ'
 市川町上牛尾 産卵12-IX-1998 広畑政巳

 サンショウ
 夢前町熊部 産卵 25VIII-1085 広畑政巳

コクサキ' 神戸市西区岩岡町 産卵

17-IX-1993 近藤伸一

〈ミヤマカラスアゲハ〉

キハタ・ 上郡町宇野山 幼虫 16-IX-1985 広畑政巳 カラスサ・ソショウ 村岡町長瀬 幼虫 -1989 近藤伸一

〈モンシロチョウ〉

夢前町熊部 産卵 28-IV-1985 広畑政巳

4ヌガラシ 夢前町熊部 産卵 28-IV-1985 広畑政巳 キャペッ 夢前町熊部 産卵 28-IV-1985 広畑政巳

Ad' 97 夢前町熊部 産卵 28-IV-1985 広畑政巳

クレオメ 市川町上牛尾 幼虫 15-IX-1986 広畑政巳 マメグンバイナズナ 姫路市打越 幼虫

26-VII-1987 広畑政巳

〈スジグロシロチョウ〉

ヒロハコンロンソウ 夢前町熊部 卵28-IV-1985 広畑政巳 イヌカ・ラシ 夢前町熊部 卵28-IV-1985 広畑政巳 オオハ・タネッケハ・ナ 夢前町熊部 卵28-IV-1985 広畑政巳 ケジ・キニンジ・ソ 波賀町赤西渓谷 幼虫 広畑政巳 スス・シシロソウ 神戸市中央区諏訪山 幼虫

18-V-1985 近藤伸一

セイヨウカラシナ 神戸市北区有野町 幼虫

17-V-1985 近藤伸一

〈エゾスジグロシロチョウ〉

^クサンハタザオ 福崎町新 幼虫 19-VI-1983 広畑政巳 <キチョウ>

礼 大河内町砥/峰 産卵

9-VⅢ-1981 広畑政巳

シロツメクサ 川西市黒川 産卵 22-VIII-1999 広畑政巳

フサアカシヤ 西宮市金仙寺 産卵

12-VIII-1997 近藤伸一

〈ツマグロキチョウ〉

かりラナップイ 関宮町葛畑 幼虫 28-VIII-1983 広畑政巳 〈モンキチョウ〉

マヤコク'サ 福崎町神谷 幼虫 14-VI-1981 広畑政巳

シロツメクサ 太子町大市中 幼虫 31-VII-1999 広畑政巳

†ハズソウ 太子町大市中 幼虫 31-VII-1999 広畑政巳

ムラサキッメクサ 姫路市打越 2-VI-1979 広畑政巳

レンゲ ソケ 福崎町田口 1幼虫 14-VI-1981 近藤伸一 〈ツマキチョウ〉

ハクサンハタザオ 福崎町市川堤防 産卵

26-IV-1980 広畑政巳

オオパタネツケパナ日高町阿瀬渓谷 幼虫

29-IV-1982 広畑政巳

セイョウカラシナ 神戸市北区有野町 幼虫

17-V-1985 近藤伸一

せ(ヨウカラシナ 西宮市山口町 10卵 29-IV-1981 近藤伸一 〈スジボソヤマキチョウ〉

Jバ/クロウメモドキ 阿瀬渓谷 5卵 25-IV-1982 広畑政巳 〈ウラギンシジミ〉

アジ 姫路市広峰山 5卵 9-V-1982 広畑政巳

クス' 安富町関 産卵 21-VIII-1982 広畑政巳 〈ベニシジミ〉

キ゚シキ゚シ 安富町三坂 幼虫 7-II-1981 広畑政巳 スイパ ″ 幼虫 15-V-1981 広畑政巳 〈ムラサキシジミ〉

マテパシイ 相生市山手町 幼虫

18-VIII-1991 唐士洋一

シリプカカ゚シ ″ 三濃山 ″ 17-IX-1989 広畑政巳 くトラフシジミ〉

ウッキ 市川町小室 産卵 6-V-1984 広畑政巳 カラスノエット・ウ 加古川市志方町 産卵 竹内 隆 〈ヤマトシジミ〉

カタハ'ミ 御津町室津 幼虫 21-VIII-1982 広畑政巳 〈シルピアシジミ〉

コマッナキ 上郡町赤松 産卵 5-VIII-1979 広畑政巳 ミヤコケ・サ 上郡町赤松 産卵 5-VIII-1979 広畑政巳 〈クロツバメシジミ〉

ッパレンケ' 上郡町柏野 幼虫 16-X-1983 広畑政巳 〈ツバメシジミ〉

†ハス゚ソウ 上郡町赤松 産卵 28-IX-1980 広畑政巳

ミナコグ サ 上郡町赤松 産卵 28-IX-1980 広畑政巳

コマッナギ 福崎町神谷 幼虫 10-X-1985 広畑政巳

シロツメクサ 北淡町野島 幼虫 5-VI-1999 広畑政巳

ハキ' 関宮町福定 幼虫 8-VIII-1982 広畑政巳 〈スギタニルリシジミ〉

トチノキ 波賀町赤西渓谷 卵 15-V-1983 広畑政巳 〈ウラナミシジミ〉

エント・ク 南淡町土生 幼虫 13-I-1985

インケ ソマメ 五色町広石中 卵 22-X-1977 広畑政巳

ハマエント' 南淡町灘 卵多数 22-X-1977 広畑政巳

ミナコグ サ 福崎町神谷 産卵 1-XI-1987 広畑政巳 ナフ・フルアス・キ 神戸市西区協谷町寺谷 産卵

24-IX-2000 近藤伸一

〈ルリシジミ〉

キ'シキ'シ 市川町上牛尾 産卵 13-VI-1999 広畑政巳

キハタ' 夢前町菅生潤 産卵 11-V-1986広畑政巳 ネムノキ 南淡町鳥取 産卵 5-VI-1999 広畑政巳

クララ 赤穂市春日 産卵 9-V-1976 広畑政巳

クズ 関宮町葛畑 幼虫 28-VIII-1983 広畑政巳

エピツ゚ル 日高町神鍋山 産卵

9-VIII-1987 近藤伸一 20)

〈ヤクシマルリシジミ〉

タチパナモドキ 南淡町沼島 幼虫

11-XI-1993 松野·小野 6)

セイヨウパラ 南淡町沼島 幼虫

11-XI-1993 松野·小野 6)

〈ウラミスジシジミ〉

相生市矢野町 27卵 30-X-1976 広畑政巳 ナラカ゜シワ

相生市矢野町 7卵30-X-1976 広畑政巳 コナラ

相生市矢野町 33卵30-X-1976 広畑政巳 クヌキ゛

〈ウラジロミドリシジミ〉

ナラカ・シワ 新宮町二柏野 5卵 6-I-1985 広畑政巳 〈ヒロオビミドリシジミ〉

上月町上秋里 11卵 15-II-1981 広畑政巳 浜坂町城山 卵 31-I-1993 永幡嘉之 8) 〈ハヤシミドリシジミ〉

カシワ 佐用町日名倉山 26卵

28-XII-1975広畑政巳

〈ヒサマツミドリシジミ〉

クラジロガシ 朝来町神子畑 10卵23-X-1982 広畑政巳 〈アイノミドリシジミ〉

生野町栃原 5卵 23-XI-1982 広畑政巳 ウラジロガシ 一宮町樅/木林道 卵 28-Ⅲ-1981 広畑政巳 〈ジョウザンミドリシジミ〉

生野町栃原 12卵 23-XI-1982 広畑政巳 〈エゾミドリシジミ〉

生野町栃原 15卵 23-XI-1982 広畑政巳 〈メスアカミドリシジミ〉

ソノイヨシノ 山東町与布土 幼虫 20-V-1984 広畑政巳 ヤマサ・クラの一種 福崎町田口 3卵 4-X-1984 広畑政巳 キンキマメザクラ 日高町稲葉三川山 9幼虫

24-IV-1999 大東康人

〈ミドリシジミ〉

ハンノキ 姫路市御立北山 幼虫 9-V-1982 広畑政巳 〈オオミドリシジミ〉

和田山町三波 幼虫 20-V-1984 広畑政巳 アヘ・マキ 小野市樫山町 10卵 16-IV-1978 近藤伸一 〈フジミドリシジミ〉

村岡町小城 卵 4-XII-1983 広畑政巳 プナ 生野町黒川 卵 24-III-1885 近藤伸一 イヌフ・ナ 〈オナガシジミ〉

オニグルミ 波賀町赤西渓谷 7幼虫

15-V-1983 広畑政巳

〈ミズイロオナガシジミ〉

ナラカ・シワ 新宮町二柏野 1卵 6-I-1985 広畑政巳 上郡町野桑 2卵 17-II-1980広畑政巳 コナラ 74, 54 " 佐用谷 卵 19-II-1984 広畑政已 〈ウスイロオナガシジミ〉

ナラカ゚シワ 新宮町二柏野 8卵 6-I-1985 広畑政巳 〈ウラキンシジミ〉

マルパアオダモ 姫路市告写山3卵 8-I-1978 広畑政巳 〈ウラゴマダラシジミ〉

夢前町大坪 18卵 23-XII-1984 広畑政巳 イポタ

〈アカシジミ〉

71, 44

和田山町三波 幼虫 20-V-1984 広畑政巳 コナラ 小野市樫山町 卵 27-I-1985 近藤伸一

加古川市志方町氷室 産卵 アラカシ

6-VI-1992 近藤伸一

〈ウラナミアカシジミ〉

ナラカ'シワ 新宮町牧 1卵 15-I-1984 広畑政巳 〈ウラクロシジミ〉

和田山町糸井渓谷 幼虫 マンサク

25-IV-1982 広畑政巳

〈アサギマダラ〉

キジョラン 南光町船越 幼虫6頭 3-I-1983 広畑政巳 〈テングチョウ〉

夢前町雪彦山産卵 29-IV-1983 広畑政巳 〈ツマグロヒョウモン〉

ピオラナセア(アメリカ産スミレ) 福崎町新幼虫

28-I-1978 広畑政巳

市川町寺家 産卵 16-VII-1984広畑政巳 ニョイスミレ

V. AA. – 姫路市打越 幼虫 24-VII-1987 広畑政巳

ノシ スミレ " 幼虫 22-VII-1987 広畑政巳

三原町論鶴羽山 幼虫3頭 コスミレ

31-VIII-1977 近藤伸一

〈ウスイロヒョウモンモドキ〉

村岡町大笹 幼虫 28-VIII-1983 広畑政巳 オミナエシ

関宮町杉が沢高原 幼虫(写真) オトコエシ

14-VIII-1979 広畑政巳

〈オオウラギンヒョウモン〉

食草嗜好調査(近藤)ではスミレを一番好んだが野生 状態では未知

〈ミドリヒョウモン〉

タチツポスミレ 上月町上秋里 幼虫 5-V-1982 広畑政巳 〈アカタテハ〉

一宮町志倉 産卵 16-X-1985 広畑政巳 クサマオ 一宮町志倉 産卵 16-X-1985 広畑政巳 アカソ オヒョウ 内海功一

カラムシ 浜坂町諸寄 若齢幼虫1頭

24-VI-1988 沂藤伸一

〈ヒメアカタテハ〉

3{‡° 上郡町赤松 幼虫 16-X-1983 広畑政巳 神戸市西区岩岡町 幼虫 ハハコク・サ

22-X-1983 近藤伸一 18)

チチコグサモドキ 神戸市西区岩岡町 幼虫

22-X-1983 近藤伸一 18)

コ゚゙ぉ゚゚ゥ 神戸市西区岩岡町 幼虫

2-VI-1984 近藤伸一

せ'こパアオイ 神戸市西区岩岡 幼虫

28-III-1999 近藤伸一 19)

オオオナモミ 北淡町江崎 若齢幼虫

18-X-1999 近藤伸一

カラムシ 相生市若狭野町 幼虫 1996 唐士洋一 9) 〈キタテハ〉

エノキ 姫路市保城 終令幼虫多数

23-V-1980 近藤伸一

高さ約3mのエノキを丸坊主にするほど大発生していた。

サナギ 岩村 巌

〈ルリタテハ〉

サルトリイハ・ラ 相生市小河 幼虫 22-VII-1980 広畑政巳 ホトトキ・ス 市川町上牛尾 " 19-IX-1999 広畑政巳 〈サカハチチョウ〉

クサマオ 夢前町左中 2卵 23-VIII-1981 広畑政巳 〈アサマイチモンジ〉

スイカズラ 夢前町雪彦山 産卵

25-VIII-1985 広畑政巳

〈ミスジチョウ〉

イロハモミシ' 夢前町山之内 幼虫 7-II-1982 広畑政巳 ヤマモミシ' 温泉町湯 幼虫1頭 17-XII-1982 近藤伸一 /ムラカエテ'(園芸種)三田市木器 幼虫3頭

10-IV-1982 近藤伸一

シダレモミジ(園芸種)神崎町越知 幼虫4頭

21-II-1982 近藤伸一

〈ホシミスジ〉

47. キシモツケ 赤穂市春日 幼虫3頭 1-V-1983 広畑政巳 zキャケギ 関宮町関宮 産卵 8-VIII-1982 広畑政巳 ミッパ4ワガサ 浜坂町城山 幼虫 5-IX-1995 永幡嘉之 7) コデマリ 神戸市西区岩岡町岩岡 越冬幼虫

-II-1994 近藤伸一

シジミパナ 神戸市西区岩岡町岩岡 越冬幼虫

-II-1994 近藤伸一

〈コムラサキ〉

カワヤナギ 千種町鍋ケ谷 幼虫 25-XI-1984 広畑政巳 〈ゴマダラチョウ〉

エパキ 市川町上牛尾 幼虫 11-II-1974 広畑政巳 エパ・エパキ 村岡町宮神 幼虫4頭

9-XII-1989 近藤伸一

〈オオムラサキ〉

エパキ 夢前町前之庄 幼虫 28-XII-1980 広畑政巳 エパ・エノキ 美方町新屋幼虫5頭 23-II-1990 近藤伸一 〈スミナガシ〉

15-IX-1984 近藤伸一

〈イシガケチョウ〉

イチジク 千種町下河野 幼虫

7-VII-1994 難波通孝 3)

イタビカズラ 大屋町須西 蛹殻

10-VII-1994 難波通孝 3)

イヌピワ 姫路市井ノ口 幼虫30-IX-1983 上田倫範 4) 〈ウラナミジャノメ〉

メリケンカルカヤ 明石市松陰新田 幼虫

26-VII-1987 近藤伸一 17)

〈クロヒカゲ〉

ケキザ・サ 相生市三濃山 幼虫 広畑政巳 〈ヒカゲチョウ〉

ケネザ・サ 福崎町神谷 幼虫 広畑政巳 〈クロヒカゲ〉

ササ* 加美町上寄上 幼虫 4-V-1981 広畑政巳 トタ・シバ 佐用町奥長谷 産卵

19-VI-1977 若林守男 10)

〈ヤマキマダラヒカゲ〉

サザ 関宮町葛畑 幼虫 広畑政巳 〈サトキマダラヒカゲ〉

ネザサ 上月町上秋里 幼虫 10-IX-1981 広畑政巳 ⟨ジャ/メチョウ⟩

カサスケ 千種町鷹巣 幼虫 16-V-1982 広畑政巳 〈コジャノメ〉

ススキ 御津町室津 幼虫 -VI-1982 広畑政巳 〈ヒメジャノメ〉

 ススキ
 相生市三渡山 19-VII-1981 幼虫 広畑政巳

 カサスケ・
 千種町鷹巣 16-V-1982 幼虫 広畑政巳

 チジ・ミサ・サ
 市川町上牛尾 16-IX-1984 産卵 広畑政巳

 オカメサ・サ
 産卵 岩村 厳

メヒシバ 神戸市西区岩岡町1令幼虫

21-VI-1987 近藤伸一

〈オオヒカゲ〉

かサスケ' 千種町鷹巣 幼虫 16-V-1982 広畑政巳 〈クロヒカゲモドキ〉

ススキ 相生市能下 幼虫 31-V-1981 広畑政巳 くヒメキマダラヒカゲ>

ササ* 波賀町赤西渓谷 幼虫

27-VIII-1981 広畑政巳

〈クロコノマチョウ〉

77 777 市川町上牛尾 幼虫

31-VII-1999 広畑政巳

ツルヨシ 三田市上青野 幼虫

28-IX-1997 法西 浩 11)

ソルガム " 山田 幼虫 2-IX-1995 法西 浩 12) ジュズダマ 神戸市森林植物関幼虫

15-IX-1998 法西 浩 11)

14-X-1998 法西 浩 11)

ケイスと'I " 池の内 卵 1994 谷川大海 13) 〈ウスイロコノマチョウ〉

/ヒシハ' 伊丹市森本 幼虫

17-X-1990 渡辺康之 14)

〈ミヤマセセリ〉

コナラ 姫路市打越 産卵 6-V-1984 広畑政巳 〈アオパセセリ〉

777' † 一宮町福知 幼虫 5-VII-1987 広畑政巳 ミヤマハハソ " 志倉 幼虫 16-VI-1985 近藤伸ー 〈ダイミョウセセリ〉

おようコ 相生市小河 幼虫 22-VII-1984 広畑政巳 おまず ト コ 相生市小河 幼虫 22-VII-1984 広畑政巳 ヒルト コ 加古川市志方町氷室 1令幼虫1頭

16-VI-1984 近藤伸一

ヤマノイモ 浜坂町諸寄 若齢幼虫1頭

24-VI-1988 近藤伸一

〈ホソパセセリ〉

ススキ 夢前町佐中 産卵 23-VIII-1981 広畑政巳 〈チャパネセセリ〉

パリケンカルカナ 相生市天ケ台 幼虫 7-XII-1980 広畑政巳 ススキ 相生市天ケ台 幼虫 7-XII-1980 広畑政巳 (ススキの根元葉軸に産卵 神戸市西区雄谷町寺谷

17-IX-2000 近藤伸一

〈コチャパネセセリ〉

*ザサ 夢前町山富 幼虫 28-VI-1981 広畑政巳 <オオチャパネセセリ>

#f* 波賀町赤西渓谷 幼虫

27-VIII-1981 広畑政巳

ススキ 相生市天ヶ台 幼虫 7-XII-1980 広畑政巳 〈キマダラセセリ〉

ススキ 和田山町三波 幼虫 20-V-1984 広畑政巳 〈コキマダラセセリ〉

ススキ 大河内町砥峰 産卵 15-VII-1984 広畑政巳 〈ヘリグロチャパネセセリ〉

/カ゚リヤス 西宮市塩瀬町 幼虫

6-V-2000 山岡万寿夫 16)

ヤマカモジグサと思われるイネ科植物 一宮町志倉

1978 幼虫 若林守男 15)

ミナコサーサで終令にまでなりその後ススキに移る(食樹の 混生した鉢での飼育結果)

〈イチモンジセセリ〉

ススキ 神戸市西区櫨谷町寺谷 産卵

24-IX-2000 近藤伸一

(ススキの根元の葉軸に数個産卵)

<参考文献>

1) 谷角素彦·黒井和之(1987)但馬産ギフチョウのウスバ サイシンに産卵例 IRATSUME(11):102

- 2) 唐土洋一(1981) カラスザンショウを食べるキアゲハてんとうむし(7):24
- 3) 難波通孝(1994)イシガケチョウの飛翔 出版サ ービスセンター 岡山
- 4) 上田倫範(1984)イシガケチョウの幼虫発見 てんとうむし (9):50
- 5) 佐々木薫(1979)ヤナギを食べたモンキアゲハ ひろおび(5):20
- 6) 松野 宏・小野克己 (1994) 淡路島でヤクシマル リシジミの発生を確認 蝶研フィールド 9(5):27
- 7) 永幡嘉之(1995)但馬の蝶 3 題 IRATSUME (19) :1-3
- 8) 永幡嘉之(1995)西日本でカシワを食樹としているウラジロミドリシジミの記録 IRATSUME(19):4-10
- 9) 唐土洋一(1997) ヒメアカタテハの食草について てんとうむし(11):83
- 10) 若林守男(1977)クロヒカゲがイネ科植物に産卵 MDK NEWS (77):12
- 11) 法西 浩(1999)兵庫県のクロコノマチョウ 1997 ・98 年の記録 蝶研フィールド 14(6):17 - 21
- 12) 法西 浩(1996) 兵庫県のクロコノマチョウ 1995 年の記録(1) 蝶研フィールド 11(8):4 - 8
- 13) 谷川大海(1995) クロコノマチョウについて PARNASSIUS (42):15 - 16
- 14) 渡辺康之(1990)伊丹市でウスイロコノマチョウ の幼虫を発見 蝶研フィールド6(1):30 -
- 15) 若林守男(1978) ミヤコザサを食べたヘリグロチャパネセセリの幼虫 MDK NEWS 28(78):6
- 16) 山岡万寿夫(2001) 兵庫県東部のヘリグロチャバ ネセセリの記録 蝶研フィールド 16(1):27
- 17) 近藤伸一(1989) ウラナミジャノメの幼虫をメリメンカルカヤから発見 ひろおび(8):9
- 18) 近藤伸一(1984)兵庫県におけるヒメアカタテハ について ひろおび(7):1 - 14
- 19) 近藤伸一(1999)ヒメアカタテハがゼニバアオイで越冬 きべりはむし 27(2):36
- 20) 近藤伸一(1989)ルリシジミがエビヅルに産卵 ひろおび(8):34

(HIROHATA MASAMI 姫路市白鳥台3-11-8) (KONDOU SHINICHI

神戸市西区岩岡町岩岡619-57)

多可郡の甲虫相 故高橋寿郎氏遺稿集No. 9 兵庫昆虫同好会事務局編

東播磨の甲虫相は記録が大変少なく、あまり調べられていないと思われる。あるいは調べられていても記録の発表がなされていない。したがって、多くの甲虫が記録の上では分布の空白地帯となっている。このような観点から、故高橋寿郎氏は過去に東播磨地域のうち多可郡下で播磨中部基幹林道付近の昆虫類調査の一環として調査を実施された結果を中心に、西脇自然同好会の調査結果も参考にして多可郡における甲虫相のまとめを試み、本誌に寄稿する準備をされていた。これを整理してここに紹介したいと思う。

故高橋氏が播磨中部基幹林道付近の昆虫類調査を 実施された地点,回数は次のとおりである.

加美町三谷, 市原地域(1974年2回, 1975年9回, 1976年1回の計12回)

鳥羽地域(1975年3回, 1976年1回の計4回)

これらを含め本報告に登場する地名は次のとおりである(本文中では郡市町名を省略して表記した)。

西光寺山、津万(以上西脇市)、白山、黒田庄 (以上黒田庄町)、笠形山(以上八千代町)、茂利、 中村町(以上中町)、三国岳、千ヶ峰、鳥羽、三 谷、市原、清水、清水口(以上加美町)

また、次の地名は原稿に市町名の記述が無かった もので、ここでもそのまま掲載している。

八日山、寺山、竜ヶ岳、西中、篠ヶ峰、金城山、 八日市

原稿は目録形式でまとめられており、必要に応じて適宜補足説明を付してある。また、とくに産地名を記していないものはこの地域に広く分布するものと解釈願いたいとのコメントが付してあり、ここでもそのまま(原文どおり)紹介する。学名は基本的には原色日本甲虫図鑑(II,III-1985, IV-1984; 保育社・大阪)によってある。

COLEOPTERA コウチュウ目

Family Cicindelidae ハンミョウ科

- 1. Cicidela chinensis japonica Thunberg,1781
 - ハンミョウ
- 2. Cicindela japana Motschulsky,1857

ニワハンミョウ

ともに普通にいる種である.

Family Carabidae オサムシ科

1. Carabus procerus Chaudoir, 1862

クロナガオサムシ

三谷(1♂2♀,18.IV.1975), 清水口alt.280m, 清水-鳥羽alt.280m, 茂利alt.280m[近畿1979].

- 2. Carabus dehaanii Chaudoir,1848 オオオサムシ 三谷(19.19.IV.1975)
- 3. Carabus maiyasanus Bates, 1873

マヤサンオサムシ

清水口雲門禅寺-竜ヶ岳南方の峠alt.450m, 清水-鳥羽[近畿,1979], 大山新[日浦,桂,1971], 三谷(1♂, 24.V.1975).

- 4. Carabus yaconinus Bates,1873 ヤコンオサムシ 中村町alt.120m[近畿,1979], 三谷(1♀,24.V.1975), 笠形山[嵯峨,1986].
- 5. Damaster blaptoides Kollar,1836 マイマイカブリ 八日山(17.XII.1960)「西脇.1965」.

クロナガオサムシとオオオサムシは掘り出したものである。自然状態ではほとんどお目にかかれない。オサムシ掘りをやってみるともっと採集できそうだし夏期のトラップによる採集も必要と思われる。マイマイカブリは全体にいるが少ないもののようである。

6. Nebria lewisi Bates, 1874

カワチマルクビゴミムシ

本万の川原[西脇,1965]. 7. Nebria livida angulata Banniger,1949

キベリマルクビゴミムシ

津万の川原[西脇,1965].

8. Nebria ochotich R.F.Salberg, 1844

クロマルゴミムシ

津万の川原[西脇,1965].

9. Perileptus japonicus Bates. 1873

ホソチビゴミムシ

鳥羽(lex.,1.VI.1975).

10. Perileptus laticeps S.Ueno,1955

オオホソチビゴミムシ

鳥羽(1ex.,6.IX.1975).

11. Bembidion amurum Bates.1883

オオルリミズギワゴミムシ

鳥羽(16exs.,6.IX.1975,etc.).

12. Bembidion lissonotum Bates, 1873

オオアオミズギワゴミムシ

津万の川原[西脇,1965].

13. Bembidion morawitzi Csiki,1928

ヨツボシミズギワゴミムシ

津万の川原[西脇,1965].

14. Bembidion nilaticum batesi Putzeys,1875

アトモンミズギワゴミムシ

津万の川原[西脇,1965].

15. Bembidion paediscum Bates, 1883

ヨツボシケシミズギワゴミムシ

津万の川原[西脇,1965].

16. Bembidion semilunium Netolitzky,1914

ツマキミズギワゴミムシ

津万の川原[西脇,1965].

17. Bembidion tetraporum Bates, 1883

ヨツアナミズギワゴミムシ

鳥羽(2exs..6.IX.1975,etc.).

18. Tachyura laetificus (Bates, 1873)

ヨツモンコミズギワゴミムシ

市原(lex..24.IX.1974).

19. Lesticus magnus (Motschulsky, 1860)

オオゴミムシ

市原(lex.,24.IX.1972).

20. Pterostichus biexcisus subparallelus Straneo,1955 鳥羽(1年,6.IX.1975).

21. Agonum daimio (Bates, 1873)

セスジヒラタゴミムシ

津万の川原[西脇,1965].

22. Colpodes buchanani Hope,1831

オオアオモリヒラタゴミムシ

三谷(1ex.,19.IV.1975,etc.), 鳥羽(1ex.,1.VI.1975).

23. D0lichus halens (Schaller,1783)

セアカヒラタゴミムシ

津万の川原[西脇,1965], 三谷(1ex.,8.VL1975).

24. Amara chalcites Dejean,1828 マルガタゴミムシ 白山(1ex.,27.V.1973), 三谷(2exs.,19.IV.1975,etc.), 鳥羽(4exs.,29.IV.1972), 津万田園[西脇,1965].

25. Anisodactylus punctatipennis Morawitz, 1862

ホシボシゴミムシ

三谷(2exs.,25.V.1975), 鳥羽(1ex.,1.VI.1975).

26. Harpalus sinicus Hope, 1845

ウスアカクロゴモクムシ

三谷(1ex.,15.IX.1974,etc.).

27. Oxycentrus argutorides (Bates, 1873)

クビナガゴモクムシ

三谷(1ex.,19.IV.1875).

28. Platymetopus flavilabris (Fabricius, 1798)

カラカネゴモクムシ

市原(lex.,24.IX.1972).

29. Trichotichnus congruus (Motschulsky, 1866)

ヒメツヤゴモクムシ

三谷(3exs.,8.VI.1975), 鳥羽(1ex.,8.V.1976).

30. Trichotichnus kantoonus Habu, 1961

チャパネクビアカツヤゴモクムシ

鳥羽(1ex.,5.VII.1975).

31. Stenolophus agonoides Bates, 1883

ナガマメゴモクムシ

三谷(1ex.,24.V.1975).

32. Chlaenius naeviger Morawitz,1862

アトポシアオゴミムシ

三谷(lex.,26.VIII.1975).

33. Epomis nigricans (Wiedemann, 1821)

オオキベリアオゴミムシ

津万の川原[西脇,1965].

34. Haplochlaenius costiger (Chaudoir, 1856)

スジアオゴオミムシ

鳥羽(1ex.,5.VII.1975).

35. Coptodera subapicalis Putzeys,1977

ハギキノコゴミムシ

鳥羽(3ex.,6.IX.1975).

36. Dolichoctis luctuosus (Putzeys, 1875)

セヤアトキリゴミムシ

鳥羽(5exs.,1.VII.1975,etc.).

37. Dolichoctis striatus Schmidt-Goebel, 1846

コヨツボシアトキリゴミムシ

三谷(1ex.,29.IX.1974), 鳥羽(2exs.,19.VII.1975, etc.).

38. Lebia bifenestrata Morawitz, 1862

フタホシヒメアトキリゴミムシ

白山(2exs.,3.V.1973).

39. Lebia retrofasciata Motschulsky, 1864

ジュウジアトキリゴミムシ

白山(2exs.,3.V.1973).

40. Lebidia octoguttata Morawitz, 1862

ヤホシゴミムシ

千ヶ峰[西脇,1965].

Family Brachinidae ホソクビゴミムシ科

1. Pheropsophus jessoensis Morawitz, 1862

ミイデラゴミムシ

津万の川原[西脇,1965].

Family Hydrophilidae ガムシ科

1. Cercyon olibrus Sharp,1874 アカケシガムシ 白山(6exs..27.V.1973).

2. Cercyon quinsquilius (Linnaeus, 1761)

キバネケシガムシ

白山(3exs.,27.V.1973).

3. Cercyon ustus Sharp,1874 ケシガムシ 白山(2exs.,27.V.1973), 三谷(2exs.,19.IV.1973).

4. Pachysternum haemorrhoum Motschulsky,1866 マグソガムシ

三谷(5exs.,15.IX.1974,etc.).

5. Peratogonus reversus Sharp, 1884

コウセンマルケシガムシ

三谷(1ex.,26.VIII.1975). 6. Agraphydrus narusei (M.Sato,1960)

ケシヒラタガムシ

鳥羽(1ex..6.IX.1975)。

7. Crenitis osawai Nakane, 1966

オオサワコマルガムシ

鳥羽(lex.,6.IX.1975).

8. Hydrochara affinis Sharp,1827 コガムシ 三谷(1ex.,13.VII.1955,etc.).

清流があり田畑が多くあるので、夜間採集でもすればもっとこの仲間は見つかると思われる.

Family Histeridae エンマムシ科

1. Notodema fungorum Lewis, 1884

キノコアカマルエンマムシ

鳥羽(9exs..5.VII.1975).

2. Atholus depistor (Marseul, 1873)

ムナクボエンマムシ

市原(1ex.,24.IX.1973),三谷(1ex.,29.IX.1974,etc.).

3. Atholus duodecimstriatus quatuordecimstriatus (Gyllenhal,1808) コッヤエンマムシ 三谷(2exs.,15.IX.1974,etc.).

4. Atholus pirithous (Marseul, 1873)

ツヤマルエンマムシ

市原(2exs.,24.IX.1972), 三谷(8exs.,13.IX.1975, etc.), 三谷牧場[Ohara.1993].

5. Hister simplicisternus Lewis, 1879

ヒメツヤエンマムシ

三谷(11exs.,2.VIII.1975,etc.), 三谷牧場[Ohara, 1994].

6. Margarinotus (Grammostethus) niponicus (Lewis, 1895) コエンマムシ

三谷(4exs.,26.VIII.1975).

7. Margarinotus (Ptomister) weymarni Wonzel, 1944 ヒメエンマムシ 三谷(lex.,24.V.1975).

- 8. Merohister jekeli (Marseul,1857) エンマムシ 三谷(2exs.,13.IX.1975).
- 9. Platysoma (Cylister) lineicolle (Marseul,1873) ナガエンマムシ

鳥羽(lex..9.VL1975).

10. Hololepta depressa Lewis, 1884

ヒラタエンマムシ

鳥羽(1ex.,5.VⅡ.1975).

Family Leiodidae タマキノコムシ科

1. Pseudoliodes strigosula (Portevin,1905) チャイロヒメタマキノコムシ 鳥羽(3exs.,5.VII.1977,etc.).

2. Agathidium sublaevigatum Portevin,1908 ツヤマルタマキノコムシ 鳥羽(6exs.,5.VII.1975,etc.).

Family Catopidae チビシデムシ科

1. Catops hilleri Kraatz,1877 ヒレルチビシデムシ 鳥羽(1ex.,29.IV.1972).

Family Silphidae シデムシ科

1. Nicropherus quadripunctatus Kraatz,1897 ヨツボシモンシデムシ 鳥羽(1ex.,29.IV.1972).

2. Ptomascopus morio Kraatz,1877 コクロシデムシ

三谷(2exs.,2.VIII.1985).

3. Eusilpha brunnicollis (Kraatz,1877)

ペッコウヒラタシデムシ

鳥羽(lex.,19.VII.1975).

4. Eusilpha japonica (Motschulsky,1860)

オオヒラタシデムシ

三谷(lex.,4.IX.1976).

Family Staphylinudae ハネカクシ科

1. Anotylus crassicornis (Sharp, 1874)

ヒゲブトセスジハネカクシ

三谷(lex.,19.IV.1975).

2. Anotylus minulus (Sharp,1874)

シワパネセスジハネカクシ

白山(lex.,27.V.1973).

3. Megarthrus japonicus Sharp, 1874

ハパビロハネカクシ

三谷(lex.,19.IV.1975).

4. Osorius angustulus Sharp,1874

フトツツハネカクシ

鳥羽(lex.,5.VII.1975).

5. Oxytelus piceus (Linnaeus, 1767)

キバネセスジハネカクシ

三谷(1ex.,19.IV.1975,etc.).

6. Domene curtipennis Sharp, 1889

コマルズハネカクシ

鳥羽(2exs.,6.IX.1975).

7. Othius medius Sharp, 1874

ウスアカパホソハネカクシ

市原(1ex.,24.IX.1972,Y.Hayashi det.).

8. Erichsonius kobensis (Cameron,1933)

クロヒメホソハネカクシ

鳥羽(1ex.,6.IX.1975).

9. Ocypus brevicornis Weise, 1877

ヒメクロハネカクシ

鳥羽(4exs.,1.VL1975,etc.).

10. Ocypus parvulus Sharp, 1874

チビドウガネハネカクシ

三谷(1ex.,13.IX.1975).

11. Ontholestes gracilis (Sharp, 1874)

サビハネカクシ

白山(2exs.,27.V.1973).

12. Philonthus longicornis Stephens, 1832

ヒゲナガコガシラハネカクシ

三谷(1ex.,2.VIII.1975,2etc.), 鳥羽(1ex.,19.VI.1975).

13. Philonthus spinipes Sharp, 1874

オオアカバコガシラハネカクシ

三谷(1ex.,19.IV.1975,etc.).

14. Platydracus inoratus (Sharp, 1874)

クロガネハネカクシ

三谷(1ex.,15.IX.1974).

15. Quedius lewisius Sharp,1874

ルイスツヤムネハネカクシ

市原(1ex.,24.IX.1972,Y.Hayashi det.).

16. Bryoporus gracilis (Sharp, 1888)

アカイクビハネカクシ

鳥羽(lex.,1.VI.1975).

17. Lordithon irregularis (Weise, 1877)

ハスオビキノコハネカクシ

三谷(3exs.,5.IV.1975,etc.).

18. Mycetoporus discoidalis Sharp, 1888

ヤマトイクビハネカクシ

三谷(lex.,8.VI.1975).

19. Sepedophilus fimbriatus (Sharp, 1888)

オオヒメキノコハネカクシ

鳥羽(1ex.,29.IV.1972,Y.Hayashi det.).

20. Sepedophilus tibialis (Sharp, 1888)

ヒメキノコハネカクシ

鳥羽(lex.,1.VI.1975).

21. Sepedophilus sp.

鳥羽(2exs.,29.IV.1972,Y.Hayashi det.).

Family Scaphidiidae デオキノコムシ科

1. Acaphium tibiale Lewis, 1893

ホソスジデオキノコムシ

鳥羽(12exs.,5.VII.1975,etc.).

2. Episcaphium semirufum Lewis,1893

アカバデオキノコムシ

三谷(lex.,29.IX.1974).

3. Scaphidium femorale Lewis, 1893

ヒメデオキノコムシ

三谷(lex.,29.IX.1974), 鳥羽(lex.,29.IV.1972,etc.).

4. Scaphidium japonum Reitter, 1877

ヤマトデオキノコムシ

三谷(12exs.,19.IV.1975), 鳥羽(2exs.,29.IV.1972, etc.).

5. Scaphidium reitteri Lewis,1879

ヘリアカデオキノコムシ

三谷(lex.,2.VIII.1975), 笠形山(3exs.,12.VI.1975).

6. Scaphidium takemurai Nakane,1956

タケムラデオキノコムシ

多可郡鳥羽(1ex.,29.IV.1972).

7. Scaphisoma castaneipenne Reitter, 1877

クリイロケシデオキノコムシ

鳥羽(lex.,5.VII.1975).

8. Scaphisoma crassipes Achard, 1923

カタモンケシデオキノコムシ 鳥羽(lex.,1.VI.1975).

9. Scaphisoma galloisi Achard, 1923

ガロアケシデオキンコムシ

三谷(2exs.,26.VIII.1975,etc.), 鳥羽(1ex.,1.VI.1975).

10. Scaphisoma haemorrhoidale Reitter, 1877

ツマキデオキノコムシ

三谷(2exs.,29.IX.1974,etc.), 鳥羽(1ex.,29.IV.1872).

11. Scaphisoma indubium Lobl, 1965

チャパネケシデオキノコムシ

三谷(lex.,2.VIII.1975). 12. Scaphisoma rubrum Reitter,1877

アカミケシデオキノコムシ

鳥羽(14exs.,5.VII.1955,etc.), 三谷(5exs.,24.V. 1975).

13. Scaphisoma rufum Achard, 1923

アカケシデオキノコムシ

三谷(1ex.,15.VII.1977,etc.).

14. Toxidium aberrans Achard, 1923

ヤマトホソケシデオキノコムシ

三谷(1ex.,2.VIII.1975,etc.).

Family Helodidae マルハナノミ科

1. Cyphon thunbergi Nakane, 1963

ウスモンチビマルハナノミ

白山(1ex.,3.V.1973,S.Hisamatsu det.).

Family Lucanida クワガタムシ科

1. Lucanus maculifemoratus Motschulsky,1861 ミヤマクワガタ

市原(1♂,24.IX.1972), 笠形山[西脇,1965].

2. Prosopocailus inclinatus (Motschulsky,1857) ノコギリクワガタ

千ヶ峰[西脇,1965]。

3. Dorcus curvidens binodulosus Waterhouse,1874 オオクワガタ

西中裏の林[西脇.1965].

- 4. Dorcus titanus pilifer (Snellen von Vollenhoven, 1861) ヒラタクワガタ 寺山[西脇.1965].
- 5. Dorcus rectus (Motschulsky,1857) コクワガタ 三谷(1♀,13.IX.1975), 鳥羽(1♂,8.V.1976,etc.), 鹿 野[西脇,1965].
- 6. Dorcus rubrofemoratus (Snellen von Vollenhoven,1865) アカアシクワガタ 寺山[西脇,1965].
- 7. Dorcus striatipennis (Motschulsky,1861)

スジクワガタ

寺山[西脇,1965].

Family Geotrupidae センチコガネ科

- 1. Bolbocerosoma (Bolbocerodema) nigroplagiatum (Waterhouse,1875) ムネアカセンチコガネ 三谷[永幡,1993].
- 2. Geotrupes (Chromogeotrupes) auratus Motschulsky,1857 オオセンチコガネ 三谷(1ペ1♀,26.VIII.1975,etc.), 三国岳(1ペ,22.VII. 1959,K.Okamoto leg.), 千ヶ峰(1ペ,9.X.1970,K. Okamoto leg.).
- 3. Geotrupes (Eogeotrupes) laevistriatus Motschulsky,1857 センチコガネ

三国岳[西脇,1965].

Family Ochodaeidae アカマダラセンチコガネ科

1. Ochodaeus maculatus Waterhouse,1875

アカマダラセンチコガネ

笠形山[lex.,26.IX.1965,K.Okamoto leg, in his coll.], (1年,27.IX.1970,K.Okamoto leg. in Museum Nat. Human Act. Hyogo Coll.), 三国岳[lex.,31.V.1959, R.Inomata leg., in R.Imonata's coll.].

Family Scarabaeidae コガネムシ科

1. Copris acutidens Motschulsky, 1860

ゴホンダイコクコガネ

三谷(12♂7♀,15.IX.1974,etc.), 三国岳(1♂1♀,22. VIII.1955,K.Okamoto leg., 西脇,1965).

2. Copris ochus (Motschulsky,1860)

ダイコクコガネ

三谷(7♂8年,26.VIII.1975,etc.), 三国岳(1♂1年,22. VII.1959,K.Okamoto leg., 西脇,1965).

3. Caccobius jessoensis Harold, 1867

マエカドエンマコガネ

三国岳(1ex.,13.VI.1959,K.Omkamoto leg.).

- 4. Onthophagus (Strandius) lenzii Harold,1874 カドマルエンマコガネ 三谷(11~4年,15.IX.1974,etc.).
- 5. Onthophagus (Parascatonomus) nitidius Waterhouse,1875 ッヤエンマコガネ 三谷(1ex.,29.IX.1974,etc.).
- 6. Onthophagus (Gibbonthophagus) atripennis Waterhouse,1875 コブマルエンマコガネ 白山(1~2~,27.V.1973).
- 7. Onthophagus (Phanaeomorphus) ater Waterhouse,1875 クロマルエンマコガネ 鳥羽(lex.,29.IV.1972,etc.), 三谷(lex.,13.IX.1975).
- 8. Onthophagus (Phanaeomorpha) fodiens Waterhouse,1875 フトカドエンマコガネ 三谷(10⁷2♀,29.IX.1974,etc.).
- 9. Liatongus phanaeoides (Westwood, 1840)

ツノコガネ

三国岳[22.VII.1959,K.Okamoto leg., 西脇,1965].

10. Aphodius (Aganocrossus) urostigma Harold,1862 フチケマグソコガネ

白山(1ex.,27.V.1973), 三谷(24exs.,15.IX.1974,etc.).

11. Aphodius (Agrilinus) morii Nakane,1983

ニセマキバマグソコガネ

三国岳[益本,1967].

12. Aphodius elegans Allibert, 1847

オオフタホシマグソコガネ

千ヶ峰(3exs.,9.X.1970,K.Okamoto leg.), 三谷(2exs.,24.V.1975,etc.), 篠ヶ峰[西脇,1965].

13. Aphodius (Bodilus) sordidus (Fabricius,1775) ョッボシマグソコガネ

三谷(4exs.,15.IX.1974,etc.).

- 14. Aphodius (Calamosternus) sublimbatus (Motschulsky,1860) ウスイロマグソコガネ 三谷(2exs.,2.VIII.1975).
- 15. Aphodius (Phaeaphodius) rectus (Motschulsky, 1866) マグソコガネ 三谷(25exs.,19.IV.1975,etc.).
- 16. Hoplia (Euchromplia) communis Waterhouse, 1875 アシナガコガネ
- 三谷(1♂,8.VI.1975), 三国岳[西脇,1965]. 17. Hoplia moerens Waterhouse,1875

クロアシナガコガネ

三谷(1♂,8.VL1975).

18. Ectinohoplia obducta (Motschulsky,1857)

ヒメアシナガコガネ

三谷(1ex.,8.VI.1975), 烏羽(1ex.,19.VII.1975), 三国岳[西脇,1965].

19. Maladera japonica (Motschulsky,1860)

ビロウドコガネ

三国岳[西脇,1965].

20. Maladera orientalis (Motschulsky, 1857)

ヒメビロウドコガネ

三谷(1ex.,8.VI.1975, 1ex.,13.IX.1975), 鳥羽(1ex.,3. VI.1973).

21. Paraserica gricea (Motschulsky, 1866)

ハイイロビロウドコガネ

三谷(2exs.,8.V.1975.etc.).

22. Sericania matsushitai Sawada,1955

マツシタチャイロコガネ 鳥羽(1♂,1.VI.1965,etc.).

23. Apogonia amida Lewis, 1896

ヒメカンショコガネ

黑田庄(2exs.,-.VL1956,K.Okamoto leg.).

- 24. Holotrichia kiotoensis Brenske,1894 クロコガネ三国岳[西脇,1965].
- 25. Holotrichia parallela (Motschulsky,1854)

オオクロコガネ

三国岳[西脇,1965].

26. Heptophylla picea Motschulsky,1857

ナガチャコガネ

三国岳[西脇,1965].

27. Melolontha frater Arrow,1913 オオコフキコガネ

白山[西脇,1965].

28. Melolontha japonica Burmeister, 1855

コフキコガネ

八日山[西脇,1965].

29. Polyphylla (Gynexophylla) laticollis Lewis,1887 ヒゲコガネ

寺山[西脇,1965].

- 30. Polyphylla (Granida) albolineata (Motschulsky, 1861) シロスジコガネ 寺山[西脇,1965].
- 31. Adoretus (Lepodoretus) tenuimaculatus Waterhouse,1875 コイチャコガネ白山(1ex.,3.V.1973), 三谷(1ex.,8.VI.1975), 鳥羽(1ex.,1.VI.1975), 三国岳[西脇,1965].
- 32. Popillia japonica Newman,1844 マメコガネ 三谷(1ex.,19.VI.1975,etc.), 鳥羽(1ex.,5.VIII.1975), 西光寺山[西脇,1965].
- 33. Phyllopertha diversa Waterhouse, 1875

ウスチャコガネ

白山(1♂,3.V.1973), 三谷(1♂1♀,24.V.1975).

34. Phyllopertha irregularis Waterhouse, 1875

キスジコガネ

三谷(3exs.,8.VI.1975,etc.), 千ヶ峰[西脇,1965].

35. Blitopertha ohdaiensis (Sawada, 1941)

オオダイセマダラコガネ

三国岳[西脇,1965].

36. Blitopertha orientalis (Waterhouse, 1875)

セマダラコガネ

鳥羽(3exs.,5.VII.1975), 竜ヶ岳[西脇,1965].

- 37. Mimela splendens (Gyllenhal,1817) コガネムシ 三谷(1ex.,13.VII.1975), 三国岳[西脇,1965].
- 38. Mimela takemurai Sawada,1942

タケムラスジコガネ

三谷(4♂2♀,13.VII.1975,etc.).

- 39. Anomala costata (Hope,1839) オオスジコガネ 三国岳[西脇,1965].
- 40. Anomala daimiana Harold,1837 サクラコガネ 三国岳[西脇,1965].
- 41. Anomala lucens Ballion,1871 ツヤコガネ 三谷(22exs.,13.VII.1975).
- 42. Anomala rufocuprea Motschulsky, 1860

ヒメコガネ

三谷(3exs.,2.VIII.1975).

43. Anomala testaceipes Motschulsky, 1860

スジコガネ

鳥羽(lex.,19.VII.1975), 三国岳[西脇,1965].

44. Allomyrina dichotoma septentrionalis (Kono,1931)

カブトムシ

西中央の林[西脇,1965].

45. Pseudotorynorrhina japonica (Hope, 1841)

カナブン

寺山[西脇,1965].

46. Rhomborrhina polita Waterhouse, 1875

クロカナブン

八日市[西脇,1965].

47. Rhomborrhina unicolor Motschulsky,1961

アオカナブン

寺山[西脇,1965].

48. Anthracophora rusticola Burmeister, 1842

アカマダラハナムグリ

三国岳[西脇,1965].

49. Glycyphana fulvistemma Motschulsky, 1860

クロハナムグリ

白山(1ex.,27.V.1973), 西光寺山[西脇,1965].

50. Cetonia (Eucetonia) pilifera (Motschulsky, 1860)

ハナムグリ

寺山[西脇,1965].

51. Cetonia (Eucetonia) roelofsi Harold, 1880

鳥羽(1ex.,29.IV.1972), 三谷(4exs.,18.V.1974,etc.), 寺山[西脇,1965].

52. Protaetia (Calopotosia) orientalis submarmorea (Burmeister, 1842) シロテンハナムグリ

三谷(1ex.,26.VIII.1975,etc.), 三国岳[西脇,1965].

53. Gametis jucunda (Faldermann, 1835)

コアオハナムグリ

三谷(2exs.,29.IX.1974), 三国岳[西脇,1965].

54. Nipponovalgus angusticollos (Waterhouse, 1875) ヒラタハナムグリ

白山(2exs.,3.V.1973), 三谷(1ex.,3.V.1955,etc.), 鳥 羽(2exs.,28.IV.1972,etc.), 西光寺山[西脇,1965].

Family Ptilodactylidae ナガハナノミ科

1. Epilichas flabellatus (Kiesenwetter, 1874)

エダヒゲナガハナノミ

鳥羽(1ex.,19.VIL.1975).

Family Psephenidae ヒラタドロムシ科

1. Eubrianax granicollis Lewis, 1895

クシヒゲマルヒラタドロムシ

鳥羽(lex..8.V.1976).

2. Eubrianax ramicornis Kiesenwetter, 1874

マルヒラタドロムシ

三谷(4exs.,8.VII.1975,etc.).

Family Buprestidae タマムシ科

1. Chrysochroa fulgidissima (Schonherr, 1817)

タマムシ

三国岳[西脇,1965].

2. Chalcophora japonica (Gory,1840) ウバタマムシ 金城山[西脇,1965].

3. Ovalista vivata (Lewis,1892)

マスダクロホシタマムシ

三谷(lex.,2.VIII.1975), 鳥羽(1♂,5.VII.1975,etc.).

4. Buprestis (Buprestis) haemorrhoidalis japonensis E.Saunders, 1873 クロタマムシ

鳥羽(1ex.,19.VⅡ.1975).

5. Coraebus quadriundulatus Motschulsky,1866 シロオビナガボソタマムシ

三谷(2exs.,19.IV.1975), 鳥羽(10exs.,29.IV.1972).

6. Agrilus cyaneoniger E.Saunders, 1873

クロナガタマムシ

鳥羽(lex.,5.VII.1975).

7. Trachys auricollis E.Saunders, 1873

クズノチビタマムシ

鳥羽(2exs.29.IV.1972).

8. Trachys griseofasciata E.Saunders, 1873

ナミガタチビタマムシ

鳥羽(1ex.,1.VI.1975).

9. Trachys minuta salicis (Lewis, 1872)

ヤナギチビタマムシ

三谷(2exs.,24.V.1975), 鳥羽(2exs.,29.IV.1972,etc.).

10. Trachys reitteri Obenberger, 1930

マメチビタマムシ

鳥羽(lex.,29.IV.1972).

11. Trachys saundersi Lewis, 1892

ソーンダーズチビタマムシ

三谷(1ex.,26.VIII.1975), 鳥羽(4exs.,29.IV.1972, etc.).

12. Trachys toringoi Y.Kurosawa,1951

ズミチビタマムシ

三谷(1ex.,26.VIII.1975), 鳥羽(2exs.,2.VIII.1975,

13. Trachys tsushimae Obenberger, 1922

アカガネチビタマムシ

鳥羽(lex.,1.VL1975,etc.).

Family Elateridae コメツキムシ科

- 1. Pectocera fortunei Candeze,1873 ヒゲコメツキ 寺山[西脇,1965].
- 2. Agrypnus binodulus binodulus (Motschulsky,

1861)

サビキコリ

千ヶ峰[西脇,1965].

3. Agrypnus scrofa (Candeze,1873)

ヒメサビキコリ

三谷(1ex.,2.VII.1975,T.Takahashi leg., 岸井,1984).

4. Colioascerus fluviatilis (Lewis, 1874)

キアシヒラタクロコメツキ

鳥羽(1ex.,29.IV.1972,T.Takahashi leg., 岸井,1984).

5. Actenicerus pruinosus Motschulsky,1861

シモフリコメツキ

篠ヶ峰[西脇,1965].

6. Denticollis miniatus (Candeze,1885)

ミヤマペニコメツキ

鳥羽(lex.,23.IV.1972,etc.).

7. Denticollis nipponensis Ohira,1973

ニホンベニコメツキ

白山(lex.,3.V.1973), 鳥羽(lex.,1.VI.1975).

8. Ampedus carbunculus (Lewis, 1879)

ヒメクロコメツキ

鳥羽(1ex.,29.IV.1972,T.Takahashi leg., 岸井,1984).

9. Ampedus hypogastricus (Candeze,1873)

アカハラクロコメツキ

鳥羽(3exs.,29.IV.1972,etc.,T.Takahashi leg., 岸井, 1984).

10. Ectinus sericeus (Candeze, 1878)

カバイロコメツキ

笠形山[西脇,1965].

11. Silesis musculus Candeze,1873

クチブトコメツキ

鳥羽(1ex.,5.VIL.1975,T.Takahashi leg., 岸井,1984).

12. Melanotus cete Candeze, 1860

アカアシオオクシコメツキ

白山(1ex.,27.V.1973,T.Takahashi leg., 岸井,1984), 三谷(1ex.,24.V.1975,T.Takahashi leg., 岸井,1984),

鳥羽(2exs.,1.VL1975,T.Takahashi leg., 岸井,1984).

13. Melanotus erythropygus Candeze, 1873

コガタクシコメツキ

三谷(1ex.,8.VI.1975,etc.,T.Takahashi leg., 岸井, 1984), 白山(1ex.,3.V.1978,T.Takahashi leg., 岸井, 1984).

14. Melanotus senilis Candeze, 1865

クロクシコメツキ

白山(2exs.,27.V.1973,T.Takahashi leg., 岸井,1984), 三谷(3exs.,24.V.1975,etc.,T.Takahashi leg., 岸井, 1984), 鳥羽(2exs.,1.VI.1975,T.Takahashi leg., 岸井, 1984)

15. Yukoana elliptica (Candeze,1873)

ヘリマメコメツキ

鳥羽(lex.,29.IV.1972,T.Takahashi leg., 岸井,1984). 16. Cardiophorus pinguis Lewis,1894

クロハナコメツキ

鳥羽(lex.,1.VI.1975,T.Takahashi leg., 岸井,1984).

Family Lampyridae ホタル科

1. Cyphonocerus ruficollis Kiesenwetter,1879 ムネクリイロボタル

鳥羽(2exs.,5.VII.1975).

2. Lucidina biplagiata (Motschulsky, 1866)

オバボタル

三谷(2exs.,8.VL1975), 鳥羽(2exs.,1.VL1975,etc.).

3. Lyehnuris fumosa (Gorham, 1883)

クロマドポタル

鳥羽(2exs.,5.VII.1975).

Family Cantharidae ジョウカイボン科

1. Athemellus insulsus (Harold, 1878)

ウスチャジョウカイ

三谷(2exs.,13.VII.1975), 鳥羽(2exs.,19.VII.1975).

2. Athemus suturellus (Motschulsky, 1860)

ジョウカイボン

白山(2exs.,3.V.1973), 三谷(1ex.,24.V.1975), 鳥羽(1ex.,1.VI.1975).

3. Athemus vitellinus (Kiesenwetter, 1874)

セポシジョウカイ

白山(lex.,3.V.1973,etc.), 三谷(lex.,24.V.1975).

4. Mikadocantharis japonicus (Kiesenwetter,1874) ヒメジョウカイ

笠形山[西脇,1965].

5. Podabrus heydeni Kiesenwetter, 1879

クビボソジョウカイ

白山(1ex.,3.V.1972), 三谷(1ex.,8.VI.1975), 鳥羽(1ex.,8.V.1976).

6. Podabrus lictorius Lewis, 1895

ミヤマクビボソジョウカイ

鳥羽(1ex.,29.IV.1972,etc.).

7. Podabrus macilentus Kiesenwetter, 1874

ヒメクビボソジョウカイ

鳥羽(lex.,8.V.1976).

8. Podabrus malthinoides Kiesenwetter,1874

クロヒメクビボソジョウカイ

白山(2exs.,3.V.1973,etc.).

9. Prothemus cinsciana (Kiesenwetter, 1874)

マルムネジョウカイ

白山(1ex.,27.V.1973), 鳥羽(1ex.,1.VI.1975).

10. Themus cyanipennis Motschulsky,1857
アオジョウカイ

三谷(1ex.,8.VI.1975), 笠形山[西脇,1965].

Family Lycidae ベニボタル科

1. Dictyoptera oculata (Gorham,1883) メダカヒシベニボタル

鳥羽(1ex.,30.IV.1972).

2. Lopheros lineatus (Gorham, 1883)

ジュウジベニボタル

鳥羽(lex.,5.VII.1975).

3. Lycostomus modestus (Kiesenwetter, 1874)

ベニボタル

三谷(16exs.,8.VL1975), 鳥羽(5exs.,5.VIL1975).

4. Lycostomus semillipticus Reitter, 1910

フトベニボタル

鳥羽(lex.,5.VII.1975).

5. Lyponia osawai Nakane, 1969

ヒメカクムネベニボタル

白山(lex.,3.V.1973).

6. Lyponia quadricollis (Kiesenwetter, 1874)

カクムネベニボタル

鳥羽(lex.,29.IV.1972,etc.), 白山(2exs.,3.V.1973).

7. Macrolycus similaris Nakane,1967

ヒメクシヒゲベニボタル

白山(1♀,27.V.1973,K.Tsuji det.).

8. Pyropterus nigroruber De Geer

ムナグロヒシベニボタル

鳥羽(lex..5.VII.1975).

Family Dermetidae カツオブシムシ科

1. Anthrenus japonicus N.Ohbayashi,1985

チビマルカツオブシムシ

白山(1ex.,3.V.1973,etc.).

2. Anthrenus verbasci (Linnaeus, 1767)

ヒメマルカツオブシムシ

白山(1ex.,27.V.1973,etc.), 三谷(1ex.,8.VI.1975).

Family Anobiidae シバンムシ科

1. Stegobium paniceum (Linnaeus, 1761)

ジンサンシパンムシ

三谷(1ex.,26.VIII.1973).

2. Lasioderma sericorne (Fabricius, 1792)

タバコシバンムシ

鳥羽(1ex.,8.V.1976).

Family Cleridae カッコウムシ科

1. Thamasimus lewisi Jacobson,1911

アリモドキカッコウムシ

三谷(lex.,29.IX.1974).

Family Melyridae ジョウカイモドキ科

1. Malachius prolongatus Motschulsky,1866

ツマキアオジョウカイモドキ

白山(3exs.,27.V.1973), 鳥羽(1ex.,1.VI.1975,etc.), 笠形山[西脇,1965].

2. Nepachys japonicus (Kiesenwetter, 1874)

ヒメジョウカイモドキ

鳥羽(6exs..19.VII.1975).

Family Nitidulidae ケシキスイ科

1. Haptonecus ocularis (Fairmaire, 1849)

モンチビヒラタケシキスイ

三谷(2exs.,19.IV.1975).

2. Neopallodes hilleri (Reitter, 1877)

モンクロアカマルケシキスイ

鳥羽(lex..6.IX.1975).

3. Pocadites dilatimanus (Reitter, 1877)

ウスオビキノコケシキスイ

ラスオピヤ 三谷(lex..4.VL1978).

4. Meligethes denticulatus honshuensis Easton, 1959

キムネチビケシキスイ

鳥羽(lex..5.VII.1975.etc.).

5. Meligethes flavicollis Reitter 1873

ムネアカチビケシキスイ

鳥羽(lex.,29.IV.1973), 白山(lex.,3.V.1973).

6. Meligethes haroldi Reitter, 1877

ドウイロチビケシキスイ

白山(1ex.,3.V.1973,etc.), 三谷(2exs.,24.V.1975), 岛羽(3exs.,1.VI.1975,etc.).

7. Heterolitus thoracicus (Eleutiaux, 1887)

キイロアシナガヒメハナムシ

市原(3exs.,24.IX.1972), 三谷(1ex.,24.V.1975).

Family Sphindidae ヒメキノコムシ科

1. Aspidophorus japonicus Reitter, 1878

マルヒメキノコムシ

鳥羽(2exs.,6.IX.1975).

Family Cucujidae ヒラタムシ科

1. Nipponophloeus dorcoides (Reitter,1874) オオキバヒラタムシ 鳥羽(4exs.,6.IX.1975).

Family Silvanidae ホソヒラタムシ科

1. Silvanus bidentatus (Fabricius,1792)

フタトゲホソヒラタムシ

三谷(1ex.,26.VIII.1975), 鳥羽(3exs.,6.IX.1975).

2. Psammoecus triguttatus Reitter, 1874

ミツモンセマルヒラタムシ

市原(2exs.,24.IX.1972).

Family Cryptophagidae キスイムシ科

- 1. Cryptophagus cellaris (Sharp,1763) ウスパキスイ鳥羽(lex.,8.V.1976).
- 2. Cryptophagus latangulus Reitter, 1889

ヒゲブトキスイ

鳥羽(2exs.,8.V.1976).

Family Byturidae キスイモドキ科

- 1. Byturus affinis Reitter,1874 キスイモドキ 三谷(1ex.,19.IV.1975), 鳥羽(1ex.,29.IV.1972).
- 2. Byturus atricollis Reitter, 1874

ズグロキスイモドキ

鳥羽(4exs.,29.IV.1972, 4exs.,8.V.1976).

Family Biphyllidae ムクゲキスイムシ科

1. Biphyllus aequalis (Reitter, 1889)

ムナビロムクゲキスイ

鳥羽(31exs.,8.V.1976).

2. Biphyllus rufopictus (Wollaston, 1873)

ハスモンムクゲキスイ

三谷(3exs.,2.VIII.1975), 鳥羽(9exs.,19.VII.1975, etc.).

3. Biphyllus throscoides (Wollaston, 1873)

クリイロムクゲキスイ

三谷[1ex.,8.VI.1975,T.Takahashi leg., 佐々治, 1983].

Family Languriidae コメツキダマシ科

1. Languriomorpha lewisi (Crotch, 1873)

ルイスコメツキモドキ

三谷(lex.,8.VI.1975).

2. Microlanguria jansoni (Crotch,1873)

ケシコメツキモドキ

三谷(lex.,26.VIII.1975).

Family Erotylidae オオキノコムシ科

1. Aulacochilus sibiricus Reitter, 1879

ルリオオキノコ

鳥羽(lex.,5.VII.1975).

2. Neotriplax lewisi (Crotch,1873)

アカハバビロオオキノコ

三谷(lex.,24.V.1975).

3. Tritoma sobrina (Lewis, 1887)

ベニモンチビオオキノコ

三谷(6exs.,19.IV.1975), 鳥羽(32exs.,29.IV.1972).

Family Corylophidae ミジンムシ科

1. Arthrolips oblongus Matthews, 1879

マエキミジンムシ

鳥羽(lex..6.IX.1975).

2. Parmulus politus (Matthews,1839)

ベニモンツヤミジンムシ

鳥羽(lex.,8.V.1976).

3. Orthoperus japonicus Matthews, 1899

マルガタミジンムシ

三谷(lex.,8.VI.1975), 鳥羽(lex.,5.VIII.1975).

Family Endomychidae テントウダマシ科

1. Endomychus gorhami (Lewis, 1874)

ルリテントウダマシ

三谷(5exs.,29.IX.1974,etc.), 鳥羽(3exs.,19.VII. 1975,etc.).

Family Coccinellidae テントウムシ科

1. Pseudoscymnus sylvaticus (Lewis, 1836)

クピアカヒメテントウ

鳥羽(lex.,29.IV.1972).

2. Nephus phosphorus (Lewis, 1896)

アトホシヒメテントウ

白山(lex.,3.V.1973).

3. Scymnus (Pullus) posticalis Sicard,1912

コクロヒメテントウ

三谷(1ex.,26.VIII.1975), 鳥羽(1ex.,5.VII.1975).

4. Scymnus (Pullus) osakana M.Araki,1963 オオサカヒメテントウ

鳥羽(lex.,29.IV.1972).

5. Chilicorus kuwanae Silvestri,1909

ヒメアカホシテントウ

白山(lex.,27.V.1973), 鳥羽(lex.,5.VII.1975).

6. Hyperaspis (Hyperaspis) japonica (Crotch,1874) フタホシテントウ

三谷(1ex.,29.IV.1975,etc.).

7. Rodolia limbata (Motschulsky, 1866)

ベニヘリテントウ

三谷(1ex.,8.VL1975), 鳥羽(1ex.,1.VL1975).

8. Coccinella septempunctata Linnaeus,1758

ナナホシテントウ

市原(2exs.,24.IX:1972), 三谷(1ex.,29.IX.1974,etc.), 鳥羽(2exs.,5.VII.1975), 八日山[西脇,1965].

9. Propylea japonica (Thunberg, 1781)

ヒメカメノコテントウ

白山(1ex.,3.V.1973), 三谷(1ex.,8.VI.1975,etc.), 鳥羽(1ex.,8.V.1976), 八日山[西脇,1965].

10. Aiolacaria hexaspilota (Hope,1931)

カメノコテントウ

鳥羽(1ex.,29.IV.1972), 笠形山[西脇,1965].

- 11. *Harmonia axyridis* (Pallas,1773) ナミテントウ 白山[西脇,1965].
- 12. Symonycha grandis (Thunberg,1781)

オオテントウ

三国岳[西脇,1965].

13. Epilachna admirabilis Crotch, 1874

トホシテントウ

三谷(1ex.,13.VII.1975), 西光寺山[西脇,1965].

14. Epilachna vigintioctomaculata Motschulsky,1857 オオニジュウヤホシテントウ

鳥羽(1ex.,5.VII.1975,etc.), 笠形山[西脇.1965].

15. Epilachna vigintioctopunctata (Fabricius, 1775)

ニジュウヤホシテントウ

竜ヶ岳[西脇,1965].

Family Discolomidae ミジンムシダマシ科

1. Aphanocephalus hemisphaericus Wollaston,1873 クロミジンムシダマシ

三谷(1ex.,26.VIII.1975).

Family Colydiidae ホソカタムシ科

1. Colobicus hirtus (Rossi,1790)

ヒラタホソカタムシ

鳥羽(4exs.,6.IX.1975).

Family Cisidae ツツキノコムシ科

1. Cis nipponicus Chujo,1940

ミヤマツツキノコムシ

三谷(1ex.,19.IV.1975), 鳥羽(1ex.,29.IV.1972).

2. Cis seriatulus Kiesenwetter, 1879

ミツアナツツキノコムシ

白山(lex.,3.V.1973,M.Miyatake det.).

3. Ennearthron chujoi Nakane et Nobuchi,1955 チュウジョウエグリツツキノコムシ 鳥羽(lex.,5.VII.1975).

4. Orthocis ornatus (Reitter, 1877)

マダラツツキノコムシ

三谷(7exs.,19.IV.1975).

Family Tenebrionidae ゴミムシダマシ科

1. Dicraeosis bacillus (Marseul, 1876)

クビカクシゴミムシダマシ

鳥羽(lex.,8.V.1976).

2. Platydema nigroaeneum Motschulsky, 1860

クロツヤキノコゴミムシダマシ

三谷(lex.,24.V.1975).

3. Ceropria induta (Wiedermann, 1819)

ナガニジゴミムシダマシ

三谷(2exs.,23.IX.1974), 鳥羽(1ex.,6.IX.1975).

4. Derispia maculipennis (Marseul, 1876)

クロホシテントウゴミムシダマシ

三谷(1ex.,19.IV.1975,etc.).

5. Uloma bonzica (Marseul, 1876)

ヨツコブゴミムシダマシ

三谷(3exs.,29.IV.1974), 鳥羽(1ex.,8.V.1956).

6. Uloma excisa lewisi Nakane,1956

ヤマトエグリゴミムシダマシ

鳥羽(lex.,6.IX.1975).

7. Uloma maeseuli Nakane,1956

エグリゴミムシダマシ

三谷(lex.,24.V.1975,etc.).

8. Tenebrio obscurus Fabricius,1792

コメノゴミムシダマシ

三谷(lex.,29.IX.1974).

9. Tetraphyllus lunuliger (Marseul, 1876)

ニジゴミムシダマシ

白山(6exs.,3.V.1973,etc.), 三谷(1ex.,26.VIII.1975), 鳥羽(1ex.,5.VII.1975,etc.).

10. Tarpela brunnea (Marseul, 1876)

コマルムネゴミムシダマシ

鳥羽(1ex.,8.V.1976).

11. Tarpela elegantula (Lewis, 1894)

ヒメマルムネゴミムシダマシ

三谷(2exs.,19.IV.1975,etc.).

12. Misolampidius okumurai Nakane,1968

ツヤヒサゴゴミムシダマシ

鳥羽(1ex.,6.IX.1975,etc.).

13. Elixota curva (Marseul,1876) コマルキマワリ 三谷(1ex.,13.IX.1975).

14. Plesiophthalmus nigrocyaneus Motschulsky,1857 キマワリ

三谷(1ex.,13.VII.1975,etc.).

15. Strongylium impigrum Lewis, 1894

ヒメナガキマワリ

鳥羽(1ex.,8.V.1976).

16. Ainu tenuicornis Lewis, 1894

ホソヒゲナガキマワリ

鳥羽(1ex.,8.V.1976).

Family Lagriidae ハムシダマシ科

1. Lupros orientalis (Motschulsky, 1868)

ヒゲブトハムシダマシ

三谷(1ex.,3.V.1973), 鳥羽(1ex.5.VII.1975).

- 2. Lagria rufipennis Marseul,1876 ハムシダマシ 鳥羽(4exs.,19.VII.1975).
- 3. Arthromacra decora (Marseul.1876)

アカガネハムシダマシ

白山(5exs.,3.V.1973,etc.).

4. Macrologria rufobrunnea (Marseul, 1876)

ナガハムシダマシ

白山(1ex.,3.V.1973).

Family Alleculidae クチキムシ科

1. Allecula fuliginosa Mäklin, 1875

オオクチキムシ

白山(1ex.,24.V.1973), 三谷(1ex.,8.VL1975).

2. Allecula simiola Lewis, 1895

ウスイロクチキムシ

白山(1ex.,27.V.1973), 鳥羽(1ex.,1.VL1975).

3. Allecula tenuis Marseul, 1876

ホソアカクチキムシ

白山(1ex.,27.V.1973).

4. Hymenalia unicolor Nakane, 1963

クロツヤバネクチキムシ

白山(1ex.,27.V.1973).

5. Mycetochara scutellaris Lewis,1895

ムネアカヒメクチキムシ

鳥羽(1ex.,1.VL1975).

Family Tetratomidae キノコムシダマシ科

1. Penthe japana Marseul, 1876

モンキナガクチキムシ

三谷(1平,29.IX.1974).

Family Pyrochroidae アカハネムシ科

1. Pseudopyrochroa laticollis Lewis, 1887

ムネビロアカハネムシ

鳥羽(2♀,29.IV.1972).

Family Scraptiidae ハナノミダマシ科

1. Anaspis funagata Kôno コフナガタハナノミ 三谷(2exs.,8.VI.1975,etc.)。鳥羽(5exs.,1.VI.1975).

Family Mordellidae ハナノミ科

1. Variimorda flavimana (Marseul, 1876)

キンオビハナノミ

鳥羽(2exs.,5.VII.1975).

2. Mordellistena kirai Nomura,1951

キラヒメハナノミ

鳥羽(lex.,19.VII.1975).

3. Pseudomordellistena longula (Kôno,1928)

クロズヒメハナノミ

三谷(2exs.,8.VI.1975).

Family Meloidae ツチハンミョウ科

1. Meloe auriculatus Marseul, 1876

キュウシュウツチハンミョウ

三谷(1♂.19.IV.1975).

Family Oedemeridae カミキリモドキ科

1. Oedemeronia lucidicollis (Motschulsky,1866) モモブトカミキリモドキ

鳥羽(2exs.,29.IV.1972,etc.),白山(4exs.,27.V.1973,etc.).

2. Xanthochroa hilleri Harold, 1878

キイロカミキリモドキ

三谷(2exs.,13.VII.1975).

3. Xanthochroa katoi Kôno,1932

カトウカミキリモドキ

鳥羽(1ex.,5.VII.1975).

Family Anthicidae アリモドキ科

1. Anthicus confucii Marseul, 1876

ウスモンアリモドキ

白山(lex.,27.V.1973).

2. Sapintus cohaeres (Lewis, 1895)

ムナグロホソアリモドキ

三谷(2♂2♀,29.IX.1974).

3. Sapintus marseuli (Pic,1893)

アカモンホソアリモドキ

三谷(1♂,26.VIII.1975,etc.).

Family Cerambycidae カミキリムシ科

1. Megopis (Aegosoma) sinica (White,1953) ウスパカミキリ

三国岳[西脇,1965].

2. Prionus insularis Motschulsky,1857

ノコギリカミキリ

鳥羽(1ex.,6.IX.1975), 三国岳[西脇,1965].

3. Spondylis buprestoides (Linnaeus,1758)

クロカミキリ

三国岳[西脇,1965].

4. Dinoptera minuta (Gebler, 1832)

ヒナルリハナカミキリ

鳥羽(3exs.,29.IV.1972).

5. Pidonia (Cryptopidonia) amentata (Bates,1884) セスジヒメハナカミキリ

鳥羽(lex..1.VI.1975).

6. Pseudolosterna misella (Bates, 1884)

チャポハナカミキリ

笠形山[西脇,1965].

7. Corymhia succedana (Lewis, 1879)

アカハナカミキリ

三谷(4exs.,2.VIII.1975).

- 8. Leptura aetiops Poda,1761 クロハナカミキリ 三国岳[西脇,1965].
- 9. Leptura dimorpha Bates, 1873

ムネアカクロハナカミキリ

三谷(5exs.,8.VL1975,etc.), 鳥羽(2exs.,1.VL1975).

10. Macroleptura regalis (Bates, 1884)

オオヨツスジハナカミキリ

西脇高等学校[西脇,1965].

11. Xystrocera globosa (Olivier, 1795)

アオスジカミキリ

笠形山[西脇,1965].

12. Chloridolum (Leontium) viride (Thomson,1864) ミドリカミキリ

笠形山[西脇,1965].

- 13. Purpuricerus (Sternopolistes) spectabilis Motschulsky,1857 ヘリグロベニカミキリ 津万[西脇,1965].
- 14. Purpuricerus (Sternoplistes) termminckii (Guerin-Meneville,1844) ベニカミキリ白山(2exs.,27.V.1989), 鹿野町[西脇,1965].
- 15. Callidiellum rufipenne (Motschulsky,1860) ヒメスギカミキリ 三谷(2exs.,14.IV.1975,etc.), 鳥羽(2exs.,29.IV. 1972).
- 16. Cyrtoclytus caproides (Bates, 1873)

キスジトラカミキリ

三谷(lex.,8.VI.1975), 笠形山[西脇,1965].

17. Chlorophorus annularis (Fabricius, 1787)

タケトラカミキリ

笠形山[西脇.1965].

18. Chlorophorus japonica (Chevrolat, 1863)

エグリトラカミキリ

三谷(lex.,8.VL.1975), 笠形山[西脇,1965].

19. Demonax transilis Bates, 1884

トゲヒゲトラカミキリ

三谷(1ex.,24.V.1975,etc.), 鳥羽(1ex.,29.IV.1972). 20. Mesosa (Aphelocnemia) longipennis Bates,1873

20. Mesosa (Aphelocnemia) longipennis Bates,1873 ナガゴマフカミキリ

鳥羽(4exs.,19.VII.1975).

21. Asaperda rufipes Bates, 1873

キクスイモドキカミキリ

白山(lex.,27.V.1973).

22. Pterolophia (Pterolophia) caudata (Bates,1873) トガリシロオビサビカミキリ

三谷(lex.,4.IX.1976).

- 23. Pterolophia (Pterolophia) granulata (Motschulsky,1866) アトモンサビカミキリ 三谷(1ex.,24.V.1975).
- 24. Pterolophia (Pterolophia) leiopodina (Bates,1873) ヒメナガサビカミキリ

鳥羽(3exs.,19.VII.1975), 笠形山[西脇,1965].

25. Pterolophia (Pterolophia) zonata (Bates,1873) アトジロサビカミキリ

鳥羽(1ex.,9.VⅢ.1975), 笠形山[西脇,1965].

- 26. Mesosella simiola Bates,1884 クワサビカミキリ 鳥羽(4exs.,19.VII.1975).
- 27. Psacothea hilaris (Pascoe,1857)

キボシカミキリ

三国岳[西脇,1965].

28. Batocera lineolata Chevrolat, 1852

シロスジカミキリ

八日山[西脇,1965].

29. Oleneocamptus formosanus Pic,1914

タカサゴシロカミキリ

和田[西脇,1965].

30. Rondibilis saperdina (Bates, 1884)

トゲバカミキリ

鳥羽(2exs.,19.VII.1975).

31. Exocentrus testudieus Matsushita,1931

キッコウモンケシカミキリ

鳥羽(3exs.,19.VII.1975,etc.).

32. Cagosima sanguinolenta Thomson, 1864

ハンノキカミキリ

笠形山[西脇,1965].

33. Paraglenea fortunei (Saunders, 1853)

ラミーカミキリ

中畑[西脇,1965].

34. Phytoecia (Phytoecia) rufiventris Gautier,1870 キクスイカミキリ

三谷(2exs.,13.VII.1975), 鳥羽(1ex.,29.IV.1972, etc.).

35. Nupsertha marginella (Bates, 1873)

ヘリグロリンゴカミキリ

三谷(3exs.,13.VII.1975,etc.), 鳥羽(3exs.,5.VII.1975,etc.)

36. Obera hebescens Bates, 1873

ヒメリンゴカミキリ

鳥羽(1ex.,1.VL1975).

37. Oberea nigriventris Bates, 1873

ホソツツリンゴカミキリ

三谷(1ex.,2.VIII.1975).

Family Chrysomelidae ハムシ科

1. Sulcobruchus sauteri (Pic,1927)

ザウラルマメゾウムシ

鳥羽(lex.,1.VL1975).

- 2. Lema cirsicola Chûjô,1959 ルリクピボソハムシ 鳥羽(lex..29.IV.1972).
- 3. Lema honorata Baly,1873 ヤマノイモハムシ 三谷(6exs.,26.VIII.1975,etc.), 鳥羽(14exs.,5.VII. 1975,etc.), 篠ヶ峯[西脇,1965].
- 4. Lilioceris rugata (Baly, 1865)

キイロクビナガハムシ

白山(4exs.,3.V.1973,etc.),三谷(2exs.,24.VL1975),

笠形山[西脇,1965].

5. Lilioceris subpolita (Motschulsky, 1860)

アカクビナガハムシ

笠形山「西脇,1965].

6. Smaragdina aurita nigrocyanea (Motschulsky, 1866) キボシハムシ

三谷(1ex.,9.VI.1975).

7. Smaragdina nippoensis (Chûjô,1935)

キイロナガツツハムシ

白山(2exs.,3.V.1973), 三谷(1ex.,8.VL1975).

8. Smaragdina semiaurantiaca (Fairmaire,1888)

ムナキルリハムシ

三谷(5exs.,24.V.1975), 鳥羽(30exs.,8.V.1976).

9. Cryptocephalus approximatus Baly,1873

パラルリツツハムシ

三谷(2exs.,24.V.1975,etc.), 鳥羽(2exs.,1.VI.1975,etc.).

10. Cryptocephalus parvulus Müller,1776

セスジツツハムシ

白山(3exs.,27.V.1973).

11. Cryptocephalus signaticeps Baly, 1873

クロボシツツハムシ

三谷(lex.,24.V.1975), 白山(lex.,3.V.1973), 鳥羽 (lex.,12.VI.1975).

12. Chlamisus spilotus (Baly,1873) ムシクソハムシ 白山(2exs.,3.V.1973).

13. Oomorphoides cupreatus (Baly,1873)

ドウガネツヤハムシ

白山(8exs.,3.V.1973), 鳥羽(2exs.,5.VII.1975,etc.).

14. Oomorphus japanus Jacoby, 1885

ヒメツヤハムシ

白山(lex.,3.V.1973), 鳥羽(lex.,5.VIL.1975).

15. Acrothinium gaschkevitchii (Motschulsky,1860) アカガネサルハムシ

白山(1ex.,3.V.1973), 鳥羽(2exs.,1.VI.1975), 篠ヶ峯[西脇,1965].

16. Basilepta fulvipes (Motschulsky, 1860)

アオパネサルハムシ

三谷(lex.,2.VIII.1975), 鳥羽(lex.,19.VII.1975).

17. Demotina fasciculata Baly,1874

マダラアラゲサルハムシ

三谷(lex.,8.VL1975).

18. Lypesthes ater (Motschulsky, 1860)

コフキサルハムシ

鳥羽(2exs.,5.VII.1975,etc.), 篠ヶ峯[西脇,1965].

19. Pagria signata (Motschulsky,1858)

ヒメキパネサルハムシ

三谷(1ex.,26.VIII.1975,etc.).

20. Trichochrysea japana (Motschulsky,1857)

トビサルハムシ

三谷(1ex.,24.V.1975), 鳥羽(1ex.,1.VI.1975).

21. Chrysolina aurichalcea (Mannerheim,1825) ヨモギハムシ

三谷(1ex.,15.IX.1974), 寺山[西脇,1965].

22. Chrysolina exanthematica (Wiedemann, 1821)

ハッカハムシ

寺山[西脇,1965].

- 23. Chrysomela populi Linné,1758 ドロノキハムシ 鳥羽(1ex.,5.VII.1955), 篠ヶ峯[西脇,1965].
- 24. Gonioctema rubripennis Baly,1862 フジハムシ 白山(lex.,12.VI.1975), 三谷(lex.,8.VIII.1975), 鳥 羽(2exs.,29.IV.1972,etc.), 乙ヶ坂[西脇,1965].
- 25. Phaedon brassicae Baly,1874 ダイコンハムシ 鳥羽(2exs.,1.VI.1975,etc.).
- 26. Plagidera versicolora (Laicharting, 1781)

ヤナギルリハムシ

三谷(1ex.,13.IX.1975), 鳥羽(4exs.,8.V.1976), 笠形山[西脇,1965].

- 27. Agelastica coerulea Baly,1874 ハンノキハムシ 鳥羽(1ex.,8.V.1976).
- 28. Arthrotus niger Motschulsky, 1857

ムナグロツヤハムシ

三谷(2exs.,24.V.1975,etc.), 市原(1ex.,27.IX.1972), 鳥羽(2exs.,29.IV.1972,etc.).

29. Atrachya menetriesi (Feldermann, 1835)

ウリハムシモドキ

三谷(2exs.,13.VII.1975,etc.), 鳥羽(5exs.,5.VII.1975).

- 30. Aulacophora indica (Gmelin,1790) ウリハムシ 三谷(1ex.,15.IX.1974,etc.), 笠形山[西脇,1965].
- 31. Aulacophora nigripennis Motschulsky,1857 クロウリハムシ

三谷(1ex.,2.VIII.1975), 鳥羽(1ex.,5.VII.1975).

32. Calomicrus cyanea (Jacoby, 1885)

ハラグロルリヒメハムシ

白山(1ex.,3.V.1973), 鳥羽(2exs.,5.VII.1975), 三谷(1ex.,4.IX.1976).

33. Exosoma akkoae (Chûjô,1994)

ハマダラヒメハムシ

鳥羽(8exs.,14.VIL1957).

34. Exosoma chujoi (Nakane,1958)

ニセキパラルリハムシ

鳥羽(1ex.,5.VII.1975).

35. Exosoma flavinentre (Motschulsky,1860)

キパラヒメハムシ

三谷(lex.,13.VII.1955), 鳥羽(2exs.,5.VII.1975).

- 36. Fleutauxia armata (Baly,1874) クワハムシ 白山(3exs.,3.V.1973), 三谷(1ex.,3.V.1975,etc.), 鳥 羽(1ex.,1.VI.1975,etc.), 笠形山[西脇,1965].
- 37. Gallerucida bifasciata Motschulsky, 1860

イタドリハムシ

鳥羽(1ex.,29.IV.1972,etc.), 三国岳[西脇,1965].

38. Gallerucida lewisi (Jacoby, 1885)

ムツキボシハムシ

鳥羽(lex.,29.IV.1970).

39. Liroetis coeruleipennis Weise, 1889

ルリパネナガハムシ

白山(5exs.,3.V.1973).

- 40. Monolepta dichroa Harold,1877 ホタルハムシ 三谷(2exs.,13.VII.1975,etc.), 市原(9exs.,24.IX. 1972), 鳥羽(2exs.,5.VII.1975).
- 41. Oides bowringii (Baly,1863) キベリハムシ 中町牧野[lex.,6.VIII.1974,H.Fujiwara leg.], 笠形 山[西脇,1965].
- 42. Paridea angulicollis (Motschulsky,1853)

アトボシハムシ

白山(lex.,27.V.1973), 鳥羽(lex.,1.VIL1975), 篠ヶ峯[西脇,1965].

43. Pyrrhalta annulicornis (Baly,1874)

ブチヒゲケブカハムシ

市原(16exs.,24.IX.1972), 鳥羽(1ex.,6.IX.1975).

44. Pyrrhalta maculicollis (Motschulsky,1853)

ニレハムシ

鳥羽(1ex.,8.V.1976).

45. Altica caerulescens (Baly, 1874)

ヒメカミナリトビハムシ

三谷(1ex.,24.V.1975,etc.).

46. Aphthona formosana Chen, 1934

タイワンツブノミハムシ

鳥羽(1ex.,8.V.1976).

47. Aphthona nigrita (Ohno, 1961)

クロアラハダトビハムシ

鳥羽(2exs.,5.VII.1975).

- 48. Aphthona perminuta Baly,1875 ツブノミハムシ 白山(1ex.,3.V.1973), 三谷(1ex.,19.IV.1975,etc.), 鳥羽(4exs.,29.IV.1972,etc.).
- 49. Aphthonaltica angustata (Baly,1874)

ホソルリトピハムシ

鳥羽(1ex.,29.IV.1972).

50. Argopus balyi Harold, 1878

オオキイロマルノミハムシ

三谷(2exs.,26.VIII.1975,etc.), 鳥羽(1ex.,5.VIII.1975), 笠形山[西脇,1965].

51. Argopus clypeatus Baly,1874

オオアカマルノミハムシ

白山(2exs.,3.V.1973), 三谷(1ex.,8.VL1975,etc.).

52. Argopus punctipennis (Motschulsky,1866)

アカイロマルノミハムシ

三谷(6exs.,26.VIII.1975,etc.), 鳥羽(1ex.,6.IX.1975).

53. Argopus unicolor (Motschulsky,1860)

ウスイロマルノミハムシ

三谷(2exs.,8.VL1975).

54. Luperomorpha funesta (Baly, 1874)

クワノミハムシ

白山(5exs.,3.V.1973), 鳥羽(2exs.,8.V.1976).

55. Luperomorpha tenebrosa (Jacoby,1885) キアシノミハムシ

鳥羽(2exs.,8.V.1976,etc.).

56. Nonarthra cyaneum Baly, 1874

ルリマルノミハムシ

白山(3exs.,3.V.1973,etc.), 三谷(2exs.,8.VI.1975,etc.), 鳥羽(4exs.,1.VI.1975,etc.).

57. Nonarthra tibiale Jacoby, 1885

コマルノミハムシ

鳥羽(lex.,29.IV.1972).

58. Pseudoliprus hirtus flaviceps (Ohno,1960)

クロクビボソトビハムシ

鳥羽(1ex.,5.VII.1975).

59. Psylliodes attenuata (Koch,1803)

アサトビハムシ

笠形山(3exs.,12.VI.1964).

60. Sangariola punctatostriata (Motschulsky,1860)

カタクリハムシ

白山(1ex.,3.V.1973).

61. Sphaeroebrma akebiae Ohno, 1964

アケビタマノミハムシ

三谷(1ex.,25.IV.1975), 鳥羽(4exs.,5.VII.1975).

62. Sphaeroderma apicale Baly,1874

ツマキタマノミハムシ

三谷(1ex.,26.VIII.1975).

63. Sphaeroderma nigricolle Jacoby, 1885

アカバネタマノミハムシ

白山(1ex.,27.V.1973).

64. Sphaeroderma placidum Harold, 1877

ムネアカタマノミハムシ

三谷(1ex.,26.VIII.1975).

65. Eipangia obscura (Jacoby, 1885)

ガマズミトビハムシ

鳥羽(2exs.,5.VIL.1975), 三谷(1ex.,8.VI.1975).

66. Dactylispa masoni Gestro, 1923

キベリトゲハムシ

鳥羽(lex..1.VL1975).

67. Cassida nebulosa Linnaeus,1758

カメノコハムシ

笠形山[西脇,1965].

68. Cassida piperata Hope, 1842

ヒメカメノコハムシ

鳥羽(lex.,1.VI.1975,etc.).

69. Cassida vespertina (Boheman, 1862)

コガタカメノコハムシ

三谷(lex..8.VI.1975).

70. Thlaspida cribrosa (Boheman, 1855)

イチモンジカメノコハムシ

鳥羽(lex.,1.VI.1975,etc.), 笠形山[西脇,1965].

Family Anthribidae ヒゲナガゾウムシ科

1. Notioxenus wollastoni Sharp,1891

チビヒョウタンヒゲナガゾウムシ

鳥羽(2exs..19.VII.1975.I.Matoba det.).

2. Euparius oculatus (Sharp, 1891)

キノコヒゲナガゾウムシ

三谷(3exs..28.IX.1974.etc.).

3. Tropidens roelofsi (Lewis, 1879)

クロフヒゲナガゾウムシ

鳥羽(3exs.,6.IX.1975).

4. Autotropis distinguenda (Sharp, 1891)

スネアカヒゲナガゾウムシ

鳥羽(43exs.,19.VII.1975).

5. Uncifer truncatus (Sharp, 1891)

ウスグロヒゲナガゾウムシ

鳥羽(lex.,19.VIII.1975,I.Matoba det.).

Family Attolabidae オトシブミ科

1. Apoderus (Apoderus) jeheli Roelofs,1874

オトシブミ

鳥羽(1♂,3.VII.1975), 竜ヶ岳[西脇,1965].

- 2. Apoderus (Compsapoderus) erythrogaster Snellen van Vollenhoven,1865 ヒメクロオトシブミ 鳥羽(1ex.,1.VI.1975), 竜ヶ岳[西脇,1965].
- 3. Apoderus (Leptapoderus) balteatus Roelofs,1874 ウスモンオトシブミ

三谷(lex.,24.V.1975,etc.).

4. Apoderus (Leptapoderus) rubidus Motschulsky, 1860 ウスアカオトシブミ

三谷(lex.,24.V.1975), 八日山[西脇,1965].

5. Cycnotrachelus nites (Roelofs, 1874)

エゴツルクビオトシブミ

三谷(1~,24.V.1975).

6. Rhymatopoderus pavens Voss,1926

ヒメコブオトシブミ

三谷(1ex.,26.VIII.1975), 鳥羽(3exs.,5.VII.1975, etc.), 八日山[西脇,1965].

7. Euops (Symaptops) lespedezae Sharp,1889 ハギルリオトシブミ 白山(1ex.,3.V.1973), 三谷(1ex.,8.VI.1975,etc.), 竜 ヶ岳[西脇,1965].

8. Euops (Synaptops) splendida Voss,1930 カシルリオトシブミ 鳥羽(1ex.,1.VI.1975,etc.).

9. Philalodes rufipennis Roelofs,1874

アシナガオトシブミ

鳥羽(1平.1.VI.1975).

Family Rhynchitidae チョッキリゾウムシ科

1. Auletobius (Parauletes) fumigatus (Roelofs,1874) コクロケシツブチョッキリ

白山(1ex.,27.V.1973).

2. Auletobius (Aletinus) uniformis (Roelofs,1874) クロケシツブチョッキリ 白山(1♀,27.V.1973).

3. Byctiscus (Aspidobyctiscus) lacuripennis (Jehel, 1860) ブドウハマキチョッキリ 三谷(1♂1♀,2.VIII.1975,etc.), 鳥羽(3♂5♀,5,VII. 1975,etc.).

4. Lasiorhynchites (Lasiorhynchites) breviorstris (Roelofs,1874) クチブトチョッキリ 鳥羽(3exs.,5.VII.1975).

5. Involvulus (Involvulus) pilosus (Roelofs,1874) ヒメケブカチョッキリ

三谷(1ex.,24.V.1975), 鳥羽(2exs.,5.VII.1975,etc.).

6. Rhynchites (Epirhynchites) heros Roelofs,1874 モモチョッキリ

竜ヶ岳[西脇,1965].

Family Apionidae ホソクチゾウムシ科

1. Apion (Thymapion) hilleri Schilsky,1902 ヒレルホソクチゾウムシ 三谷(1ex.,17.VL1987).

Family Curculionidae ゾウムシ科

1. Phyllobius (Nipponophyllobius) polydrosoides
Sharp,1896 クチブトヒゲボソゾウムシ

鳥羽(2exs.,8.V.1976).

2. Phyllobius (Odontophyllobius) armatus Roelofs, 1879 リンゴコフキゾウムシ

三谷(3exs.,24.V.1975), 鳥羽(9exs.,29.IV.1972,etc.).

3. Phyllobius (Phyllobidius) brevitarsis Kôno,1930 コヒゲボソゾウムシ

鳥羽(1ex..1.VL1975).

4. Phyllobius (Phyllobius) japonicus Faust,1889 ヒメヒゲボソゾウムシ

鳥羽(lex.,8.V.1976).

5. Myllocerus griseus Roelofs, 1873

カシワクチブトゾウムシ

白山(2exs.,3.V.1973).

6. Episomus turritus (Gyllenhal, 1833)

シロコブゾウムシ

三谷(3exs.,2.VIII.1975,etc.), 市原(1ex.,29.IX.1972).

7. Dermatoxemus caescicollis (Gyllenhal,1833) ヒメシロコブソウムシ

三谷(1ex.,27.V.1975,etc.).

8. Eugnathus distinctus Roelofs,1873

コフキゾウムシ

三谷(10exs.,8.VL1975,etc.), 笠形山[西脇,1965].

9. Lixus acutipennis (Roelofs,1873)

ハスジカツオゾウムシ

三谷(2exs.,8.VL1975,etc.), 鳥羽(2exs.,1.VL1975).

10. Lixus impressipennis Roelofs,1873

カツオゾウムシ

八日山[西脇,1965].

11. Mecylobus erro (Pascoe, 1873)

ホホジロアシナガゾウムシ

白山(lex..3.V.1973).

12. Mecylobus piceus (Roelofs, 1875)

カシアシナガゾウムシ 三谷(1ex.,2.VIII.1975), 鳥羽(1ex.,8.V.1976), 白山 (1ex.,3.V.1973).

13. Mecyslobus takahashi (Kôno,1930)

クロアシナガゾウムシ

鳥羽(lex.,8.V.1976).

14. Mesalidodes trifiden (Pascoe,1872)

オジロアシナガゾウムシ 三谷(lex..24.V.1975). 寺山

白山(1ex.,3.V.1973),三谷(1ex.,24.V.1975),寺山 [西脇.1965].

15. Anthomomus bisignifer Schenkling, 1934

イチゴハナゾウムシ

白山(lex.,2.V.1973).

16. Curculio convexus Roelofs.1874

セダカシギゾウムシ

白山(lex.,3.V.1973).

17. Rhinoncus cribricollis Hutsch,1916

アカアシクチブトサルゾウムシ

鳥羽(1ex.,29.IV.1972).

18. Wagnerinus costatus (Hustache, 1916)

クロツヤサルゾウムシ

三谷(1ex.,24.V.1975).

19. Phylaitis maculiventris Voss,1958

ツノクモゾウムシ

鳥羽(2exs.,29.IV.1972,etc.).

20. Pissodes nitidus Roelofs, 1874

マツキボシゾウムシ

三国岳[西脇,1965].

21. Acicnemis dorsonigrita Voss, 1941

アトジロカレキゾウムシ

鳥羽(1ex..6.IX.1979).

22. Acicnemis palliata Pascoe,1872

ウスモンカレキゾウムシ

鳥羽(1ex.,6.IX.1975).

23. Niphades variegatus (Roelofs, 1873)

クロコブゾウムシ

三谷(1ex.,24.V.1975), 鳥羽(1ex.,5.VII.1975).

24. Sipalinus gigas (Fabricius,1775) オオゾウムシ 三谷(lex.,24.V.1975,etc.), 鳥羽(lex.,1.VL1975).

25. Aplots roelofsi (Cheverolat, 1882)

トホシオサゾウムシ

白山(1ex.,27.V.1973), 三谷(2exs.,29.IX.1974).

Family Scolytidae キクイムシ科

1. Hylurgus lingniperda (Fabrisius, 1792)

マツノネノキクイムシ

鳥羽(3exs.,6.IX.1975).

2. Cryphalus fulvus Niijima,1907

キイロコキクイムシ

鳥羽(5exs.,29.IV.1972)[奥谷,髙橋,1976].

3. Cryphalus jeholensis Murayama,1939

ネツカコキクイムシ

鳥羽(lex.,26.VIL.1975)[奥谷,高橋,1976].

4. Scolytogenes expers (Blandford, 1894)

タブノコキクイムシ

鳥羽(1ex.,29.IV.1972)[奥谷,高橋,1976].

5. Drypocoetes pini Niijima,1909

ハイマツアトマルキクイムシ

鳥羽(1ex.,16.IX.1975)[奥谷,髙橋,1976].

6. Xyleborus aquilus Blandford, 1894

アカマツザイノキクイムシ

鳥羽[奥谷,髙橋,1976].

7. Xyleborus atratus Eichhoff, 1875

クワノキクイムシ

鳥羽(1ex.,29.IV.1972)[奥谷,高橋,1976].

8. Xyleborus rubicollis Eichhoff, 1875

アカクビキクイムシ

鳥羽(1ex.,19.VII.1975)[奥谷,髙橋,1976].

9. Xyleborus validus Eichhoff, 1875

トドマツオオキクイムシ

鳥羽(1ex.,29.IV.1972)[奥谷,高橋,1976].

10. Xylosandrus germanus (Blandford,1894)

ハンノキキクイムシ

鳥羽(2exs.,29.IV.1973)[奥谷,髙橋,1976].

11. Pitophtharus jucundus Blandford.1894

トウヒノヒメキクイムシ

鳥羽(10exs.,29.IV.1972)[奥谷,髙橋,1976].

12. Orthotomicus angulatus (Eichhoff,1875)
マッキクイムシ

鳥羽(8exs.,6.IX.1975).

以上60科484種を報告する. なお, 調査が充分行き 届いているとは思えず, 今後多くの種が追加発表さ れることを期待したい.

兵庫県のデオキノコムシ 故高橋寿郎氏遺稿集No. 10 兵庫昆虫同好会事務局編

デオキノコムシは卵形の光沢ある小型甲虫で、触角は細く上翅端は幅広く切断されて腹部の末端節が露出する。成虫・幼虫ともに朽ち木やキノコ類に生息し、成虫の行動は活発で世界各地から約950種、日本からは71種が知られており兵庫県からは31種が知られている。

日本のデオキノコムシ科の研究は Lewis の研究に始まり(1879,1893), 次いで Achard J.(1923)が研究を行った、戦前, 三輪勇四郎博士・水戸野武夫氏による研究(1943)で日本産の取りまとめがなされた。その後中根猛彦博士の研究(1955,1963)。

白水 隆・森本 桂博士の研究(1963)があらわれ,そこに Lobl,Lの研究(1965)があったりでだいたいのところは調べられたことと思われる。 図説も中根猛彦博士(1963), 森本 桂博士(1985)があって同定もある程度たやすく(ケシデオキノコムシ属になると互いによく似ていて色彩変異もあったりで詳しい同定は♂交尾器による必要がある),ここに兵庫県産のものをまとめてみた。

編集部注:本稿はほとんど完成していたが、一部の種は解 説が欠如していた。おそらく故商橋氏は資料収集中であ ったと思われるが、残念ながら不明であるので原文どお り掲載したことをお断りしておく。

Family Scaphidiidae デオキノコムシ科

1. Ascaphium apicale Lewis, 1893

ヒメセスジデオキノコムシ

黒色で時に微かに金属光沢を帯びる。口器,触角基半と末節,ふ節は赤褐色,ときに脛節も赤味を帯びる.頭,前胸は明らかに点刻され,上翅の条溝は最外側第6条が中央より前方で強い点刻列を含み,浅く認められる。

山地性といわれている. 兵庫県下では北部山地帯 での記録がある.

産地.

養父郡氷の山(1ex.,25.VII.1955).

美方郡扇の山[辻,1963., 辻,岸田,1972., 髙橋,1976].

2. Acaphium tibiale Lewis, 1893

ホソスジデオキノコムシ

Lewis により"Miyanoshita, Subashiri, Nikko and Oyayama"産で新種記載された種である(1893).

黒色で口器, 触角基半, ふ節は赤褐色, ときにふ節 もやや赤味を帯びる. 頭, 前胸背は明らかな点刻が ある. 1~4条はすべて後方で浅くなり,条内に強い点刻列を現し,後端1/4でほとんど消失し,第5条は中央後に浅く残り,第6条はせいぜい数点刻の列を中央前に残すのみである.

カワラタケ類から得られ、この属の中では最も多く現れる種である. 兵庫県下でも広く分布しているが山地帯のみのようである.

産地.

川辺郡猪名川町内馬楊,上阿古谷[仲田,1982], 槻 並(3exs..4.V.1979).

多可郡鳥羽(12ex..5.VIL1975.etc.).

神崎郡大河内町川上(1ex.,15.VII.1977.etc.).

揖保郡新宮町福原(3exs.,7.V.1992,etc.).

相生市三濃山(8exs.,28.IV.1974,etc.).

宍粟郡赤西(5exs.,3.VL1979,etc.), 坂の谷(2exs.,22. VII.1979).

多紀郡雨石山[林ほか,1995].

養父郡氷の山(2exs.,25.VII.1955.etc.).

美方郡扇ノ山[辻,1963, 辻,岸田,1972, 髙橋,1976].

3. Cyparium laevisternale Nakane, 1963

コカメノコデオキノコムシ

カメノコデオキノコムシによく似るが後胸板はじめ胸板がなめらかで点刻を欠くことで識別できる. 県下での記録は氷の山で採集したものを知るだけである.

産地.

養父郡氷の山(lex.,27.VIL1957).

4. Cyparium mikado Achard, 1923

カメノコデオキノコムシ

黒〜褐色であるが、表面の微細横条で虹様の光沢がある. 触角基方, 脛ふ節は赤褐色. 頭胸背は小点刻をやや密に装う. キノコに来集する. 県下の記録はそれほど多くない.

産地.

宝塚市香合新田[小田中,1992].

神戸市鳥原(6exs.,5.VI.1984,etc.), 藍那(2exs.,14. VII.1978,etc.).

神崎郡大河内町砥峰(6exs.,18.VI.1977).

宍粟郡音水(2exs.,24.VI.1973).

養父郡氷の山[高橋,1975].

美方郡扇ノ山[辻,1963, 辻,岸田,1972].

5. Episcaphium semirufum Lewis,1893

アカベデオキノコムシ

体長4.5-5.0mm. 長卵形, 黒色で上翅, 尾節板, 腹部腹面, 触角基半, ふ節は赤褐色である. 頭はやや密に点刻されるが前胸背の点刻は弱く疎. 上翅会合部条刻は完全, 背面は疎に強い点刻が列条に見える. ♂♀の外観の差はない. 多孔菌に集まる. 県下にもわりと分布は広いようである.

産地.

揖保郡新宮町福原(1ex.,15.V.1972).

多可郡加美町三谷(1ex.,29.IX.1974).

宍粟郡音水(2exs.,20.VII.1969,etc.).

多紀郡雨石山[林ほか,1995].

養父郡氷の山[中根,1955].

美方郡扇ノ山[辻,1963, 辻,岸田,1972].

6. Eubaeocera abnormalis (Nakane, 1963)

マルマメデオキノコムシ

体長1.8mm内外. 黒色で頭前部, 上翅端, 尾節板は 赤褐色を帯び, 肢は褐色. 触角は黄褐色. 基部は明る い赤褐色. 落葉下より得られる. 兵庫県下での記録 は少ない.

産地.

相生市三濃山(1ex.,3.V.1974). 多紀郡雨石山[林ほか,1995].

7. Eubaeocera satana (Nakane, 1963)

アカマメデオキノコムシ

体長2.0mm内外. 赤褐色で触角, 肢などは多少淡色となる. 触角端半はやや褐色, 頭胸背は滑沢で点刻をほとんど欠き, 上翅は粗い点刻をやや列条に配する. 会合部は条刻深く基縁に沿って肩部まで伸びる. 触角第3節は第4節より少し短く平円筒形. 産地.

神戸市鳥原(lex.3.VIII.1974).

8. Pseudobironium lewisi (Achard, 1923)

ツブデオキノコムシ

体長2.3mm内外. 黒色で頭楯, 口器, 尾節板, 肢は 赤褐色. 触角は黄褐色.

眼の前方内側は少し湾入する. 触角第3節は円筒形,第4節より少し短く第7,8節は同長である. 上翅点刻は粗いが浅く翅端に向け明らかとなり, 会合部条溝は基部に沿ってのび点刻される.

多孔菌に見られる. 兵庫県の記録はあまり多くない.

産地.

宝塚市香合新田[小田中,1992].

Kobe[Achard, 1923].

神戸市再度山(1ex.,20.VL1979,etc.), 藍那(3exs.,24.

IX.1993).

相生市三濃山(1ex.,3.V.1974,etc.).

宍粟郡赤西(5exs.,3.VI.1979,etc.), 坂の谷(8exs.,22. VII.1979,etc.).

多紀郡雨石山[林ほか,1995].

9. Scaphidium emarginatum Lewis,1893

エグリデオキノコムシ

体長6.5-7.0mm. 黒色で触角柄部は濃赤褐色. 上 翅紋は白~淡黄色で幅広く, 前後に鋸歯を出す. 触角は強壮で球稈は強く拡がり, 第8~11節は明らかに横長. 多孔菌に集まるようであるが県下での記録はそれほど多くない.

産地.

川西市笹部[仲田.1978.1982].

多紀郡雨石山[林ほか.1995].

養父郡氷の山(4exs.,25.VII.1955).

10. Scaphidium chujoi Löbl,1957

チュウジョウデオキノコムシ

産地.

多紀郡雨石山[林ほか,1995].

11. Scaphidium femorale Lewis, 1893

ヒメデオキノコムシ

体長5.0mm内外. 黒色で上翅の紋は白〜黄赤色の変化がある. 頭部両眼間の点刻は疎で不規則, 前胸背はほぼ一様に点刻され, 上翅も同様に点刻される. 触角は比較的球稈部が細く, 柄部は赤褐色を帯びる. 県下には広く分布している. 産地.

神戸市鳥原(lex.,4.VIII.1971,etc.), 山の街(lex.,17. V.1953).

多可郡三谷(lex.,29.IX.1974), 鳥羽(lex.,29.IV. 1972,etc.).

揖保郡新宮町(2exs.,7.V.1992).

赤穂市生島[相坂ほか,1995].

相生市三濃山(lex.,16.VI.1974).

宍粟郡音水(1ex.,11.VI.1972,etc.), 赤西(1ex.,3.VI. 1979,etc.).

多紀郡雨石山[林ほか,1995].

氷上郡[山本,1958].

城崎郡蘇武岳[高橋.1975].

養父郡氷の山(1ex..25.VII.1955.etc.).

美方郡扇ノ山[辻,1963, 辻,岸田,1972].

12. Scaphidium incisum Lewis, 1883

ヒメクロデオキノコムシ

体長4.0mm内外. 全体が黒い. 前胸背は明らかに 点刻があり、後方の横溝の点刻は強くほぼ一様であ る. 上翅の点刻はほとんど列をなさず会合部の条溝は深く, 基部に沿って伸びる. 県下での記録は次の1例を知るのみである.

産地.

養父郡大屋町田渕山(1ex.,5.VⅢ.1975.M.Uma leg.).

13. Scaphidium japonum Reitter, 1877

ヤマトデオキノコムシ

体長5~7mm. 上翅紋は白~赤色で細く,前端は前部中央が丸く深く湾入する. 背面はやや密に点刻される. 触角球稈はかなり拡がるが第8節は長さと幅がほぼ同じである. キノコに普通の種である. 兵庫県下にも広く分布している.

産地.

川西市見野,笹部,横地[仲田,1978,1982], 笹部 (5exs..9.IV.1978).

宝塚市玉瀬[小田中,1992].

神戸市六甲山(1ex.,4.V.1987), 御影[関,1933], 再 度山(1ex.,17.I.1979), 森林植物園(3exs.,14.VI. 1986), 鳥原(1ex.,29.IV.1970,etc.), 山の街(1ex., 3.V.1951,etc.), 丹生山(1ex.,18.VII.1958), 箕谷 (3exs.,5.IV.1975), 藍那(1ex.,2.V.1976,etc.), 岩 谷峠(1ex.,20.XI.1981), 投町山(7exs.,7.V.1972),

下谷上(2exs.,30.X.1979),妙法寺(1ex.,23.V.1979),垂水(1ex.,10.V.1985),伊川谷前開(1ex.,19.V.1988),石井ダム(1ex.,21.X.1991),多井畑(1ex.,26.VII.1990),八多町屏風(1ex.,12.V.1993).明石市明石公園(1ex.,7.VII.1979).

多可郡三谷(12exs.,19.IV.1975), 鳥羽(2exs.,29.IV. 1972.etc.).

小野市山田町(lex.,22.VII.1987), 来住町(2exs.,21. VI.1991).

加東郡社町三草(3exs.,22.V.1989).

揖保郡新宮町福原(2exs.,7.V.1992,etc.).

相生市三濃山(5exs.,28.IV.1974,etc.).

朝来郡生野(1ex.,8.VII.1956).

佐用郡大撫山(1ex.,13.Ⅲ.1976).

多紀郡西紀町(現篠山市)(1ex.,20.IV.1982), 雨石山[林ほか,1995].

氷上郡[山本,1958].

宍粟郡音水(16exs.,24.VI.1973,etc.).

美方郡扇ノ山[辻,1963, 辻,岸田,1972, 高橋,1975].

14. Scaphidium montivagum Shirozu et Morimoto, 1963 コヒメデオキノコムシ

体長5-6mm. ヒメデオキノコムシに似る. 上翅の 紋は大きくて黄~黄白色. 触角第8節は第7節より 一般にやや広い.

山地性の種のようであり、県下での記録は氷の山 が知られているだけである.

産地.

養父郡氷の山(1ex.,27.VIL.1956, 2exs.,27.VIL.1957).

15. Scaphidium reitteri Lewis, 1879

ヘソアカデオキノコムシ

体長5.0mm内外. 黒色で頭楯, 前頭, 前胸の側部より前縁上翅の2横帯, 腹部, 触角基部と末端は赤褐色. 朽ち木の腐朽部等に見られる. 県下の分布は広いが多く見られる種ではない.

産地.

Maiyasan[Lewis,1879, 三輪,水戸野,1943].

多可郡三谷(1ex.,2.VIII.1975), 笠形山(3exs.,13.VI. 1975).

神崎郡大河内町砥峰(1ex..18.VI.1977).

相生市三濃山(1ex.,20.V.1973).

宍粟郡音水(1ex.,21.V.1979), 赤西(3exs.,23.VL 1979)

多紀郡雨石山[林ほか,1995].

氷上郡[山本,1958].

美方郡扇ノ山[辻,1963, 辻,岸田,1972].

16. Scaphidium rufopygum Lewis, 1893

シリアカデオキノコムシ

体長4.0mm前後. 黒色であるが尾節板が美しい赤褐色. 脚もよく赤褐色を呈する. 上翅面は不規則に点刻されるが一部は列状, 各中央部の列は多くは強い点刻を前方に含む. 会合線条溝は明らかで基部へ伸びる. 兵庫県ではあまり多く記録されていない. 産地

多紀郡雨石山[林ほか,1995].

養父郡氷の山[中根,1955].

美方郡扇ノ山[辻,1963, 辻,岸田1972].

17. Scaphidium takemurai Nakane,1956

タケムラデオキノコムシ

体は長卵形,♂前腿節は脛節を受ける浅い溝があり、その下縁先1/3は鈍歯状に張り出す.

産地.

多可郡鳥羽(1ex.,29.IV.1972).

18. Scaphisoma austerum Löhl,1965

ニセツマキケシデオキノコムシ

上翅会合部条溝は基部に達せず,前胸張り出し部の前で終わる.会合線は稜状を呈しない. 産地.

神戸市森林植物園(1ex.,14.V.1986).

19. Scaphisoma castaneipenne Reitter, 1877

クリイロケシデオキノコムシ

体長2.1-2.35mm. 背面は強く点刻され, 触角第6

節は4+5節とほぼ等長,暗褐色から赤褐色を呈する. 県下での記録はあまりない.

産地.

川辺郡猪名川町槻並(1ex.,2.VII.1978).

神戸市藍那(1ex..14.VII.1978).

多可郡鳥羽(1ex.,5.VII.1975).

相生市三濃山(1ex..28.IV.1974).

20. Scaphisoma crassipes Achard, 1923

カタモンケシデオキノコムシ

産地.

川辺郡猪名川町槻並(2exs.,4.V.1979,etc.).

川西市笹部(1ex..9.IV.1978).

多可郡鳥羽(1ex.,1.VI.1975).

神崎郡砥峰(1ex..15.VII.1977).

相生市三遵山(2exs.,18.V.1974,etc.).

宍粟郡赤西(1ex..9.IX.1979).

21. Scaphisoma galloisi Achard,1923

ガロアケシデオキノコムシ

体長2.0mm内外. 黒色で上翅端は赤褐色. 触角第6節は前2節の和とほぼ等長.前胸背の点刻は細かく, 上翅のも細かく浅いが, 胸背のものよりやや大きく, 翅端に向かって深くなる. 兵庫県下には広く分布している.

産地.

川辺郡猪名川町槻並(4exs.,2.VII.1978,etc.).

兵庫[Achard,1923, 三輪,水戸野,1943].

神戸市烏原(2exs.,7.IV.1974,etc.), 藍那(3exs.,5. VIII.1978,etc.), 下谷上(1ex.,14.IX.1979), 森林植物園(1ex.,14.VI.1986).

加東郡社町三草(2exs.,22.V.1989).

多可郡三谷(1ex.,15.IV.1974,etc.), 鳥羽(1ex.,1.VL 1975).

相生市三濃山(6exs..6.VII.1973.etc.).

宍粟郡坂の谷(2exs.,22.VII.1979).

揖保郡新宮町福原(2exs..15.V.1992.etc.).

美方郡扇ノ山[髙橋,1975].

22. Scaphisoma haemorrhoidale Reitter. 1877

ツマキケシデオキノコムシ

体長1.5-1.9mm. 黒から黒褐色で光沢がある. 触角, 肢, 翅端部は黄から黄褐色. 尾節板は赤褐色. 頭胸背は極めて細かく浅く疎に点刻され, 上翅は先端に向かい粗く強く点刻を装う. 会合部条溝はほとんど直線的に点刻され, 前端はときにやや曲がる. 兵庫県下には広く分布する.

産地.

川西市笹部[仲田,1978,1982].

神戸市鳥原(1ex.,29.IV.1969,etc.), 藍那(1ex.,5.VIII.

1978,etc.), 須磨浦公園(2exs.,5.VIII.1984), 妙法寺(3es.,2.VIII.1978,etc.).

美囊郡吉川町奥山(1ex..4.VL1986).

多可郡三谷(2exs.,29.IX.1974,etc.).

掛保郡新宮町福原(1ex.,10.VL.1992,etc.).

相生市三濃山(1ex..28.IV.1944.etc.).

失粟郡富永(1ex.,21.V.1979), 赤西(3exs.,9.IX.1978, etc.).

多紀郡雨石山[林ほか,1995].

城崎郡三山[髙橋,1975], 日髙町奈佐路(1ex.,25.V. 1985.etc.).

23. Scaphisoma indubium Löbl.1965

チャパネケシデオキノコムシ

上翅端内角と外角は同一線上にある. 腹部第1節 に微細構造がない. 体長2.0-2.3mm. 産地.

神戸市鳥原(4exs.,14.VII.1973,etc.). 多可郡三谷(1ex.,2.VIII.1975).

24. Scaphisoma japonicum Löbl, 1965

ヤマトケシデオキノコムシ

産地.

相生市三濃山(1ex..16.VL1974).

25. Scaphisoma hisamatsui Löbl,1981

ヒサマツケシデオキノコムシ

産地.

多紀郡雨石山[林ほか,1995].

26. Scaphisoma rubrum Reitter, 1877

アカミケシデオキノコムシ

体長1.5-1.8mm. 暗赤褐色で頭胸背は通常やや濃色,体下は赤褐色. 触角,肢,尾節板は黄褐色. 背面は細かく密に点刻されるが上翅では前体部よりやや粗く, 翅端部で密である. 会合部条溝は前端部よりやや粗く, 翅端部で密である. 兵庫県下には広く分布している.

産地.

川辺郡猪名川町槻並(2exs..2.VII.1978).

神戸市烏原(13exs.,14.V.1974,etc.), 藍那(9exs.,5. VIII.1978,etc.), 妙法寺(1ex.,25.IV.1979,etc.), 押部谷木見(1ex.,17.VIII.1980), 森林植物園(2exs., 14.VI.1986).

美囊郡吉川町(12exs.,22.V.1987,etc.).

加東郡社町三草(11exs.,22.V.1989,etc.).

小野市来住町(2exs.,26.VL1991).

多可郡鳥羽(3exs.,1.VL1975,etc.),三谷(5exs.,24.V. 1955,etc.).

神崎郡砥峰(lex.,18.VII.1977,etc.).

掛保郡新宮町福原(4exs.,15.V.1992,etc.). 相生市三濃山(5exs.,12.V.1974,etc.). 宍栗郡音水(1ex.,11.VII.1978), 赤西(2exs.,23.VI. 1979,etc.), 坂の谷(1exs.,22.VII.1979).

27. Scaphisoma rufum Achard, 1923

アカケシデオキノコムシ

体長1.3-1.5mm. 明赤褐色, ときに頭胸背が暗色を帯び, またときに翅端が黄色, 前胸背基縁が細く褐色. 背面の点刻はきわめて弱く, 胸背ではほとんど認め難く上翅では端部で明らか, 会合部条溝は基部に沿い長くのびる. 体下は平滑. ツチカブリ, イクチなどのキノコに集まる. 県下にはやや広く分布しているようである.

産地.

三原郡論鶴羽山[久松,1973].

川辺郡猪名川町木間生[仲田,1982].

神戸市烏原(2exs.,1.IX.1974,etc.), 藍那(1ex.,7.IX. 1978,etc.), 下谷上(2exs.,17.IX.1979), 妙法寺(1ex.,25.IV.1959), 木津(2exs.,27.VII.1984).

多可郡三谷(lex.,15.VII.1977,etc.).

神崎郡砥峰(2exs.,15.VII.1979).

宍栗郡音水(1ex.,4.V.1972,etc.), 坂の谷(1ex.,22. VII.1979).

28. Scaphisoma sasagoense Löbl, 1965

ササゴケシデオキノコムシ

産地.

多紀郡雨石山[林ほか,1995].

29. Scaphisoma unicolor Achard, 1923

キョウトケシデオキノコムシ

体長1.65-1.7mm. 上翅会合部条溝は基部の内方 1/3で終わり、上翅端は丸みを帯びる. 腹部第1節に 微細構造がない. 兵庫県下の記録は少ない. 産地.

神戸市島原(2exs.,11.IV.1974,etc.), 多井畑(4exs., 26.VII.1990).

相生市三濃山(3exs.,8.VL1974,etc.).

30. Scaphobaeocera japonica (Reitter, 1880)

トピイロホソケシデオキノコムシ

体長1-1.8mm. 黒褐色から暗赤褐色. 上翅端は黄色で触角, 肢は黄褐色, 触角第3節は円筒形, 第4節とほぼ等長, 頭胸背は平滑でほとんど点刻されず, 上翅は浅い細点刻を散布するが, 明らかでない. 会合部条溝は基部に沿ってのびず直線状. 県下での分布はあまり知られていない.

県トでの分布はあまり知られていない 産地.

川辺郡猪名川町槻並[仲田,1982].

神戸市鳥原(1ex.,26.V.1974,etc.). 宍栗郡音水(1ex.,11.VIII.1978,etc.).

31. Toxidium aberrans Achard.1923

ヤマトホソケシデオキノコムシ

体長2.7-3mm. 黒色で光沢があり, 触角, 口器, 肢, 腹端は赤褐色. 触角第3節は第4節と等長で円筒形. 前胸背は不規則に, 上翅は強く不規則に点刻され, とくに上翅基部では粗い. 会合部条溝は明らかで基部に沿いのびる. 県下の記録は少ない. 産地.

川西市笹部[仲田,1978,1982].

神戸市藍那(1ex.,7.IX.1978).

多可郡三谷(1ex.,2.VIII.1975,etc.).

相生市三濃山(1ex.,28.IV.1974,etc.).

く参考文献>

Lewis,G.(1877) On certain new species of Coleoptera from Japan.

Ann. Mag. Nat. Hist. (5) IV,pp.459-467.

Lewis,G.(1893) On some Japanese Scaphidiidae. Ann. Mag. Nat. Hist. (6)XI,pp.288-294.

Lobl,L(1965) Beitrag zur Kenntnis der japanischen Arten der Gattung Scaphosoma Leach (Scaphidiidae)

Ent. Bl. 61:44-58.

Lobl, L(1965) Eine neue Art der Gattung Caryoscapha Ganglbauer aus Japan (Col.).

Annot. zool. bot. (17):1-3.

Lobl,L(1965) Zwei neue japonische Arten der Gattung Scaphosoma Leach (Col., Scaphidiidae). Annot. zool. bot. (23):1-4.

三輪勇四郎(1938) 日本甲虫分類学(西ヶ原刊行 会・東京)

三輪勇四郎·水戸野武夫(1964) 邦産出尾蕈蟲誌 台湾博物学会々報 Vol.33,No.242/243:512-555.

森本 桂(1985) 原色日本甲虫図鑑(Ⅱ) pl.45,p. 252-258. (保育社・大阪)

中根猛彦(1955) 日本の甲虫(でおきのこむし科) 新昆虫 8(8):53-56,9figs., 8(9):50-53,25figs., 8(10):54-57,6figs.

中根猛彦(1963) 原色昆虫大図鑑(第2巻)(甲虫編) pl.39,40,p.78-90.(北隆館·東京)

Nakane,T.(1963) New or little-known Coleoptera from Japan and its adjacent regions XVII.

Fragmenta Coleop. Pars.5:22.

Shirozu, T & Morimoto, K. (1963) A Contribution towards the knowledge of the Genus Scaphidium Olivier of Japan (Coleoptera, Scaphidiidae). Sieboldia 3(1):55-88, pl. 3-7.

兵庫県下のオビモンマグソコガネほか数種のマグソコガネの記録 内藤 隆夫

兵庫県で得られたマグソコガネ数種について報告する。 記録はすべて筆者の採集によるものである。

1. Aphodius unifasciatus Nomura et Nakane

クロオビマグソコガネ

2exs.,神崎郡福崎町七種山,19.Ⅲ.2001; 3exs.,多可郡加美町千ヶ峰,20.Ⅲ.2001

シカ数より得た。本種には、上翅の黒色部が発達する型が知られるが、今回千ヶ峰でこの黒色部がほぼ完全に消失した個体が1頭得られた。本種のこのような斑紋変異の主な要因は、幼生期の気温であるとされている(武田, 1999)。

なお、本種とチャグロマグソコガネについては、 目撃した個体の一部しか採集していない。

2. Aphodius okadai Nakane

オビモンマグソコガネ

15exs.,多可郡加美町千ヶ峰,16.Ⅲ.2001; 25exs.,同所.20.Ⅲ.2001

比較的最近まで奈良公園(模式産地)のみが本種の産地として知られていたが、滋賀県、広島県、島根県からも記録され、本州西部に分布する種であることが分かってきた。シカ糞から得られる種で、シカが多数生息していることが分布の条件である。

現在の知見では、他県においても産地は非常に 局限されているが、多可郡三国岳〜笠形山には同 様の環境が続いており、この山系一帯に分布する 可能性もある。同山系ではアカマダラセンチコガ ネも複数得られており、奥深いものが感じられる。

3. Aphodius pallidiligonis Waterhouse

ネグロマグソコガネ

4exs.,多可郡加美町千ヶ峰,20.Ⅲ.2001 シカ糞より得た。

塚本(1999)には、本種の産地として宮城県、千 葉県、滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、 長崎県、大分県、鹿児島県が挙げられており、ま た広島県からも記録されている(水田・西, 1998)。

本種とともにParemadus亜属に含まれるチャグロマグソコガネに比べて、分布はかなり限定されている。兵庫県下の本種の記録を調べられていないが、本種が得られているとすればチャグロマグソ

コガネも採集されていた可能性が高い。 筆者は、 多雪地や高標高地、陰湿な場所ほどチャグロマグ ソコガネが優占しているものと考えている。

筆者の奈良公園での観察では、本種はParemadus 亜属の中では春季最も遅くまで多くの個体が見られ、渡辺(1989)にも同様の結果が示されている。 今回本種の個体数は少なかったが、これは時期の 問題よりむしろ発生量自体の少なさによるものと 思われる。武田(1999)によれば千葉県における本 種の発生量は年によって増減が顕著であるという。

4. Aphodius isaburoi Nakane

チャグロマグソコガネ

6exs.,相生市三濃山,26.Ⅱ.2001;6exs.,多可郡加美町千ヶ峰,16.Ⅲ.2001;27exs.,神崎郡福崎町七種山,19.Ⅲ.2001;10exs.,多可郡加美町千ヶ峰,20.Ⅲ.2001

いずれの場所でもシカ糞より得た。今回本種しか得られなかった場所でも、上記2種が分布する 可能性はあるものと思われる。

<参考文献>

近重克幸ほか(1988) 糊鷺半島・ホンシュウジカの糞 に集まる食糞性コガネムシ すかしば(30):45-48. 三木三徳・廣田嘉正(1998)奈良春日山原始林と周辺 のコガネムシ 奈良県野生牛物保護委員会

水田國康・東常哲也(1991)広島県の食糞性コガネム シ類 広島虫の会会報(30):39-47.

水田國康・西 真弘(1998)広島県産フン虫の記録追加(2) 広島虫の会会報(37):5-6.

内藤隆夫(2000)兵庫県で採集した甲虫類の記録 きべりはむし28(2):77-82.

高橋寿郎(1997)中国山地をめぐる地域のコガネムシ 相 ホシザキグリーン財団研究報告1:205-219.

武田卓明(1999) 千葉県の食糞コガネムシ類 千葉 県動物誌:564-583.文一総合出版

塚本珪一(1997)フン虫地理学1.奈良県のフン虫 ねじればね(75):1-3.

塚本珪一(1999)国産甲虫辞典シリーズ【糞虫】ネグロマグソコガネLUKANUS WORLD(12):6-7.

渡辺弘之(1989)シバとシカと糞虫 日本の生物(26: 14-18.

(NAITO TAKAO 寝屋川市池田3-4-13)

兵庫県のセダカモクメ亜科

(兵庫県産蛾類分布資料・20) 高島 昭

今回は、兵庫県のセダカモクメ亜科(ヤガ科)について述べる。データは2001年3月31日現在で入手できた資料に基づいている。記載の要領はこれまでと同様であるが、とくに兵庫県立人と自然の博物館に収成されている標本について調査をする機会を争けたので、あわせて紹介する。採集者名の右肩に★印がある記録は「県立人と自然の博物館」に収蔵されている報本を示す。なお、同じく右肩の数字は引用文献番号で、数字と★印が併記されているものはかつるで表が発表され、かつ標本を博物館で確認したて快部いただいた兵庫県立人と自然の博物館の中西明徳氏、八木剛氏にはこの場を借りて厚くお礼申し上げる。

セダカモクメ亜科 (CUCULLI INAE)

この亜科は北半球の温帯に分布の中心を持っており、年1回、秋に出現するものが多い。大部分は温帯落葉樹林の樹木性の種で、一部に暖温帯常緑林に生息するものがいる。また、内陸草原に優勢な属も一部にある。日本からは86種が知られており、そのうち兵庫県からは55種が見つかっている。概してよける記録の集積は乏しく、既知産地が限定されている種が多い。発生時期が晩秋から初冬にかけての種が多く、加えて成虫越冬しない群もかなりあること、燈火には飛来しない種が多いことも記録が少ない要因と思われる。

人気の高いグループのわりに、最近になってナンカイミドリキリガ、アメイロホソキリガ、ヒロバモクメキリガなどが相次いで発見されているのもこのようなことによると思われる。

県下の記録を地域別に見ると、神戸39種、阪神・ 北摂34種、中東播南部19種、中東播北部19種、西 播南部32種、西播北部31種、南但18種、北但11種、 丹波6種、淡路北部2種、淡路南部22種となってい て、採集調査を行いやすいかまたは古くから行われ ている地域、温暖な地域での記録が多いようである。 とくに秋から冬にかけては山地帯での調査が不十分 であることは明らかである。越冬するものは春先の 糖蜜採集やキブシ、ツバキなどの花に飛来するもの を採集すれば効率よく得ることができるようなので、 今後の記録の集積に期待したい。

セダカモクメ、アオモンギンセダカモクメ、ブラ

イヤオビキリガ、ホソバオビキリガ、シロクビキリガ、ウスアオキリガ、カタハリキリガ、ナカグロホソキリガ、アメイロホソキリガ、コケイロホソキリガ、サヌキキリガ、ムラサキミツボシキリガ、カバイロミツボシキリガ、ヨスジキリガ、キマエキリガ、エグリキリガ、ヤマノモンキリガ、スミレモンキリガ、ツチイロキリガ、イチゴキリガ、ハイイロハガタヨトウは記録が少なく、「注目種」の表示を付したが、単に調査が不十分なだけのものも含まれていることをお断りしておく。

これらのうちアオモンギンセダカモクメ、サヌキキリガ、ツチイロキリガ、コケイロホソキリガなどは全国的にも局地的な分布をする希少種で、注目される。また、アオモンギンセダカモクメ、シロクビキリガ、カタハリキリガ、カバイロミツボシキリガ、エグリキリガ、ツチイロキリガ、ハイイロハガタヨトウはいずれも1例のみの記録で、最近の採集例が無く確認が必要である。

1. Cucullia maculosa Staudinger (3651)

ハイイロセダカモクメ

北海道から九州に至る本土域と対馬に分布する。 年1回夏の終わりから初秋にかけて出現する。幼虫 はヨモギにつく。県下では記録が少なく、局地的な 分布を示す。とくに山地性というわけではないよう である。これまで神戸市、宝塚市、黒田庄町、波賀 町で報告されている。

[採集記錄]

神戸市(摩耶山,10.IX.1967,1♀,岡村八郎³*)

宝塚市(野上,30.IX.1974,1♀,東正雄19)

黑田庄町(喜多,23.IX.1960,1ex.;13.IX.1960,1ex.;20.IX. 1962,1ex.,网本清⁵)

波賀町(引原,17.IX.1988,1♂,高島昭¹⁰: 坂の谷,19.VIII. 1998,1♂;28.VIII.1998,1♂,高島昭)

2. Cucullia perforata Bremer (3653) セダカモクメ 注目標

ユーラシア種で日本では北海道から九州にかけてと対馬に分布する。年1回の出現で、8~9月に発生する。幼虫はアキノキリンソウ、ユウガギクにつく。県下では局地的な分布を示し、氷ノ山周辺の山地帯で記録があるほか、猪名川町からも得られている。この仲間は草原性の種が多く、兵庫県には大規模な草原が少ないことから局地的な分布をする種が

多いが、播州高原や但馬の火山性草原の調査を行えば新しい産地が見つかる可能性は大きい。

[採集記錄]

猪名川町(上阿古谷,1.IX.1982,1♂,夏秋ほか²⁶) 波賀町(引原,-VIII.1982,2♂,相坂耕作) 村岡町(鉢北高原,19.VIII.2000,1♂1♀,高島昭) 氷ノ山(----,-,遠山ほか⁷) 関宮町(氷ノ山----1954,-,山本義丸⁴⁴)

3. Cucullia argentea (Hufnagel) (3657) アオモンギンセダカモクメ 注目種

ユーラシア種で、日本では秋田、新潟、富山、福井、兵庫、岡山、香川、愛媛の諸県と対馬で記録があるだけで局地的な分布を示す。年1回秋に発生し、ヨモギ属につくという。県下では高砂市の古い記録が1例あるだけで極めて珍しく、詳しい調査が必要である。この種は植生が貧弱なところでよく見つかるらしく、海岸沿いの荒地などがポイントかもしれない。

[採集記録]

高砂市(-,21.IX.1963,-,岡本清')

4. Cucullia fraterna Butler (3658)

ホソバセダカモクメ

ユーラシア種で北海道から九州に至る本土域のほか奄美大島、沖縄でも採集されており、本属の中で最も分布域が広い。年2回の発生で、成虫は初夏と初秋に得られる。県下の記録はなぜか神戸、阪神地域に限られており、その他の地域からは報告がない。分布していないのか確認されていないだけなのかは不明である。ハルノノゲシ、アキノノゲシなどのキク科から幼虫が得られている。

[採集記錄]

神戸市(有馬,3.VII.1948,1♀,東正雄1°: 諏訪山公園,-X. 1997,-,山口福男⁶: 摩耶山,16.VIII.1984,1♂,岡村八郎*)

西宮市(上葭原町,11.VII.1956,1♂,東正雄¹⁰) 伊丹市(-,26.VI.1958,-,山本義丸⁴¹) 川西市(黒川,7.IX.1996,1♂,高島昭¹¹) 能勢妙見山(18.VIII.1984,1♂,夏秋ほか²¹)

5. Cucullia kurilullia Bryk (3660)

キクセダカモクメ

北海道から九州までかなり普通的に分布する。年 2回の発生で、初夏の頃と初秋に成虫が得られる。 幼虫はゴマナ、ユウガギクなどキク科につく。県下 では丹波、淡路地域を除いて記録があり、本属中で は最も普通的であるが、どこにも普通にいるという わけではない。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-.-.-,田中蕃²⁰)

西宮市(香枦園,15.IX.1954,1♂,東正雄¹⁶)

宝塚市(武田尾,7.X.1992,1♀,東たか¹⁹)

高砂市(-,26.VIII.1976,1ex.,岡本清') 黒田庄町(喜多,3.VII.1959,1ex.;4.V.1959,1ex.;18.V.

1959,1ex.;29.IX.1959,1ex.;5.V.1960,2exs.;25.IV.1960,1ex.. 岡本清*)

波賀町(引原,22.VI.1974,1♂;22.V.1976,1♀,遊磨正秀 ⁽⁶)

日高町(神鍋,19.VII.1976,1♂,山本義丸⁴) 和田山町(玉置,22.IX.1998,1ex.柴田剛) 大屋町(横行渓谷,15.V.1999,1♂,高島昭) 氷ノ山(-.-.-,-,遠山ほか′)

6. Daseochaeta viridis (Leech) (3669)

ケンモンミドリキリガ

ミドリケンモンという別名がある。北海道から九州まで本土域に広く分布する。屋久島でも記録がある。年1回10~11月頃に出現する。幼虫はチドリノキ、ヤマザクラなどの広葉樹を食べる。県下ではほぼ全域に分布しているが、西播南部、南但、丹波、淡路北部など記録がない地域もある。おそらく広く分布しているものと思われる。

[採集記錄]

神戸市(藍那,26.X.1987,1♂,中川俟夫*: 諏訪山公園, -.X.1997,-,山口福男⁶:布引公園,17.XI.1988,1♂;10. XI.1989,1♂,八木剛³⁶:摩耶山,8.XI.1984,2♂,岡村 八郎^{3*}:世継山,7.XI.1991,2♂;23.XI.1991,1♂,岡村 八郎*)

川西市(一の鳥居,10.XL1984,1♀,夏秋ほか": 黒川,9. XL1996,1♂;1.XL1997,1♂2♀,高島昭")

宝塚市(武田尾,15.XI.1992,2♂,東正雄¹⁰: 西谷西部, 28.X.1979,1♂,東正雄¹⁰: 武庫川町,11.XI.1978,-,新家勝¹¹)

黑田庄町(喜多,10.XL1960,1ex.;9.XL1962,1ex.,岡本清

姫路市(曹写台,15.XI.1988,1♂,高島昭)

波賀町(引原,22.X.1975,1♂,遊磨正秀":同,19.X.1988, 1♂,高島昭")

豊岡市(山本,7.XI.1972,-,山根政之¹⁷)

竹野町(森本,15.XI.1998,2exs.,柴田剛)

洲本市(宇山,8.XI.1981,2exs.;15.XI.1981,1ex.,林俊雅 ³²)

南淡町(阿万上町,-.XI.1960,-,藤平明³⁵: 同,15.XI.1990, -;13.XI.1991,-,藤平明³⁵: 灘黒岩,24.XI.1997,-,藤平 明³⁵)

7. Dryobotodes intermissa (Butler) (3671) ナカオビキリガ

日本特産種。北海道から本州、四国、九州にかけて分布し、年1回、晩秋に出現する。大図鑑では出現時期を10~11月としているように比較的出現時期は短いようであるが、なかには1月はじめまで生き延びるものもあるようだ。成虫で越冬しない。兵庫県での分布は南部の低山地に限られているが、内陸部、北部からも発見が期待される。本種を含めて、セダカモクメ亜科のキリガ類は出現時期が晩秋に限られ成虫越冬をしないものがあり、これらについては充分な調査ができていないものと思われる。

[採集記録]

神戸市(布引公園,17.XI.1988,1♂2♀;24.XI.1989,1♀, 八木剛³³*:鉢伏山,1.XII.1989,1♀,八木剛³³:廖耶山,8.XI.1984,1♂;10.XI.1984,1♂,岡村八郎*:世継山,7.I.1991,1♀,岡村八郎*)

川西市(一の鳥居,10.XL1984,3♂,夏秋ほか²³) 宝塚市(西谷西部,27.X.1979,1♀,東正雄¹⁹) 黒田庄町(喜多,10.XL1960,1ex.,岡本清⁵) 相生市(三濃山,12.XL12000,1♂,高島昭) 三日月町(下本郷,--X.1984,-,川副昭人⁴) 洲本市(宇山,29.XL1981,2exs.,林俊雅²²) 南淡町(阿万上町,23.XL1991,-,藤平明³⁵:福良向

南淡町(阿万上町,23.XL1991,-,藤平明³⁸:福良向谷,20. XII.1997,-,藤平明³⁸)

8. Dryobotodes pryeri (Leech) (3672) プライヤオビキリガ 注目種

日本特産種で、北海道から九州まで本土域に広く 分布している。年1回の発生で、晩秋に出現する。 成虫越冬はしない。幼虫はヒメヤシャブシを食べる という。前種に比べて山地性の傾向がある。県下で は川西市、大河内町、波賀町で記録されているだけ で少ない種である。本種は出現期間が極めて短いも のと思われ、このことが記録の少ない要因の一つで あると思われる。

[採集記錄]

川西市(一の鳥居,10.XI.1984,1♂,夏秋ほか²) 大河内町(長沢,29.X.1999,3♂,高島昭) 波賀町(引原,19.X.1988,2♂,高島昭¹⁰)

9. Dryobotodes angusta Sugi (3673)

ホソパオビキリガ 注目種

日本特産種。産出は局地的で、北海道、岩手県岩泉町、千葉市、香川県高松市、大阪府、小豆島、福岡市、大牟田市などで採集例がある。暖温帯落葉林に優勢な種と思われるが、最近北海道からも記録された。年1化、晩秋11月から12月にかけて出現する。成虫では越冬しないと推定されている。県下で

は永らくホロタイプとして記載された黒田庄町での 1例のみであったが、神戸市鉢伏山でも確認された。 現状では極めて稀な種であるが、発生時期が遅くそ れほど調査が行われていないこともあると思う。低 山地から里山にかけてこの時期の調査を行えば、新 しい産地はみつかると思う。

「採集記録]

神戸市(鉢伏山,26.XII.1989,2♂,八木剛³⁸) 黒田庄町(喜多,15.XI.1960,1ex..岡本清⁵)

10. Xylena fumosa (Butler) (3675) アヤモクメキリガ

暖温帯性の種で、関東地方、新潟県を北限として 九州までの西日本で記録がある。里山や二次林が分 布の中心である。一般に個体数は少ない。年1回の 発生で、11月頃に出現し、そのまま越冬し、早春に 再び活動する。幼虫は多食性で、樹木よりも草本で 多く見出されるという。県下ではやや産地は限られ ており、西播北部から但馬にかけて広い範囲で記録 が見られない。記録のある地域でも個体数は少ない ようである。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,17.XI.1984,-,岡村八郎³) 黒田庄町(喜多,20.III.1959.1ex.,岡本清²) 姫路市(豊富町神谷,18.III.1984,1♀,稲田和久¹²) 御津町(稲富,26.II.1984,5♂1♀,稲田和久¹) 相生市(瓜生,25.II.1997,1♂,高島昭") 柏原町(柏原,----,-山本義丸⁴²) 南淡町(阿万上町,14.III.1986,-,藤平明¾)

11. Xylena nihonica (Höne) (3676)

ハネナガモクメキリガ

日本特産種。暖温帯性の種で、常緑カシ林が多く 保存されているところに産地が多いという。分布は 関東南部が北限で、東海、近畿、四国、九州、対馬、 屋久島、沖縄本島に至る。年1回の発生で、10月に 出現、成虫で越冬し、早春にも活動する。幼虫は多 食性で、サクラやカシなどにつく。県下では神戸・ 阪神地域から西播磨にかけての瀬戸内側で記録があ り、これらの地域では普通種である。淡路地域にも 分布している。糖蜜によく集まる。

「採集記録

神戸市(有馬,27.Ⅲ.1971,1♂,遊磨正秀": 布引公園, 12.Ⅲ.1983,1♀;17.XL1988,1♂4♀,八木剛": 同,17. XL1988,3♂,八木剛*:鉢大山,1.XⅡ.1989,22♂2♀;8. XⅡ.1989,1♂2♀,八木剛"*: 同,1.XⅡ.1989,3♂4♀,N. Sugiura*: 同,1.XⅡ.1989,6♂1♀,森谷正之*: 同,15. XⅡ.1989,12♂1♀;21.Ⅲ.1990,1♂1♀,八木剛")

川西市(笹部,20.川.1983,1♂,夏秋ほか*: 東多田,21.

XII.1983.1♂.夏秋ほか²³)

猪名川町(上阿古谷,27.Ⅲ.1984,1♂,夏秋ほか²)

姫路市(広峰神社,26.Ⅲ.1983,1♀,稲田和久¹)

香寺町(中村,19.III.1983,1d,稲田和久1)

御津町(稲富,17.Ⅲ.1983,4 ♀,稲田和久¹:室津赤碕,10. Ⅲ.1982,1♂;9.Ⅲ.1983,1♂;17.Ⅱ.1983,2♂,稲田和久¹)

安富町(大河渓谷,14.XI.1998,1♂;21.XI.1998,1♂,高島 昭)

相生市(瓜生,2.XII.1998,1.♂,高島昭:三濃山,24.III. 1983,1♀,稲田和久¹:同,13.IV.2000,1.♂;2.XII.2000, 4♂;12.XII.2000,3♂;22.XII.2000,1.♂,高島昭) 南淡町(阿万上町,6.II.1994.-藤平明³)

12. Xylena formosa (Butler) (3677)

キパラモクメキリガ

北海道から九州に至る本土域で本属中最も普通に 見られる。年1回、10~11月に出現し、成虫で越 冬、翌春再び活動する。幼虫は多食性。県下では各 地で記録され、普通に見られる種である。

[採集記錄]

神戸市(藍那,19.IV.1988,2♀,中川俟夫*: 諏訪山公園, --XI.1997,-,山口福男**: 布引公園,12.III.1983,1♂ 1♀;25.III.1983,1♀;30.III.1983,1♀,八木剛**: 同,17. XI.1988,1♂,八木剛*: 鉢伏山,1.XII.1989,5♀,八木 剛***: 同,8.XII.1989,5♂,八木剛*: 同,21.II.1990, 7♂1♀,八木剛**: 同,1.XII.1989,3♂,N.Sugiura*: 同,1.XII.1989,6♂,森谷正之*: 摩耶山,----,田中蕃 **: 同,17.XI.1984,1♀,岡村八郎*: 世継山,7.I.1991, 1♂,岡村八郎*)

西宮市(上葭原町,29.XI.1968,1♀,東正雄¹⁹: 東浜町, 16.III.1957,1♀,石黒¹⁹)

川西市(一の鳥居,2.IV.1985,1♀;26.IV.1985,1♂,夏秋ほか²¹: 笹部,16.L1983,1♀;20.III.1983,1♀,夏秋ほか²¹: 東多田,19.III.1983,1♀,夏秋ほか²³:

猪名川町(上阿古谷,6.IV.1983,1♀;10.XII.1983,1♀,夏 秋ほか²)

宝塚市(武田尾,17.XL1991,1♀,東正雄¹⁹:西谷西部, 25.XIL1979,1♂,東正雄¹⁹:武庫川町,4.XIL1979,-,新 家勝³¹)

黒田庄町(喜多,3.IV.1959,1ex.;3.II.1962,1ex.;7.II.1962,1ex.,网本清⁵)

姫路市(広峰神社,26.Ⅲ.1983,1♂,稲田和久¹: そうめん滝,18.Ⅲ.2000,1♀,高島昭)

大河内町(長沢,29.X.1999,1分;29.IV.2000,3分,高島昭) 御津町(稲富,17.III.1983,1♀;26.II.1984,1分,稲田和久¹ : 室津赤碕,5.III.1983,2♀,稲田和久¹: 室津賀茂神

: 室津赤碕,5.III.1983,2 ♀,稲田和久': 室津賀茂神 社,12.III.1981,1 ♀;3.III.1983,2 ♀,稲田和久')

波賀町(引原,18.V.1974,1♀;7.IV.1975,3♂;22.IV.1975,

2♂;2.IV.1976,1♂;30.III.1976,2exs.;8.V.1977,1♀;22. IV.1977,1♂5♀;3.V.1978,1♂;3.V.1979,5♀,遊磨正秀":同,18.IV.1982,3exs.,稲田和久¹:同,24.III.1988,2♀;27.III.1988,1♀,高島昭¹。:同,12.XI.1997,1♂,高島昭)

相生市(瓜生,25.IV.1996,1~,高島昭")

上郡町(行頭,2.V.1995,1~,高島昭")

豊岡市(正法寺,8.XI.1998,1ex.,柴田剛)

温泉町(扇ノ山,3.V.1985,1 J,足立義弘²)

関宮町(氷ノ山,2.XI.1991,1♂,八木剛*)

氷上郡(-,-.-,山本義丸¹¹)

津名町(大町畑,10.Ⅲ,1973,1♂,登日邦明²)

洲本市(宇山,20.XI.1981,1ex.,林俊雅32)

南淡町(阿万上町,29.III.1959,-;11.II.1962,-藤平明³⁵: 同,19.XL1991,-;30.III.1997,-,藤平明³⁵: 濮大川,21.III. 1996,-藤平明³⁵)

13. Lithophane ustulata Butler (3679)

ハンノキリガ

北海道から九州にかけて分布する。10~11月に 出現し、成虫で越冬、早春に活動する。糖蜜によく 集まる。幼虫は、コナラ、ミズナラから見出されて いる。県下では南部平坦地から低山地にかけて分布 しているが、中東播、但馬、丹波地域からは現在の ところ記録がない。おそらく県下に広く分布してい るものと思われる。

[採集記錄]

神戸市(藍那,23.IV.1985,1♀,中川俟夫*:布引公園, 12.III.1983,1♂1♀;25.III.1983,1♀;30.III.1983,1♀, 八木剛":鉢伏山,1.XII.1989,5♀;21.II.1990,7♂1♀, 八木剛":摩耶山,----,-田中蕃[∞]:六甲山,25.IV. 1985,1♂,岡村八郎*:世継山,23.I.1991,1♂;14.XI. 1991,1♂;18.IV.1992,1♀,岡村八郎*)

川西市(一の鳥居,27.III.1983,2♀;2.IV.1985,2♀,夏秋 ほか²)

猪名川町(上阿古谷,27.IV.1984,2♂2♀,夏秋ほか26)

宝塚市(南口2丁目,5.XII.1984,-,新家勝¹⁰)

三田市(相野,14.IV.1985,1 P,岡村八郎*)

御津町(稲富,17.Ⅲ.1983,1♀,稲田和久¹:室津赤碕,5.Ⅲ.1983,1♀;9.Ⅲ.1983,2♀,稲田和久¹:室津賀茂神社,12.Ⅲ.1981,1ex.;14.Ⅲ.1982,1♀;16.Ⅲ.1981,5exs.,稲田和久¹)

波賀町(引原,7.IV.1975,1♂遊磨正秀":同,4.IV.1983, 1♀稲田和久¹)

相生市(瓜生,31.III.1997,1♂,高島昭":同,17.III.1999, 1♂,高島昭:三濃山,12.XII.2000,1♂1♀;19.III.2001, 1♀,高島昭)

三日月町(下本郷,-.Ⅲ.1984,-;-.XI.1984,-,川 副昭人*: 同,30.Ⅲ.1984,2♀,川副昭人*)

洲本市(厚浜,29.XI.1977,-,藤富正昭3)

14. Lithophane pruinosa (Butler) (3680) カシワキボシキリガ

北海道から九州に至る本土域に分布し、10~11月に出現する。成虫越冬で翌春再び活動する。幼虫はクヌギから見出されている。和名は特定の食樹を示すものではない。県下では神戸・阪神、西播、淡路南部など南部の平坦地から低山地にかけて記録されている。県下各地に広く分布していると思われるが前種よりは少ない。

[採集記錄]

神戸市(諏訪山公園,-.XI.1997,-,山口福男⁴:布引公園, 16.III.1985,1♀,八木剛³³:鉢伏山,15.XII.1989,1♂; 21.II.1990,2♂1♀,八木剛³³:磨耶山,----,-,田中蕃²⁰) 川西市(一の鳥居,6.IV.1985,1♀,夏秋ほか²³)

猪名川町(上阿古谷,27.III.1984,1♀,夏秋ほか²)

御津町(室津赤碕,5.Ⅲ.1983,2♀;9.Ⅲ.1983,1♂2♀,稲田和久¹:室津賀茂神社,16.Ⅲ.1981,1♂,稲田和久¹)
波賀町(引原,6.XⅡ.1975,1♂;22.X.1975,1♂,遊磨正秀 "6")

相生市(瓜生,17.III.1999,1分,高島昭:三濃山,24.III. 1983,1年,稲田和久)

三日月町(下本郷,-.IV.1984,-,川副昭人*:同,30.III. 1984,5♂,川副昭人*)

洲本市(宇山,29.XI.1981,1ex.,林俊雅32)

15. Lithophane consocia (Borkhausen) (3682)

シロクビキリガ 注目種

ユーラシア種で、日本では北海道から九州に至る本土域と伊豆大島に分布する。西日本では相当の高地に限られ、最近では広島県吉和村からの記録がある。成虫は9月に出現し、成虫で越冬し、翌春にも見られる。幼虫はハンノキで飼育されている。県下の記録は波賀町の1例のみであり、詳しい調査が必要である。おそらく氷ノ山を中心とする西播北部から但馬地域の山地に限られるものと思われる。

[採集記録]

波賀町(引原,7.IV.1975.1♀,遊磨正秀")

16. Lithophane venusta (Leech) (3684)

ウスアオキリガ 注目種

前翅の斑紋には二つの型がある。北海道から九州まで分布する。年1回、秋に出現し成虫で越冬、春に再び活動する。幼虫はミズナラから得られている。県下では神戸市有馬と波賀町の引原ダムで記録があるだけで少ない種である。しかし、県下一帯の山地に広く分布しているのではないかと思われる。[採集記錄]

神戸市(有馬,5.IV.1970,1♂;1.V.1971,1♀,遊磨正秀") 波賀町(引原,18.IV.1982,1♂,稲田和久¹)

17. Lithophane rosinae (Püngeler) (3685)

カタハリキリガ 注目種

前翅の斑紋や色調には変異が大きい。全体が褐色の型はナカグロホソキリガに似るが、外縁角付近の 黒色紋は本種だけの特徴である。冷温帯性の種で、 北海道から中部山地にかけてが主たる分布域で、西 南日本では兵庫県と愛媛県から記録がある。11月頃 羽化し、成虫で越冬した後、春に再び活動する。自 然状態での食樹は不明だがサクラで飼育可能という。 県下では引原ダムでの報告が唯一であり、産地は局 限されていると思われる。

[採集記錄]

波賀町(引原.7.IV.1975.1♂.遊磨正秀")

18. Lithophane hepatica (Clerck) (3686)

ナカグロホソキリガ 注目種

北海道から中部山地にかけてが主たる分布域であり、西南日本では山地に限られる。四国からも記録がある。年1回、9月に出現し、成虫で越冬する。県下では、波賀町と大屋町の山地帯でのみ記録されている。前種と同様、産地は局限されていると思われる。春はよく燈火に飛来する。

[採集記錄]

波賀町(坂の谷,28.IV.1998,1♂,高島昭¹⁶:同,12.XI. 1991,1♂1♀,八木剛*:引原,7.IV.1975,1♂;2.IV. 1976,1♀;3.V.1979,1♀,遊磨正秀") 大屋町(横行渓谷,28.V.1999,1♀,高島昭¹⁶)

19. Lithophane remota Hreblay & Ronkay (****) アメイロホソキリガ 注目種

以前はナカグロホソキリガと混同されていたが、1998年に分離された。ナカイロホソキリガより全体に淡い色合いで、前翅中程の黒斑がなく地色と同系色をしている。新潟、長野、山梨、静岡、群馬、東京などで記録され、ナカグロホソキリガと混生するという。筆者の所有する兵庫県産のナカグロホソキリガの標本を検討した結果、波賀町、大屋町産のものに本種が混じっていた。おそらく中央山地帯に広く分布するものと思われる。

[採集記錄]

波賀町(坂の谷,17.IV.1998,1♂,高島昭) 大屋町(横行渓谷,17.IV.1999,3♂,高島昭)

20. Lithophane nagaii Sugi (3687)

コケイロホソキリガ 注目種

日本特産種で、暖温帯林に優勢でかつ山地性であ

る。静岡県、新潟県を北限とし、四国、九州、屋久島まで分布する。年1回10月頃に出現し、越冬後春に再び活動する。幼生期は不明である。県下ではこれまで記録がなかったが、筆者は最近大河内町と大屋町で採集している。極めて局地的で少ない種と思われるが、灯火にもよく飛来するようなので充分調査を行えば新産地は発見できると思われる。

[採集記錄]

大河内町(長沢,29.X.1999,1♂;29.IV.2000,3♂,高島昭) 大屋町(横行渓谷,17.IV.1999,1♂,高島昭¹⁶)

21. Elwesia sugii Yoshimoto (3688)

サヌキキリガ 注目種

暖温帯性の蛾で極めて局地的な分布を示す。香川県琴平町の象頭山の照葉樹を主体とする原生林で初めて記録され、その後大阪府箕面、愛知県豊田市、大阪府泉佐野市、熊本県、鹿児島県大口市など西日本各地で産地が見つかっている。11月に出現するが春の採集例はなく、成虫越冬かどうかは不明とされている。

県下では大阪府との境に近い川西市で最初に得られ、その後神戸市の六甲山系南部の山麓部からも記録された。筆者も相生市の照葉樹林で確認している。局地的な種のようであるが、照葉樹の残る低山地から沿岸部を探せば案外各地で見つかるかもしれない。糖蜜採集が有効と思われる。

[採集記録]

神戸市(布引公園,17.XI.1988,1♀,八木剛³⁸:鉢伏山,8. XII.1989,1♂,八木剛³⁸)

川西市(黒川,8.XII.1982,1平,川副昭人24)

相生市(三濃山,2.XII.2000,1~11,高島昭)

22. Eupsilia tripunctata Butler (3690)

ミツボシキリガ

暖温帯の二次林に優勢な蛾で、関東地方を北限として四国、九州、対馬に産する。10月頃出現し、越冬した蛾は翌春にも見られる。幼虫はエノキを食べる。県下では南部の平地から低山地で散発的に記録がある。おそらくエノキをまじえた二次林があれば広く分布していると思われる。発生初期の確認例は少ないが、早春にはよく見られる。糖蜜採集が有効である。

[採集記錄]

神戸市(諏訪山公園,-.IV.1997,-,山口福男⁴⁰:布引公園, 12.III.1983,2♀,八木剛³³:摩耶山,----,田中蕃²⁰)

川西市(東多田,24.Ⅲ.1981,1♂,夏秋ほか28)

姫路市(太市,21.XL1998,1♂,高島昭)

御津町(稲富,26.II.1984,1♂,稲田和久¹)

相生市(三濃山,22.11.2001,1♂;6.111.2001,2♂1♀;19.111.

2001,2%,高島昭)

三日月町(下本郷,-.III.1984,-,川副昭人⁸) 洲本市(宇山,13.II.1982,1ex.,林俊雅³²)

南淡町(阿万上町,22.II.1962,-,藤平明³⁶:同,25.III.1993, -,藤平明³⁶)

23. Eupsilia unipuncta Scriba (3691)

ムラサキミツボシキリガ 注目種

暖温帯域の蛾であるが局地的な分布をし、個体数も少ない。福島県、宮城県、足尾銅山、奥多摩町、三峰山、神奈川県、山梨県、岐阜県、愛媛県、熊大分県などで記録されている。近畿地方では大阪府箕面、奈良県川上村で記録がある。年1回10月に出現し、成虫で越冬する。山地性で、県下では安富町、波賀町引原ダムなど西播北部の山地帯で記録されている。高標高地よりもむしろ暖帯林の優勢な山地帯が主たる生息地であるように思われる。筆者が確認したのはいずれも灯火に飛来したものであるが、糖蜜採集が有効との報告もある。

[採集記錄]

安富町(大河渓谷,27.Ⅲ.1999,1♂,高島昭¹⁶) 波賀町(引原,4.XI.1988,1♂,高島昭¹⁶:同,12.XI.1997, 1♂,高島昭¹⁵)

24. Eupsilia boursini Sugi (3692)

カパイロミツボシキリガ 注目種

冷温帯性の種で、北海道から本州中部山地にかけて産地があり、四国剣山でも記録がある。近県では奈良県上北山村で記録がある。10月に出現し、成虫で越冬、翌春再び活動する。幼虫はシナノキを食べることがわかっている。県下の記録は引原ダムで得られた1例のみで詳しい調査が必要である。前種よりも山地性で局地的な分布をすると思われ、氷ノ山周辺での発見が期待される。

[採集記錄]

波賀町(引原,6.XII.1975,1♂,遊磨正秀")

25. Eupsilia quadrilinea (Leech) (3693)

ヨスジノコメキリガ

日本特産種。暖温帯性で、関東南部を北限とし、四国、九州、対馬に分布する。年1回、10月頃に羽化し、越冬した蛾は翌春に再び見られる。県下では南部の低山地で記録されており、生息地での個体数は少なくない。おそらく県下全域の里山には広く分布していると思われる。

[採集記錄]

神戸市(布引公園,12.Ⅲ.1983,1♀;25.Ⅲ.1983,1♂;30.Ⅲ.1983,2♀;16.Ⅲ.1985,1♂;17.XI.1988,1♀;24.XI. 1989,1♀,八木剛³・鉢伏山,1.XII.1989,1♀;15.XII.

1989.1♂:20.X.1989.1♀:21.Ⅱ.1990,2♂1♀,八木剛*) 川西市(東多田.29.111.1984.1 平.夏秋ほか26)

姫路市(そうめん滝,3.Ⅲ.2000,2♂,高島昭)

御津町(稲富.17.Ⅲ.1983.1♀:4.Ⅱ.1984.1♂.稲田和久1 : 室津赤碕.9.Ⅲ.1983.3♀:12.Ⅲ.1983.1♀:3.Ⅲ.1984. 1♀.稲田和久¹: 室津賀茂神社.16.Ⅲ.1982.1♀.稲田

相生市(三濃山,2.XII.2000,1~;22.II.2001,1~;6.III. 2001.1~5年,高島昭)

三日月町(下本郷.-.Ⅲ.1984.-,川副昭人。)

26. Eupsilia strigifera Butler (3694)

ヨスジキリガ 注目穩

日本特産種。東北南部以南の本州と四国、九州、 対馬に分布するが、個体数は少ない。近県では大阪 府泉佐野市からの報告がある。年1回、秋に出現し、 越冬した蛾は翌春再び活動する。県下では安富町、 御津町、波賀町と西播地域でのみ記録されている。 南部の平坦地を中心にもっと広く分布していると思 われ、記録の集積が望まれる。

[採集記錄]

和久1)

御津町(室津赤碕.9.III.1983.3♀.稲田和久¹) 安富町(大河渓谷.14.XL1998.18, 高島昭¹⁶) 波賀町(引原.22.IX.1981.2♂.稲田和久¹)

27. Eupsilia contracta Butler (3695)

ウスミミモンキリガ

北海道から九州にかけての本土域に分布し、低標 高の二次林が主たる生息場所である。西表島からも 記録がある。年1回、10月に発生するが、灯火採集 では得難く糖蜜採集が有効である。幼虫はハンノキ 属を食べる。県下では南部の平地から低山地に分布 している。中央山地や県北部での発見が期待される。 [採集記錄]

神戸市(新神戸駅,8.IV.1983,1♀,八木剛⁵⁸)

川西市(東多田,24.11.1981,1♂;19.111.1983,1♂;27.111.

1983,1♂;29.L1983,1♂,夏秋ほか*)

明石市(大久保町.16.III.1964.1ex..岡本清6)

姫路市(広峰神社,26,III,1983,1♀,稲田和久¹)

御津町(室津赤碕,5.III.1985,1平,稲田和久¹)

洲本市(字山.29.XL1981.1ex..林俊雅32)

南淡町(阿万上町,23.XII.1958.-.藤平明*)

28. Rhynchaglaea scitula (Butler) (3696)

チャマダラキリガ

暖温帯性の種で、東北南部・福井以西~九州、対 馬、屋久島、奄美、沖縄に分布する。常緑カシ類の 林に固有の種で、アラカシ、アカガシなどを食べる。 年1回、やや遅く11月頃に羽化する。成虫で越冬し、

翌春再び活動する。県下では南部の低山地を中心に 記録され、場所にもよるが個体数は極めて多い。お そらく県北部の低地にも分布していると思われる。 糖密によく集まる。

「採集記録]

神戸市(有馬.5.IV.1970.1♀.遊磨正秀": 鴨子ヶ原2丁 目.21.V.1985.1 ♀. 岡村八郎*: 布引公園.25.III.1983. 1♀;30.III.1983.1♂1♀;17.XL1988.1♂;24.XL1989. 1♂1♀.八木剛3: 同.16.Ⅲ.1985.1♂.八木剛*: 鉢 伏山.1.XII.1989.6~72:15.XII.1989.2~:21.II.1990. 3♂3♀.八木剛35: 同,8.XII.1989,1♂,八木剛35*)

川西市(笹部,16.I.1983,1平:20.III.1983,5~2平.夏秋ほ か28)

黒田庄町(喜多.12.IV.1961.1ex..岡本清6)

姫路市(豊富町神谷,18.Ⅲ.1984,4分,稲田和久¹:広峰 神社,26.III.1983,23,稲田和久1)

御津町(稲富.17.Ⅲ.1983,2♀;26.Ⅱ.1984,1♀,稲田和久¹ :室津赤碕,5.Ⅲ.1983,1♂,稲田和久¹:室津賀茂神 社,3.III.1983,13,箱田和久1)

相生市(瓜生,17.Ⅲ.1999,1♂,高島昭:三灋山,2.XⅡ. 2000,533 \(\); 12.XII.2000,53 2 \(\); :22.XII.2000,43 5 ?; 22.II.2001,2 \checkmark 1 ?; 6.III.2001,1 ?; 19.III.2001,1 \checkmark 1. 髙島昭)

三日月町(下本郷,-.IV.-,-;-.III.1984,-,川副昭人*: 同,30. Ⅲ.1984,1♂,川副昭人*)

津名町(大町畑,5.IV.1972,1♀,登日邦明²) 南淡町(阿万上町.8.IV.1976.-.藤平明³⁴)

29. Rhynchaglaea fuscipennis Sugi (3697)

クロチャマダラキリガ

日本特産種で、前種と混牛するところでは、本種 の方がやや高標高のところに産するようである。東 北南部・新潟県以西、四国、九州、対馬、屋久島に 分布する。年1回秋に出現し、成虫で越冬する。幼 虫はアラカシ、アカガシから得られている。県下で は神戸・阪神、西播磨、淡路地域で記録があるが、 県下全域の平地から低山地に広く分布するものと思 われる。また、発生地では個体数は多い。前種より 発生時期はやや遅いようで12月後半以降個体数が多 くなり、前種の活動が鈍る厳寒期もよく活動するよ うである。

「採集記録」

神戸市(有馬,27.Ⅲ.1971.1♂,遊曆正秀": 伊川谷町.5. Ⅳ.1998,1分,高島昭:諏訪山公園.-.Ⅲ.1990.-.山口 福男⁶: 布引公園.8.IV.1983.1♀:12.III.1983.1♂3♀: 26.Ⅲ.1984,1♂1♀;24.XI.1989,1♀,八木剛":同,25. Ⅲ.1983.2♂.八木剛35★:鉢伏山.1.XII.1989.2♂3♀: 15.XII.1989.2 年:21.II.1990.11 ~ 4 年. 八木剛": 庭耶 山,14.IV.1963,13;20.IV.1963,13,田中蕃²)

川西市(一の鳥居,23.XI.1984,1年;2.IV.1985,1年,夏秋ほか²¹: 黒川,8.I.1983,1年,夏秋ほか²²: 笹部,16.I. 1983,1年;20.III.1983,2年,夏秋ほか²³: 東多田,29.I. 1983,1₆74年,夏秋ほか²³)

猪名川町(上阿古谷,6.IV.1983,1♂1♀,夏秋ほか²) 姫路市(豊富町神谷,18.III.1984,1♂,稲田和久¹:そう めん滝,3.III.2000,1♂,高島昭)

御津町(室津赤碕,5.Ⅲ.1983,3♂2♀;9.Ⅲ.1983,2♂2♀; 3.Ⅲ.1984,2♂4♀;5.Ⅲ.1985,1♀,稲田和久¹:室津賀 茂神社,3.Ⅲ.1983,3♂2♀.稲田和久¹)

相生市(瓜生,2.XII.1998,2~;17.III.1999,1~,高島昭: 三濃山,13.IV.2000,1~;2.XII.2000,1~;22.XII.2000, 6~;22.II.2001,6~11♀;6.III.2001,3~,高島昭)

赤穂市(周世,29.XL.1998,1♂,高島昭) 上郡町(行頭,9.IV.1999,1♂,高島昭) 三日月町(下本郷,-.III.1984,-,川副昭人゚) 洲本市(中津川,7.IV.1972,1♂,登日邦明²) 南淡町(群黒岩,11.IV.1998,-藤平明³)

30. Mesorhynchaglaea pacifica Sugi (3698) ヤクシマキリガ

暖温帯性の蛾で、伊豆半島石廊崎を北限として渥美半島、和歌山県、大阪府、兵庫県、四国の瀬戸内海側、屋久島などで発見されている。ウバメガシ村に固有の種で、幼虫はウバメガシを食べる。発生は遅く、11月下旬頃から羽化し、成虫で越冬、翌春再び活動する。県下では神戸市、御津町、南淡町で記録があるが、西播南部、淡路各地など沿岸部でウバメガシをまじえた林があれば普通に分布しているものと思われる。発生地での個体数は少ないものではない。

[採集記錄]

神戸市(-,-.--,-,²: 伊川谷町,5.IV.1998,2♂,高島昭: 新神戸駅,25.III.1983,1♀,八木剛³: 鉢伏山,8.XII. 1989,2♂;15.XII.1989,1♂;26.XII.1989,3♂1♀;21.II. 1990,16♂24♀,八木剛³)

御津町(室津赤碕,5.Ⅲ.1983,10♂5♀;9.Ⅲ.1983,2♀;3. Ⅲ.1984,1♀;4.Ⅲ.1984,1♀,稲田和久¹:室津賀茂神社,12.Ⅲ.1981,3exs.;16.Ⅲ.1981,25exs.;14.Ⅲ.1982,1♀;3.Ⅲ.1983,10♂5♀,稲田和久¹)

南淡町(阿万上町,8.IV.1976,-,藤平明³⁵: 農黒岩,29.III. 1998,-,藤平明³⁵: 福良向谷,26.III.1997,-藤平明³⁵)

31. Hemiglaea costalis (Butler) (3699)

キマエキリガ 注目種

日本特産種で、北海道から九州に至る本土域に分布する。年1回、10~11月に出現する。成虫で越冬することはないとされるが、三日月町では3月の報告がある。幼生期は未知である。県下での記録は

神戸市、三日月町、大屋町、洲本市と少ないながら 平地から山地まで広く記録されている。活動時期が 短く目に触れる機会が少ないのではないかと思われ、 調査が進めば新しい産地は見つかると思われる。

[採集記錄]

神戸市(摩耶山,17.XI.1984,1♀,岡村八郎³*) 三日月町(下本郷,-.III.1984,-,川副昭人³) 大屋町(横行渓谷,6.XI.1999,2♂,高島昭) 洲本市(宇山,15.XI.1981,1ex.,林俊雅³)

32. Teratoglaea pacifica Sugi (3700) エグリキリガ 注目種

北海道から九州にかけて分布するが、局地的な分布を示す。対馬にも記録がある。年1回10月頃に出現し、成虫で越冬する。幼虫は北海道でアカトドマツから得られており、針葉樹食が示唆される。県下では三日月町での採集例が唯一であり、詳しい調査が必要である。おそらく内陸盆地から山地にかけて分布すると思われるが、局地的であることが予想される。

[採集記錄]

三日月町(下本郷,-.V.1984,-,川副昭人⁶)

33. Sugitania lepida (Butler) (3701) スギタニモンキリガ

本州から九州に至る本土域と対馬に産する。年1回秋遅く11月から出現する。成虫で越冬しない。幼虫はツバキの花を食べるという。県下では南部の平坦地から低山地を中心に記録があるが、氷ノ山のような高標高地でも得られている。糖蜜によく集まり、照葉樹を交えた二次林では決して少ないものでない。「採集記録」

神戸市(布引公園,17.XL.1988,9♂7年,八木剛³³ : 10. XI.1989,2♂;17.XL.1989,2♂2年,八木剛³³ : 鉢伏山,1. XII.1989,3♂1年;15.XII.1989,1年,八木剛³³ : 同,8.XII. 1989,1年,八木剛³³ : 摩耶山,17.XI.1984,1ex.,岡村八郎³)

川西市(笹部,16.L1983,1 f, 夏秋ほか²⁰) 姫路市(広峰神社,26.III.1983,1 c² 2 f, 稲田和久¹) 御津町(稲富,4.II.1984,1 f, 稲田和久¹) 相生市(瓜生,2.XII.1998,1 c²,高島昭:三濃山,12.XII. 2000,3 c² 7 f;22.XII.2000,2 c² 3 f,高島昭) 豊岡市(正法寺,4.L1999,1ex.,柴田剛) 関宮町(氷ノ山,2.XI.1991,3 c² 3 f,八木剛*) 洲本市(物部,22.XI.1980,1ex.,林俊雅²⁶)

南淡町(麓大川,21.III.1996,-,藤平明³⁵: 沼島,2.XII. 1991,1₆7,八木剛^{*})

34. Sugitania clara Sugi (****)

ヤマノモンキリガ 注目標

スギタニモンキリガから1990年に分離された。 前種との棲み分けなど詳しいことは不明であるが、 従来からツバキの自生しない地域で採集されていた スギタニモンキリガは本種である可能性が高いとい う。スギタニモンキリガの記録は再度点検してみる 必要がある。

幼虫の食性は不明である。これまでのところ、大 阪府との境にある能勢妙見山で記録があるが、その 他に県下からは見つかっていない。

[採集記錄]

能勢妙見山(10.XI.1984,1~,夏秋ほか²⁰)

35. Sugutania akirai Sugi (****)

スミレモンキリガ 注目種

ヤマノモンキリガとともに1990年にスギタニモンキリガから分離され、新しく記載された種で、原記載では大阪府茨木市のほか愛知県、徳島県、大分県が産地としてあがっているが全国的な分布状況等は不明である。スギタニモンキリガと同じく暖温帯性の種であるらしい。スギタニモンキリガよりもやや小型で胸部は濃赤褐色、前翅は暗紫灰色で黄土色を帯びない。環状紋の中央に黒点があり、腎状紋内部及び中央部は赤みを帯びる。亜外縁線はやや赤みを帯びた小黒点列からなり細かい波状を呈する。

これまでのところ、県下からは生野町から報告されているほか、人と自然の博物館収蔵標本の中から摩耶山産の本種を見出している。大阪府では能勢町や箕面市で少ないながら得られており、局地的ながら県下南部の低山地では発見される可能性が高い。

神戸市(摩耶山,17.XI.1984,1♂,岡村八郎*) 生野町(生野高原,6.XI.1993,2♂,柳田慶浩³³)

36. Agrochola vulpecula (Lederer) (3702)

ツチイロキリガ 注目種

日本では局地的な分布を示し、青森県焼山、早池 蜂山麓、盛岡市、岩手岩泉町、黒部谷、高瀬川上流 部、上高地、平湯などで記録がある。年1回、9月 末から出現し、成虫で越冬することはないとされて いる。県下からは波賀町で得られた1例が報告され ている。本種が兵庫県に分布する可能性は否定でき ないのでここでは一応リストに含めておくが、詳し い調査が必要である。

[採集記錄]

波賀町(引原,31.X.1981,2♂,稲田和久¹)

37. Agrochola evelina (Butler) (3703)

フサヒゲオビキリガ

北海道、本州、四国の瀬戸内海側、小豆島に記録がある。クヌギを含む暖温帯性の二次林がその生息地域である。年1回、秋に出現し、成虫で越冬する。県下では南部の低地にのみ記録がある。灯火に集まらないため目に触れる機会が少ない種の一つであるが、春先の糖蜜採集の結果では個体数は決して少なくないようで、おそらく県下の低地二次林には広く生息していると思われる。

「採集記録]

神戸市(布引公園,12.Ⅲ.1983,1♀;25.Ⅲ.1983,2♀;30. Ⅲ.1983,2♀;17.XL1988,1♂;10.XL1989,1♂1♀,八木剛³*:同,16.Ⅲ.1985,1♀,八木剛³*:鉢伏山,1.XⅡ. 1989,3♂;15.XⅡ.1989,1♂;26.XⅡ.1989,1♀;21.Ⅱ.1990,2♂1♀.八木剛³*)

川西市(笹部,16.I.1983,1♂,夏秋ほか²²:東多田,21.XIL 1983,1♂;24.II.1983,1♂;29.I.1983,1♂,夏秋ほか²³) 猪名川町(上阿古谷,5.II.1983,1♂;6.IV.1983,1♂;10.

XII.1983,1♂;27.III.1984,1♂,夏秋ほか²*)

姫路市(太市,21.Ⅲ.1995,1♀,髙島昭)

御津町(稲富,17.Ⅲ.1983,1♀;26.Ⅲ.1984,1♂,稲田和久 ': 室津赤碕,5.Ⅲ.1983,2♀;9.Ⅲ.1983,2♀;3.Ⅲ.1984, 5♀.稲田和久')

38. Conistra aedescens (Butler) (3705)

カシワオビキリガ

暖温帯林に優勢な種で、関東南部、長野、岐阜、 近畿、四国で採集されているが、局地的な分布を示 すという。年1回秋に出現し、成虫で越冬する。幼 生期は不明である。県下では南部の低山地に限られ ているが、生息地域では案外普遍的な分布をするの ではないかと思われる。

[採集記錄]

神戸市(布引公園,12.Ⅲ.1983,2♂1♀,八木剛³ : 鉢伏山,26.XII.1989,1♂1♀;21.Ⅲ.1990,6♂2♀,八木剛³ : 同,8.XII.1989,1♀,八木剛³*)

川西市(一の鳥居,24.Ⅲ.1985,1♂,夏秋ほか²³: 東多田, 19.Ⅲ.1983,2♂1♀,夏秋ほか²³)

猪名川町(上阿古谷,6.Ⅳ.1983,1♂;27.Ⅲ.1984,1♂,夏 秋ほか²)

姫路市(太市,21.Ⅲ.1995,1♂,高島昭:そうめん滝,3.Ⅲ.2000,1♂,高島昭)

御津町(稲富,26.Ⅱ.1984,2♂,稲田和久¹)

相生市(瓜生,8.11.1997,12,高島昭")

三日月町(下本郷,-.Ⅲ.1984,-,川副昭人®)

39. Conistra grisescens Draudt (3706)

ミヤマオビキリガ

北海道から九州まで分布する。低丘陵地の二次林

や内陸の陽性林に普通に見られる。年1回、秋に出現し、成虫で越冬する。県下では比較的記録が少なく、主に南部の低標高地で得られているが、筆者は 氷ノ山でも確認しており垂直分布は案外広いようである。県北部を含む二次林に広く産するものと思われる。

[採集記録]

神戸市(伊川谷町,5.IV.1998,7♂,高島昭:諏訪山公園,-XI.1990,-,山口福男⁴:布引公園,16.III.1985,1♂,八木剛³: 鉢伏山.15.XII.1989,1♀,八木剛³)

川西市(一の鳥居,6.IV.1985,1♀,夏秋ほか": 笹部.20. Ⅲ.1983,2♂,夏秋ほか": 東多田,24.Ⅱ.1981,1♂;27. Ⅲ.1983,1♂,夏秋ほか")

猪名川町(上阿古谷,6.IV.1983,1♂3♀;27.III.1984,4♂1♀,夏秋ほか²)

相生市(瓜生,25.II.1997,13,高島昭":三濃山,6.III. 2001,13,高島昭)

上郡町(八保.9.IV.1999.1~1.高島昭)

大屋町(氷ノ山.5.V.2000.1 J. 高島昭)

南淡町(阿万上町.26.Ⅲ.1985.-.藤平明3)

40. Conistra fletcheri Sugi (3707)

テンスジキリガ

北海道から九州までの本土域に広く分布している。 低標高地の二次林にはミヤマオビキリガの方が多い という。年1回、秋に発生し、成虫で越冬する。県 下では主に南部の低山地帯で得られているが、筆者 は大屋町でも確認しており、山間部にも広く分布す ると思われる。森林性の蛾ということであるが宝塚 市では市街地でも得られている。

[採集記錄]

神戸市(布引公園,12.Ⅲ.1983,2♂1年;25.Ⅲ.1983,1♂, 八木剛³:同,12.Ⅲ.1983,1年;30.Ⅲ.1983,1♂,八木剛³*:鉢伏公園,21.Ⅱ.1990,1♂,八木剛³*:摩耶山,-.-, -,岡村八郎³:同,18.XI.1984,1年;14.Ⅲ.1985,1♂;14. Ⅲ.1985,2♂,岡村八郎*:同,-.--,-,田中蕃²*)

猪名川町(上阿古谷,27.Ⅲ.1984,2♂,夏秋ほか20)

宝塚市(南口2丁目,5.V.1989,-,八木剛³⁸)

姫路市(そうめん滝,11.Ⅱ.2000,2♂;3.Ⅲ.2000,1♂;18. Ⅲ.2000,1♂,高島昭)

相生市(三濃山,22.II.2001,2♂;6.III.2001,1♂,高島昭) 上郡町(行頭,7.IV.1995.1♂1♀,高島昭")

三日月町(下本郷,-.III.1984,-;-.V.1984,-,川副昭人⁸)

大屋町(氷ノ山,5.V.2000,1♂,高島昭: 横行渓谷,6.XI. 1999,2♂,高島昭)

41. Conistra albipuncta (Leech) (3708)

ホシオビキリガ

北海道から九州に至る本土域に普通に産する。山

地の森林地帯より開放地や二次林に多い。年1回秋 に発生し、成虫で越冬する。県下では神戸・阪神地 域と西播地域で記録が多く、これらの地域では普通 に産する。おそらく記録のない地域でも低地二次林 に普通に生息するものと思われる。

[採集記錄]

神戸市(有馬,16.Ⅲ.1971,1♀,遊磨正秀*5: 布引公園, 12.Ⅲ.1983,8♂1♀;30.Ⅲ.1983,1♂,八木剛³3*: 鉢伏 山,1.Ⅺ.1989,2♀;15.Ⅺ.1989,1♂5♀;21.Ⅱ.1990, 15♂18♀,八木剛³3: 同,8.Ⅺ.1989,1♂2♀,八木剛³35* : 摩耶山,17.Ⅺ.1984,2♂,岡村八郎³*)

西宮市(生瀬.5.IV.1972,1平,遊磨正秀⁴⁶)

川西市(黒川,9.XI.1996,1㎡;3.V.1997,1年,高島昭・東 多田,21.XII.1983,2㎡;29.I.1983,1㎡;29.III.1984,1㎡, 夏秋ほか²³)

猪名川町(上阿古谷,5.II.1983,1♀;27.III.1984,1♂1♀, 夏秋ほか²¹)

姫路市(豊富町神谷,18.Ⅲ.1984,5♂,稲田和久¹: 広畑区下野,10.Ⅲ.1981,1♀,稲田和久¹: 広峰神社,26.Ⅲ.1983,2♂,稲田和久¹: そうめん滝,11.Ⅱ.2000,5♂;3.Ⅲ.2000,1♂;18.Ⅲ.2000,4♂1♀,高島昭)

大河内町(長沢,29.IV.2000,1d,高島昭)

御津町(稲富,17.Ⅲ.1983,1♀,稲田和久¹:室津赤碕,9.
 Ⅲ.1983,3♂7♀,稲田和久¹:室津賀茂神社,3.Ⅲ.
 1983.1♀.稲田和久¹)

波賀町(引原,28.Ⅳ.1988,1♀,高島昭¹⁰)

相生市(三濃山,24.Ⅲ.1983,2♀,稲田和久¹:同,12.XⅡ. 2000,1♂;22.XⅡ.2000,1♂;22.Ⅱ.2001,5♂;6.Ⅲ.2001,7♂2♀;19.Ⅲ.2001,2♂,高島昭)

三日月町(下本郷,-.Ⅲ.1984,-,川副昭人*)

大屋町(横行渓谷.6.XL1999,1♂.高島昭)

42. Conistra nawae Matsumura (3709) ナワキリガ

暖温帯性の種で、高尾山、岐阜金華山、近畿、四国、九州、対馬、奄美、沖縄に分布する。常緑カシ林に優勢な種である。年1回10月頃に出現し、成虫で越冬する。県下では神戸・北摂地域と中・西播地域で記録があり、常緑広葉樹が多い低山地ではきわめて普通に産する。淡路を含む県南部や但馬沿岸部にも広く分布していると思われる。

[採集記錄]

神戸市(布引公園,25.Ⅲ.1983,3♂;30.Ⅲ.1983,2♂,八木剛":同,16.Ⅲ.1985,3♂5♀,八木剛"*:鉢伏山,1. XⅡ.1989,2♀;15.XⅡ.1989,3♂3♀;26.XⅡ.1989,1♀;21. Ⅱ.1990,3♂5♀,八木剛":同,8.XⅡ.1989,4♂4♀,八木剛"**)

川西市(笹部,16.11983,3♂,夏秋ほか²³: 東多田,19.Ⅲ. 1983,2♂;21.XII.1983,1♂;29.I.1983,1♂,夏秋ほか²³) 猪名川町(上阿古谷,6.Ⅳ.1983,1♂,夏秋ほか²)

姫路市(豊富町神谷,18.III.1984,8♂,稲田和久¹: 広峰神社,26.III.1983,5♂1♀,稲田和久¹: そうめん滝,3. III.2000,1♂;18.III.2000,2♂,高島昭)

御津町(稲富,17.III.1983,2平,稲田和久¹)

波賀町(引原,21.X.1997,1♂,高島昭)

相生市(瓜生,8.Ⅲ.1997,1♂,高島昭":同,17.Ⅲ.1999, 2♂,高島昭:三濃山,2.XⅢ.2000,6♂3♀;12.XⅢ.2000, 2♂2♀;22.XⅢ.2000,3♂2♀;22.Ⅲ.2001,1♂;6.Ⅲ.2001, 1♂;19.Ⅲ.2001,1♂,高島昭)

赤穂市(周世,29.XI.1998,1~,高島昭)

43. Dasycampa castaneofasciata (Motschulsky)

(3710) ゴマダラキリガ

北海道から九州にかけての本土域に分布する。10月に出現し、成虫で越冬する。幼虫はクヌギから見出されている。県下では神戸市、西宮市、川西市、相生市から得られているが個体数は少なく、また、他の地域からは報告がない。全国的には広い分布をするようであるが兵庫県では局地的で少ない種と思われる。相生市の産地ではクヌギの代替種であるアベマキが見られ、これを食樹としている可能性がある。

[採集記錄]

神戸市(布引公園,16.Ⅲ.1985,1♀,八木剛³: 鉢伏山, 26.Ⅺ.1989,1♂;21.Ⅲ.1990,1♀,八木剛³)

西宮市(生瀬,8.XII.1971,13,遊磨正秀⁶)

川西市(笹部,20.III.1983,1♀,夏秋ほか²¹: 東多田,19. III.1983,1♀,夏秋ほか²²)

相生市(三濃山,22.XII.2000,1~,高島昭)

44. Orbona fragariae (Vieweg) (3711)

イチゴキリガ 注目種

ユーラシア種で北海道から四国まで分布するが、西南日本では少ない。10月頃に羽化し、成虫で越冬する。灯火に飛来することが少なく、春の糖蜜採集が有効である。各種の植物で飼育可能である。県下では永らく神戸市藍那で記録された1例のみが知られていたが、明石市で得られたとの情報もある。これまでの調査が十分でないためはっきりとした分布状況は不明であるが、局地的ながら平地から里山地域を中心に分布していると思われる。

[採集記錄]

神戸市(藍那,12.IV.1983,1♂,松本健嗣37)

45. Jodia sericea Butler (3716)

ミスジキリガ

やや局地的な分布を示し、本州、四国の瀬戸内海 沿岸、北九州に分布する。西南日本では二次林と結 びついていると考えられるが、東北地方ではカシワ 林から得られる。年1回、10月に羽化し、成虫で越 冬する。食樹はクヌギ。県下では神戸市、北摂地域 と御連町からの報告があるのみで、局地性が強い種 といえる。

[採集記錄]

神戸市(布引公園,12.Ⅲ.1983,1♂1♀;30.Ⅲ.1983,3♀; 16.Ⅲ.1985,1♂;24.XL1989,1♂,八木剛**)

川西市(笹部,20.III.1983,1♂,夏秋ほか²¹: 東多田,27. III.1983,1♀;29.I.1983,1♀,夏秋ほか²¹)

猪名川町(上阿古谷,6.IV.1983,1♂,夏秋ほか²)

御津町(室津赤碕,9.III.1983,4平,稲田和久¹:室津賀 茂神社,26.III.1983,1♀,稲田和久¹)

46. Telorta acuminata (Butler) (3717)

ウスキトガリキリガ

日本特産種で、本州から九州にかけての本土域と対馬から得られている。年1回、晩秋に出現する。成虫で越冬することはないと思われる。幼虫はバラ科を食べることが知られている。県下では低山地を中心に分布は広いと思われる。なお、豊岡市からの記録は5月に採集されたことになっており、他種と混同されている可能性が強い。産地における個体数は近縁3種のうち最も少ないようである。

[採集記録]

神戸市(有馬,12.XL.1947,1♂,東正雄¹⁹:世継山,23.XL 1991,1♀,岡村八郎*)

川西市(一の鳥居,10.XI.1984,1♀;23.XI.1984,1♂,夏秋ほか²⁸)

猪名川町(上阿古谷,10.XII.1983,1♂,夏秋ほか*)

黒田庄町(喜多,1.L1962,1ex.;10.XII.1962,1ex.,岡本清 ⁶)

安富町(-,15.X.1994,1d,二井消友*)

三日月町(下本郷,-.X.1984,-,川副昭人*)

豊岡市(正法寺,4.XI.1998,1ex.;24.XI.1998,1ex.,柴田剛: 山本,27.V.1973,-,山根政之¹⁶)

大屋町(横行渓谷,6.XI.1999,1♂,高島昭)

氷上郡(-,-.-,-,山本發丸⁴)

洲本市(宇山,8.XI.1981,1ex.;16.XI.1981,1ex.;20.XI. 1981,1ex.,林俊雅³²)

南淡町(阿万上町,22.XI.1973,-,藤平明³⁶:同,28.XI. 1986,-,藤平明³⁴:同,3.XII.1991,-,藤平明³⁶)

47. Telorta edentata (Leech) (3718)

キトガリキリガ

北海道と本州、対馬から得られている。10~11月 に出現し、成虫で越冬しない。幼生期については未 知である。県南部からの報告が多い。平地から山地 まで普遍的に分布し、灯火にもよく飛来する。丹波 地域にも分布すると思われる。

[採集記錄]

神戸市(有馬,1.XI.1987,1♂,東正雄¹⁹: 住吉山手9丁目, 14.XI.1985,1♂,岡村八郎*:布引公園,10.XI.1989, 1♂2♀,八木剛³³: 鉢伏山,1.XII.1989,1♂1♀;15.XII. 1989,1♀,八木剛³³: 摩耶山,26.XI.1967,1♂,岡村八郎³:同,8.XI.1984,2♂,岡村八郎^{3*}:同,4.XI.1985, 2♂1♀,岡村八郎*:世継山,23.XI.1991,3♀,岡村八郎*)

川西市(黒川,9.XI.1996,2♂1♀,高島昭¹¹)

猪名川町(上阿古谷.10.XII.1983.1~1.夏秋ほか2)

黑田庄町(喜多,14.XI.1962,1ex.,岡本清⁵)

大河内町(長沢,29.X.1999,1♂,高島昭)

安富町(大河渓谷,14.XI.1998,1分,高島昭:皆河,15.XI. 1988,1分,高島昭)

波賀町(引原,22.X.1975,3♂,遊磨正秀":同,31.X.1981, 1♂,稲田和久¹:同,4.XL1988,1♂;19.X.1988,1♂,高 島昭¹⁰:同,12.XL1997,1♀,高島昭:坂の谷林道,2. XL1991,3♂5♀,八木剛*)

相生市(瓜生,2.XII.1998,1~,高島昭:三濃山,2.XII. 2000,1~,高島昭)

赤穂市(西有年,15.XII.1998,1♂,高島昭)

上郡町(上郡,26.XL1997,12,高島昭)

竹野町(森本.25.XI.1998,1ex.,柴田剛)

大屋町(横行渓谷,6.XL1999,1♂1♀;8.X.1999,4♂,高島 昭)

南淡町(阿万上町,6.XII.1985,-,藤平明3)

48. Telorta divergens (Butler) (3719)

ノコメトガリキリガ

北海道から九州に至る本土域に分布する。年1回、 晩秋の10~11月に出現する。成虫では越冬しない。 幼虫はバラ科、ツバキ科を食べる。県下では平地か ら低山地にかけて広く分布する。本属の3種は混生 地も多く、棲み分けをしているかどうかは定かでない。

[採集記錄]

神戸市(有馬,16.XL.1967,1♂,岡村八郎3: 諏訪山公園,-XL.1998,-,山口福男":布引公園,17.XL.1989,1♂1♀;24.XL.1989,2♂,八木剛":鉢伏山,1.XII.1989,3♂9♀;15.XII.1989,6♂7♀;26.XII.1989,2♂1♀,八木剛":世継山,14.XL.1991,1♀;23.XL.1991,1♀,岡村八郎*)

西宮市(仁川,1.XII.1969,1~,遊磨正秀")

川西市(一の鳥居,10.XI.1984,1♀;23.XI.1984,1♂1♀, 夏秋ほか*: 黒川,1.XI.1997,1♂,高島昭¹³)

姫路市(そうめん滝,29.X.1999,1♂,高島昭)

大河内町(長沢,29.X.1999,1d,高島昭)

波賀町(引原,31.X.1981,1♂,稲田和久¹:坂の谷,2.XL 1991,1♂,八木剛*)

三日月町(下本郷.-.X.1984.-:-.XI.1984.-.川副昭人*)

豊岡市(山本,4.XII.1973,-,山根政之¹⁶)

大屋町(氷ノ山,1.X.1999,1♂,高島昭:横行渓谷,6.XI. 1999,1♂2♀;8.X.1999,1♀,高島昭)

氷上郡(-,-.-,-,山本義丸⁴)

三原町(八木養宜,-.XIL.1991,-,藤富正昭33)

南淡町(阿万上町,8.XL1960,-;27.XI.1961,-,藤平明³⁵: 同,19.XI.1990,-,藤平明³⁵: 沼島,2.XII.1991,3♂,熊代直生*:同,2.XII.1991,1♂,八木剛*)

49. Antivaleria viridimacula (Graeser) (3720) アオバハガタヨトウ

北海道から九州にかけての本土域に分布する。年 1回、10~11月に出現するが、成虫で越冬しない。 幼虫は各種の樹木につく。県下では全域で記録があ り広く分布する。なお、南淡町からは6月採集の記 録があるが、他種との混同(ホソバミドリヨトウ?) かデータ記載の誤りと思われるのでリストからは省 いておく。

[採集記錄]

神戸市(藍那,20.XL1987,1♀,中川俟夫*: 諏訪山公園,-.XI.1987,-,山口福男⁴⁰: 鉢伏山,1.XII.1989,3♀;8.XII.1989,1♀,八木剛³³: 摩耶山,29.X.1967,1♂,岡村八郎³⁴: 世継山,7.XI.1991,1♀;23.XI.1991,1♀,岡村八郎*)

西宮市(生瀬,16.IX.1971,1♂,遊磨正秀")

川西市(黒川,1.XL1997,2~12,高島昭13)

猪名川町(上阿古谷,10.XII.1983,1♂,夏秋ほか²⁸)

宝塚市(武田尾,20.X.1991,1♂,東たかい)

黒田庄町(喜多,14.XII.1962,1ex.,岡本清⁵)

夢前町(山富.28.XL1998.5♂,高島昭)

安富町(大河渓谷,4.XII.1998,1♂;21.X.1998,1♂;22.XI. 1998,2♂2♀,高島昭)

波賀町(引原,19.X.1988,1♂,高島昭¹⁶:同,12.XI.1997, 2♂2♀,高島昭)

相生市(三濃山,12.XII.2000,2♂;22.XII.2000,2♂,高島昭)

竹野町(森本,17.XL1998,1ex.,柴田剛)

和田山町(久世田,22.X.1998,1ex.,柴田剛)

大屋町(横行渓谷,6.XL1999,2♂;8.X.1999,1♂,高島昭) 氷上郡(-,-,-,山本義丸")

洲本市(厚浜,21.XI.1976,-;18.XI.1978,-,藤富正昭³:字 山,29.XI.1981,1ex..林俊雅²)

南淡町(阿万上町,14.XII.1962,-,藤平明³⁶: 同,28.XI. 1986.-,藤平明³⁵)

50. Nyctycia strigidisca (Moore) (3721)

ヒマラヤハガタヨトウ

暖温帯性の種で、高尾山、弥彦山以西の本州と四国、九州、屋久島の山地に分布する。年1回、晩秋の11月に出現するが成虫越冬はしない。兵庫県からは永らく記録がなかったが、最近になって西播北部と北但地域の山地帯で見つかっている。また、人と自然の博物館の収蔵標本の中からも摩耶山産と沼島産の本種を確認している。小型種のため発見しにくいものと思われ、低山地の常緑樹林を調査すれば産地が発見される可能性は高い。

[採集記錄]

神戸市(摩耶山,10.XI.1984,1♂;4.XI.1985,1♀,岡村八郎*)

安富町(大河渓谷,14.XI.1998,1♀,高島昭¹⁶) 波賀町(引原,21.X.1997,1♂,高島昭¹⁶) 竹野町(森本,17.XI.1998,1ex.,柴田剛) 南淡町(沼島,2.XII.1991,1♀,八木剛*)

51. Nyctycia hoenei (Boursin) (3723)

ヘーネアオハガタヨトウ

暖温帯性の種で、東京都高尾山を北限として東海地方から西の本州、四国、九州にわたって分布する。常緑カシ林が保存されているところではまれでないという。年1回、晩秋11月頃に出現し、1~2月頃まで見られる。県下では県南部で記録がある。やや局地的であると思われるが、カシ類のある低山地を探せばまだまだ産地はみつかると思う。灯火に飛来し糖蜜採集も有効である。筆者の相生市での観察例では個体数は極めて多く、全キリガ類中でもナワキリガと並んで最も普通に見られた。

[採集記錄]

神戸市(布引公園,17.XL1988,2♂,八木剛³: 摩耶山,8. XL1984,4exs.,岡村八郎³:同,17.XL1984,1♂,岡村 八郎*)

川西市(一の鳥居,23.XI.1984,2♀,夏秋ほか²³:黒川, 23.XI.1984,1♂,夏秋ほか²³:東多田,16.XI.1983,1♂, 夏秋ほか²³)

猪名川町(上阿古谷,X.12.1983,1㎡,夏秋ほか²⁶) 黒田庄町(喜多,14.XII.1962,1ex.,岡本清⁵)

相生市(瓜生,2.XII.1998,2%,高島昭:三濃山,2.XII. 2000,5%5年;12.XII.2000,3%1年;22.XII.2000,1% 2年,高島昭)

三日月町(下本郷,-.XI.1984,-,川副昭人⁸) 南淡町(灘黒岩,27.XII.1997,-,藤平明³⁵)

52. Mniotype melanodonta (Hampson) (3725) オオハガタヨトウ

北海道から九州に至る本土域に分布する。10月頃

から1月まで見られるが成虫では越冬しない。県下では南部の低山地に分布の中心があるように思われる。晩秋から冬にかけての調査はあまり行われていないのが実状で、おそらく平地から低山地にかけて広く分布しているだろう。

[採集記錄]

神戸市(摩耶山,4.XI.1985,1 平,岡村八郎^{3*}:世継山,7.I. 1991,1 平,岡村八郎^{*})

川西市(一の鳥居,23.XL1984,2♀,夏秋ほか²³: 東多田, 16.XL1983,2♀,夏秋ほか²³)

宝塚市(宝梅1丁目,6.XL1986,1 J.東正雄19)

黒田庄町(喜多,27.X.1961,1ex.;31.X.1961,1ex.,岡本清)

安富町(大河渓谷,14.XI.1998,1♂,高島昭) 波賀町(引原,11.X.1975,6♂,遊磨正秀":同,12.XI. 1997,1♀;21.X.1997,1♂,高島昭) 和田山町(久世田,21.X.1998,1ex.,柴田剛) 大屋町(横行渓谷,6.XI.1999,1♂,高島昭)

53. Meganephria funesta Leech (3727) ホソバハガタヨトウ

日本特産種。本州から九州にかけての本土域に普通である。年1回、晩秋の11月頃に出現し、成虫では越冬しない。食樹はケヤキである。県下では比較的採集例が少ないが、これは調査不足にもよると思われ、平地から低山地にかけて広く分布するものと思われる。

[採集記錄]

神戸市(布引,24.XI.1989,1♂,森谷正之*:布引公園, 17.XI.1988,1♂,八木剛³*:同,24.XI.1989,1♂,八木 剛³*:摩耶山,10.XI.1984,1♂,岡村八郎³*:世継山, 30.I.1991,1♂,岡村八郎*)

川西市(一の鳥居,10.XI.1984,147,夏秋ほか²⁶) 黒田庄町(喜多,27.X.1961,1ex.,岡本清⁴) 波賀町(坂の谷林道,2.XI.1991,34⁷,八木剛^{*}) 三日月町(下本郷,-.XI.1984,-,川副昭人⁴) 大屋町(横行渓谷,6.XI.1999,14⁷,高島昭)

54. Meganephria cinerea (Butler) (3728) ハイイロハガタヨトウ 注目種

北海道真狩村と岩手県から兵庫県にかけての本州、 大分県黒岳に産するが、局地的な分布を示す。食樹 はハルニレ、オヒョウが知られている。年1回、10 月頃出現し、成虫越冬はしない。波賀町で1例記録 があるが、今のところそれ以外には知られていない。 県下における本種の分布は食樹の分布を考えるとき わめて局地的と思われる。今後播但山地、氷ノ山周 辺、鉢伏山系をはじめとする北但地域での発見が期 待される。

兵庫県におけるセダカモクメ亜科分布一覧表

0001 0 0178-	44	75	+	d l	#	#	盡	라	n.	:k	₹k	B그	
2001. 3. 31現在	神	阪	中	中	西		南	北	丹	淡路	淡路	記錄	
		神	東播	東播北	憧	播北				北	南	地地	備考
種名	_	北	憧	抽	円かっ	北	/n	10	345		部		VM 25
	戸	摄	南	ᇎ	파	部	坦	10	波	助	때	数	
		_	部	部		_				_	_	_	
1. ハイイロセダカモクメ	0	00	•••	Ö		$\frac{1}{2}$	0					5	% □ #
2. セダカモクメ		<u>Q</u> .				O.	Ω,	0					注目種 注目種
3. アオモンギンセダカモクメ 4. ホソパセダカモクメ			0										<u> </u>
4. ホソパセダカモクメ	0000	00000										7	
5. キクセダカモクメ	Q.	<u></u>	0	Ö		00	<u>Q</u>	0.0			<u></u> .	10	
6. ケンモンミトリキリカ	Q.	<u> </u>	0	000000		<u>O</u>		0		ļ	0	18	注目種
7. ナカオビキリガ 8. プライヤオビキリガ	ļΩ.	<u> Q</u>		Ö.	0					ļ	ļΩ.	12	
8. プライヤオビキリガ	<u></u> -	<u> Q</u>		Ö.		Ö				ļ	ļ	1.3	注目標
9. ホソバオビキリガ	Ö.		- <u>-</u> -	<u>[O</u>		ļ		 	- <u>-</u> -	ļ	- :	. <u></u>	注月4種
10. アヤモクメキリガ 11. ハネナガモクメキリガ	Q.		<u>O</u>	<u> 0</u>	Ö.	ļ. <u>.</u>			0	ļ	<u> </u>	ļ. <u>!</u> .	
11. ハネナガモクメキリガ	ŀÖ.	0	000	ا۔۔۔ا	<u>0</u> .	ŀÖ.		٠	اير.	٠	000	14	注目種
12. キバラモクメキリガ	000000	0000	<u> </u>	0	00000	ĮΩ.	<u>.o</u> .	Ö.	0	ည	ĮΩ.	33	
13. ハンノキリガ	Ō.	<u>O</u>			<u>Ō</u>	Ō.				ļ	0	18	
14. カシワキボシキリガ	ĮΩ.	0			0	ΙŌ.				ļ	Ö.	13	<u></u>
15. シロクビキリガ 16. ウスアオキリガ			ļ	١		ĮQ.		ļ	 	ļ		<u> </u>	注目種
16. ウスアオキリガ	O		ļ	ļ	ļ	Ō.	ļ			١		1.2	注目種
17. カタハリキリガ	L	ļ	ļ		ļ	0	ļ	ļ		ļ		<u>[. </u>	注目標
18. ナカグロホソキリガ 19. アメイロホソキリガ	ļ				ļ	O.	<u> </u>			ļ		1.3	注目禮
19. アメイロホソキリガ	.			٠	ļ	<u> 0</u>	<u> 0</u>		ļ	l		2	注目種 注目種 注目種 注目種
20. コケイロホソキリガ	L		ļ	0	ļ	L	O	ļ	ļ	ļ		2	注目種
21. サヌキキリガ	0	0	ļ	ļ	0	L	 		ļ	ļ		4]注目穩
22. ミツボシキリガ	0	0	0	ļ	<u>lo</u>	000	 .		ļ	ļ	0	10	注目種
23. ムラサキミツボシキリガ	L		l	l	ļ	0				l		2	注目種
24. カバイロミツボシキリガ	L		l		ļ	0	L	ļ	ļ	l		1.1	注目種
25. ヨスジノコメキリガ 26. ヨスジキリガ	0	0	0	ļ	<u>O</u>	L	 		ļ	ļ		9	
26. ヨスジキリガ				ļ	0	0	 .					3	注目租
27. ウスミミモンキリガ	0000	000	000		<u>O</u>	Ĺ			ļ	١	0	1.7	
28. チャマダラキリガ	O.	0	0	0	0	O.				0	<u>o</u>	16 22 8	
29. クロチャマダラキリガ 30. ヤクシマキリガ	0	0	0		<u>O</u>	L		ļ		ļ	0	22	
30. ヤクシマキリガ	<u> </u>		ļ,	l	O.	L		 .		l	<u>[O</u>	8	
31. キマエキリガ	0	 .			00000000	ļ	0			l	Ö	4	注目種
32. エグリキリガ	L	 	l	l	0	L		 		l	.	[.1.	注目種
33. スギタニモンキリガ 34. ヤマノモンキリガ	0	0	0		0	L	0	0		l	O.	13	
34. ヤマノモンキリガ		0								l	L	[.1	注目種
35. スミレモンキリガ	O					L	0		l	ļ	ļ	2	注目種 注目種 注目種
36. ツチイロキリガ	L		l			0				l	L	[.1	注目種
37. フサヒゲオビキリガ	[O	0	0	ارّ ـ ا	0					l	L	8	
38. カシワオビキリガ	O	0	0		O	l						10	
39. ミヤマオビキリガ	O	O			0.0		O			[O	13	
40. テンスジキリガ	0	0	Ö		Ö		00			[11	
41. ホシオビキリガ	O	0	000	O	Ö	[Ö	Ö			[[20	
42. ナワキリガ	Ö	O	Ö		O	O				[[13	
43. ゴマダラキリガ	0	0			0000	[]				[6	
44. イチゴキリガ	O									[[[]	注目種
45. ミスジキリガ	0	00000 00			Ö					[]	[]	6	
46. ウスキトガリキリガ	lo:	lö	l	Ö	Ö	Ö	O	<u></u>	Ö	[· · ·	Ö	13	

2001. 3. 31現在	神	阪	中	中	西	西	南	北	丹	淡	淡	記	
		神				播		1		路	路	録	
種名		北	•	播				İ		北		地	備考
	戸	摄			部	部	但	但	波	部	部	数	
		_	部	部	_	<u> </u>					L		
47. キトガリキリガ	0	0		0	0	0	0	0			0	21	
48. ノコメトガリキリガ	0	0	0	0	O	O	0	0	0		O	21	
49. アオバハガタヨトウ	0	O	0	O	0	0	0	0	0		Ö	21	
50. ヒマラヤハガタヨトウ	To]				Ö		0			Ö	5	
51. ヘーネアオハガタヨトウ	To	0		Ö	O						0	11	
52. オオハガタヨトウ	Tö	0		0	••••	Ö	0					10	
53. ホソパハガタヨトウ	To	0		Ö	Ö	Ö	0					9	
54. ハイイロハガタヨトウ	T	1				Ö			•••			1	注目種
55. ミドリハガタヨトウ	<u> </u>			0	0	Ö		0	O		O	7	
		<u> </u>						-		[[
	39	34	19	19	32	31	18	11	6	2	22		

「採集記録]

波賀町(音水,24.X.1978,1♂,木下總一郎°)

55. Meganephria extensa (Butler) (3729)

ミドリハガタヨトウ

北海道から九州までの本土域に分布するが四国か らは記録がない。年1回、10月下旬から11月に出 現する。成虫で越冬しない。幼虫はケヤキを食べる という。県下での記録は南東部から南但地域にかけ て大きな空白域があるが、これは調査不足によるも ので、おそらく平地から低山地にかけて広く分布す ると思われる。ミドリヨトウともいう。

[採集記錄]

大河内町(長沢,29.X.1999,1♂1平,高島昭)

安富町(大河渓谷,4.XII.1998,1♂,高島昭)

波賀町(引原,4.XL1988,1♂,高島昭1º: 同,12.XL1997, 2分,商島昭)

三日月町(下本郷,-.XI.1984,-,川副昭人*)

竹野町(森本,25.XL1998,1ex.;5.L1999,1ex.,柴田剛)

柏原町(柏原,-.-.-,山本義丸42)

南淡町(阿万上町.5.XII.1991.-.藤平明*)

く今後記録される可能性のある種>

1. Cucullia mandschuriae Oberthür (3652)

ダイセンセダカモクメ

局地的な産出を示し、伊豆大室山、御殿場、大山、 英彦山などで記録されており、火山性草原との結び つきが強いとされている。年1化で9月に出現する。 幼生期は未知であるがヨモギを食べると推定される。 兵庫県からは記録はないが、氷ノ山を中心とする火 山性草原に生息している可能性はある。

2. Cucullia jankowskii Oberthür (3656)

ギンモンセダカモクメ

北海道から九州までの本土域に分布するが少ない 種で、産地は局地的である。年1化、8月に出現す る。幼虫はオトコヨモギから発見された。兵庫県か らはこれまで記録はない。

3. Oncocnemis campicola Lederer (3662) クビジロツメヨトウ

局地的な分布をする種で、長野県戸台で発見され、

これまで八方尾根、石川県中宮温泉、小豆島寒霞渓 で記録がある。年1回、秋に採集されている。幼生 期は未知である。瀬戸内海沿岸部は要注目である。

4. Brachionycha nubeculosa (Esper) (3665)

エゾモクメキリガ

北海道及び中部以北の山地に分布するが、剣山で も記録がある。年1回、春に出現するが個体数は一 般に少ない。西播から但馬にかけての高地帯に生息 しているかもしれない。幼虫はハルニレ、ミズナラ、 ブナなどの広葉樹で見出されている。

5. Xylena changi Horie (****)

ヒロパモクメキリガ

県内のハネナガモクメキリガの記録にも本種が混 ざっている可能性があるが、現在のところ報告はな

6. Nyctycia stenoptera (Sugi) (3722)

ヤマトハガタヨトウ

日本特産種。ヒマラヤハガタヨトウと近縁で、よ り局地的な分布を示す。これまでに知られている産 地は、静岡三笠山・中川根町、新城市、三重大宮町、 奈良市、高知県、福岡県、鹿児島県である。年1回、 晩秋の11月に出現するが成虫では越冬しない。

現在のところ兵庫県下からは記録がないが、常緑 カシ林を調査すれば、見つかる可能性がある。

〈引用文献〉

- 1) 稲田和久(1997) 西播磨地方におけるキリガ 類の採集記録 てんとうむし11:37-39
- 2) 井上寛ほか(1982) 日本産蛾類大図鑑
- 3) 岡村八郎(1987) 神戸市摩耶山の蛾類採集記録 てんとうむし10:37-45
- 4) 岡本 清(1997) 高砂の蛾 てんとうむし11: 40-45
- 5) 岡本 清(1998) 黒田庄町で採集した蛾(1) てんとうむし12:30-38
- 6) 岡本 清(1999) 兵庫県で採集した蛾 てん とうむし13:50-58
- 7) 奥谷禎一(1974) 中国山脈東端の昆虫相 東 中国山地自然環境調査報告173-191
- 8) 川副昭人(1987) 佐用郡三日月町の蛾覚え書 てんとうむし10:1-10
- 9) 木下總一郎(1980) 近畿地方の蛾類数種の記録 蛾類通信106:93
- 10) 高島 昭(1995) 波賀町引原ダム周辺におけ る蛾相第1報 きべりはむし23(1):6-16
- 11) 高島 昭(1997) 上郡町で採集した蛾(1) きべりはむし25(1):31-38
- 12) 高島 昭(1997) 上郡町で採集した蛾の訂正 きべりはむし25(2):63
- 13) 高島 昭(1998) 黒川の蛾 きべりはむし26 (1):23-38
- 14) 高島 昭(1998) 相生市三濃山麓の蛾(2) きべりはむし26(2):59-64
- 15) 髙島 昭(1998) 西播地方で採集した注目す べき蛾 てんとうむし12:68
- 16) 高島 昭(1999) 兵庫県西部山地で採集した 注目すべき蛾 誘蛾燈157:93-96
- 17) 高橋 匡(1975) 豊岡高等学校昆虫標本目録 (第1·2報)48-54
- 18) 高橋 医(1975) 豊岡高等学校昆虫標本目録 (第3報) 9-14
- 19) 宝塚市教育委員会(1993) 宝塚の昆虫 V 蛾類(II)
- 20) 田中 蕃(1967) 神戸市摩耶山に産する大蛾類 佳香蝶19(71):89-104
- 21)田中 蕃(1966) 神戸市摩耶山に産する若干の蛾類 蛾類通信45:442-444
- 22) 谷田昌也(1986) 扇ノ山の蛾類分布資料(1)

IRATSUME 10:30-37

- 23) 登日邦明(1973) 淡路島産蛾類分布資料(I) 蛾類通信73:215-224
- 24) 登日邦明(1973) 淡路島産蛾類分布資料(IV) PARNASSIUS 11:3-6
- 25) 登日邦明(1981)洲本市で採集された注目すべき蛾3種についてPARNASSIUS 24:18-19
- 26) 夏秋 優·佐々木昇(1982) 能勢地方の蛾(I) 上阿古谷・夏の蛾 Crude 23:1-37
- 27) 夏秋優·佐々木昇(1984) 能勢地方の蛾(III) 妙見山・夏の蛾(1) Crude 25:15-22
- 28) 夏秋優·佐々木昇(1985) 能勢地方の蛾(IV) キリガ(その1) Crude 26:1-12
- 29) 夏秋優·佐々木昇(1990) 能勢地方の蛾(V) スギタニモンキリガとその近縁種について Crude 34:1-5
- 30) 新家 勝(1985) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(統報その4) きべりはむし13(2):36-40
- 31) 新家 勝(1981) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(その2) きべりはむし9(2):17-20
- 32) 林 俊雄(1983) 淡路島産蛾類採集記録(I) PARNASSIUS 28:13-16
- 33) 藤富正昭(1994) 私版 淡路の昆虫リスト PARNASSIUS 41:1-4
- 34) 藤平 明(1987) 南淡の蛾 自刊
- 35) 藤平 明(1999) 淡路島南部の蛾 自刊 1-96
- 36) 藤平 明(1974) 南淡の蛾(II) PARNASSIUS 12:5-13
- 37) 松本健嗣(1983) 神戸市山田町の蛾(続報II) きべりはむし11(2):57-58
- 38) 八木 剛(1998) 六甲山系布引公園および鉢 伏山のキリガ類相 きべりはむし26(2):67-74
- 39) 柳田慶浩(1999) 西日本(九州主体)の興味ある銀類 誘銀灯156:29-44
- 40) 山口福男(1999) 諏訪山公園で採集した蛾 きべりはむし27(2):37-41
- 41) 山本義丸(1958) 兵庫県氷上郡昆虫目録12-50
- 42) 山本義丸(1996) 兵庫県氷上郡地方の蛾類(1) きべりはむし24(2):1-13
- 43) 山本義丸(1997) 兵庫県で採集した蛾の記録 きべりはむし25(2):54-57
- 44) 山本義丸(1955) 氷ノ山の蛾について(第1 報) 兵庫生物3(1/2):3-6
- 45) 遊磨正秀(1973) 六甲山地域の蛾類 I きべりはむし2(1):1-9
- 46) 遊磨正秀(1979) 宍粟郡波賀町引原ダムの蛾 類について(II) きべりはむし7(2):2-16

(TAKASHIMA AKIRA 姫路市費写2542-2)

毎年9月中ごろから10月中ごろにかけて、宝塚ではアサギマダラが尾根道を飛んでいたり、山ろく部でヒヨドリバナ・サワヒヨドリ・ヒメアザミ、時にはセイタカアワダチソウで吸蜜しているのがよく見られる。

平成12年9月25日午後2時ごろ、武田尾の道路沿いのJR旧福知山線よう壁をはっているガガイモにアサギマダラ1♀が飛んで来て産卵するのを目撃した。その後、何度か様子を見に行ったが、ふ化は見られず、10月24日には黒く変色し、11月になるとガガイモは黄変してしまった。アサギマダラの食草はカモメヅル・オオカモメヅル・キジョランなど多種のガガイモ科植物とされており、当地ではガガイモを食草にしていることはほぼ確かだと言える。なお、付近にはやはりガガイモ科のイケマも生えているので、今後、よく注意して幼虫の生育時期なども観察しようと思う。

(NIINOMI MASARU 宝塚市光明町8-57)

兵庫県からのテントウムシの記録 稲畑 憲昭

次の種は兵庫県から記録が見当たらないようなの で報告しておく。

1. Scymnus rectus (Ôhta)

オオタツマアカヒメテントウ

lex. 1.V.1996 兵庫県氷上郡市島町北奥塚原 lex. 1.V.1997 兵庫県氷上郡市島町北奥神池

2. Scymnus nigrosuturalis H.Kamiya

クロスジヒメテントウ

1ex. 22.VI.1996 兵庫県神戸市中央区脇ヶ浜町2丁 目14 脇ヶ浜公園

末筆ながら、同定して頂いた斎藤琢己氏に深謝申 し上げる。

<参考文献>

髙橋寿郎氏遺稿集(2000) 兵庫県のテントウムシ

(2) きべりはむし28(1):12-31.

(INAHATA NORIAKI

神戸市灘区八幡町1-2-54-C202)

兵庫県からのオオキノコムシの記録 稲畑 憲昭

筆者は夜間、炭焼き小屋の材木上を歩いていたウスモンホリオオキノコ Oacne akitai Narukawa を採集した。この種は平地でも比較的よく採集されるそうだが、兵庫県からの正式な記録はないようである。念のため記録しておきたい。

4exs.,3.VI.1999 兵庫県氷上郡市島町北奥塚原 最後に、同定などお世話になった生川展行氏に厚 くお礼申し上げる。

(INAHATA NORIAKI

神戸市灘区八幡町1-2-54-C202)

但馬でのイシガケチョウ採集記録 立岩 幸雄

地球温暖化の影響か、もっか生息地の北上が言われているイシガケチョウを但馬地方で採集したので 報告する。

イシガケチョウ 1♀ 完品 採集日時:1994年8月4日 正午

天気:快晴

採集地:城崎郡日高町阿瀬渓谷

状況: 渓流沿いの開けて空間を滑空していた。 近くに食樹のイヌピワを探したが見当たらなかった。 (TATEIWA YUKIO 加古川市加古川町西河原97-7 サンロイヤル加古川リバージュII 713)

兵庫県の蝶数種から発生した寄生バエ 広畑 政巳

- 1. クワゴヤドリバエ Exorista sorbillans (Wiedemann) キアゲハ(市川町上牛尾産)より発生
- 2. マダラヤドリバエ Sturmia bella (Meigen) ヒオドシチョウ(夢前町菅生澗産)より発生
- 3. ノコギリハリバエ Compsilura concinnata (Meigen) キチョウ(姫路市青山産)より発生 (HIROHATA MASAMI 姫路市白鳥台3丁目11-8)

ウラナミシジミの 冬季における生態について 浅田 卓

筆者は、2000年12月1日に淡路島において、多数 のウラナミシジミの産卵行動を目撃したので報告す る。場所は、北淡町野島常盤にある県立淡路景観園 芸学校の校内で、当日は気温が18度と高く晴天であ ったため、所々でウラナミシジミのほかウラギンシ ジミ、ツマグロヒョウモン等の飛翔が確認された。 中でも、校内敷地の法面に緑化目的で種子吹付が行 われた「セイヨウミヤコグサ」の数株に、約20頭のウ ラナミシジミが群飛し、雄雌の追肥も観察された。 個体はかなり汚損しており、ほとんど原型をとどめ ないギザギザで羽に鱗粉のないものまであったが、 雌はセイヨウミヤコグサに止まっては産卵し、また 飛ぶという行動を繰り返していた。花や実は全く無 く、産卵場所は新鮮な葉の表側の縁であり、一卵ず つ産んでいた。しかし、個体数が多いため、小さな 一枚の葉に4~5卵あるものも散見された。セイヨウ ミヤコグサは、校内敷地の各所にあるようだが、こ れだけ多くのウラナミシジミがいたのは1箇所しか 確認できなかった。また、観察場所から約10mほど 離れたところで葉がすべて食害されほとんど茎だけ になったセイヨウミヤコグサが数株あった。しかし、 既に幼虫、蛹等は見当たらず、ウラナミシジミの前 世代なのか、何か他の種による食害なのかは不明で ある。

なお、室内で飼育した幼虫は3令の休眠中に死ん だが、自然状態でこれらの個体が越冬できたのかど うかは未確認である。

北淡町野島常盤 県立淡路景観園芸学校内 1.XII.2000 成虫多数目撃 産卵多数目撃



(ASADA TAKASHI 神戸市垂水区西舞子7丁目16-2-108)

兵庫県北部における オオゴキブリの越冬について 浅田 卓

筆者は、2001年1月16日に大屋町において、越冬中のオオゴキブリを採集したので報告する。場所は、大屋町夏梅にあるヒノキ林の中で、尾根筋の枯死したヒノキ倒木の皮を剥いでみたところ越冬中のオオゴキブリ1♀を発見した。当日は、県北部に大雪注意報が発令中で、天候は晴れていたが、気温は0度と寒く、数日前からの降雪のため林内にも積雪があった。

採集した当初は、ヒノキの皮の隙間にも雪が氷の 状態で入り込んでいたため、オオゴキブリも死体と 勘違いするほど硬く凍っていたが、フィルムケース に入れて持ち歩くうち、体温が上がって動き出し生 きていたことに驚かされた。文献によると、オオゴ キブリが分布する北限は新潟県となっているが、本 来南方系の昆虫であることから、県北部の積雪地の 中での越冬個体の発見はデータが少ないと思われる ので報告する。なお、個体は神戸市の自宅で越冬し 現在も飼育中である。

養父郡大屋町夏梅 16.I.2001 1ex.採集 浅田 卓 (ASADA TAKASHI

神戸市垂水区西舞子7丁目16-2-108)

ヒメアカタテハの食草オオオナモミ 近藤 伸一

ヒメアカタテハがオオオナモミを食草としている ことが確認できた。

1999年秋、兵庫県下のブタクサハムシの分布調査時、淡路島の土取り跡地と加古川河川敷でオオオナモミの葉からヒメアカタテハの幼虫を採集した。数千枚のオオオナモミの葉を調べてわずかに2例を確認したに過ぎず、オオオナモミが広くヒメアカタテハの食草になっているかどうかは不明であるが、オオオナモミで飼育した結果、順調に成長して2匹とも通常の大きさの蛹になり、うち1頭が羽化した。採集記録

兵庫県北淡町江崎 若齢幼虫採集 18-X-1999

21-XI-1999 死亡確認

兵庫県加古川市 中齢幼虫採集 24-X-1999

21-XI-1999 1。7 羽化

(KONDO SHINICHI 神戸市西区岩岡町岩岡619-57)

県関係文献紹介

- 〇 稲田和久(2000) 千種川水系のカワゲラ類(第1報)
 - 兵庫陸水生物51/52:187-206(別刷)
- 〇 稲田和久(2000) 兵庫県のカワゲラ類目録(第1報) 兵庫陸水生物51/52:17-23(別刷)

いずれも兵庫陸水生物に発表されたもの。著者より別刷を頂いた。カワゲラ類はまだまだ分布はおろか、分類、生態などベールに包まれた仲間であり、稲田氏は研究の第一人者のひとりとして活躍されている。 千種川水系のカワゲラ類(第1報)では、著者が1991年より継続的に調査を行い観察した3,865個体の標本に基づき、8科35属69種(あるいはグループ)を報告している。

兵庫県のカワゲラ類目録(第1報)では、県下の11水系の主要河川及び淡路島におけるカワゲラ類の分布状況を水系別一覧表として報告している。これによると、兵庫県では123種(あるいはグループ)のカワゲラが確認されたことになる。また、県下のカワゲラ類の分布の特徴を解説し、とくに分布域が限定されると考えられる種として、フトオモンカワゲラ(揖保川)、キクロカワゲラ(千種川)、ジョウクリモンカワゲラ(千種川)、ヒメクロフタツメカワゲラ(夢前川)、チグサクラカケカワゲラ(千種川、市川)、クロフタツメカワゲラ(揖保川、岸田川)、セスジミドリカワゲラモドキ(揖保川、円山川)、セッケイカワゲラをあげている。また、南流する水系と北流する水系で分布傾向に違いが見られる種についても言及している。

どちらも「第1報」となっており、さらにカワゲラ相の解明に向けて引き続きのご努力を期待したい。

(A.T)

交換誌・寄贈誌紹介

2000. 10. 16~2001. 4. 25

昨年10月以降、下記の文献が事務局に届いています。ご利用下さい(掲載はアルファベット順)。 なお、県内関係記事の内容については兵昆通信No.3で紹介していますので、併せてご参照下さい。

県内(主として県内の記事を多く含むもの)

混蟲ずかん(但馬むしの会連絡誌) No.71(XL2000) 姫昆サロンニュース(姫路昆虫同好会連絡誌) No.136(IL2001)

県外(県外の同好会誌、専門誌等)

FUTAO(フタオ会会誌) No.35(XL2000), No.36(L2001) 比婆科学(比婆科学教育振興会会誌) No.196(X.2000)

ホシザキグリーン財団研究報告第4号(XII.2000)

KURAKON(倉敷昆虫同好会連絡誌) No.49(XII.2000), No.50(III.2001)

LUCANUS WORLD No.23(XII.2000), No.24(II.2001), No.25(IV.2001)

みちしるべ(岡山昆虫談話会会誌) No.28(XII.2000)

すずむし(倉敷昆虫同好会会誌) No.136(III.2001)

ゆらぎあ(鳥取昆虫同好会倉吉支部会誌) No.18(XII.2000)

誘蛾燈(誘蛾会会誌) No.161(XL2000), No.162(XL2000), No.163(L2001)

寄せ蛾記(埼玉昆虫談話会会誌) No.98(XL2000)

編集後記

- ◆きべりはむし第29巻第1号をお届けします。故高橋寿郎氏の遺稿として、今回は多可郡の甲虫目録とデオキノコムシのまとめを掲載します。これで事務局で預かっている氏の兵庫県に関係する報文はほぼ掲載したことになります。
- ◆高橋氏の独壇場であった甲虫関係では、内藤隆夫氏からマグソコガネ類の注目すべき 種について報告があったほか、稲畑憲昭氏からは短報が2編寄せられました。
- ◆また、今回の特徴として、「観察もの」が目立ちました。立岩幸雄氏からヒメヒカゲの 観察記録、山口福男氏からはなんと32年にわたるギフチョウの観察記録が寄せられまし た。また、広畑・近藤両氏の共著により県内で観察された蝶の食餌植物の一覧が寄せら れました。昆虫の発生消長、習性、行動など、よくわかっているようで実はわからない ことがたくさんあります。一見地味と思われがちですが、昆虫の行動の記録がもしかす ると種の進化の関わるような重大な発見の材料になるかもしれません。これまで、本誌 では採集記録の報告や文献に関する報文が多い傾向にありましたが、飼育や野外での観 祭記録など大歓迎です。
- ◆兵庫昆虫同好会では、30周年を前に世代交代が急ピッチに進んでいます。最近、兵庫 昆虫同好会発足当初からのペテランの会員さんの退会が増えてきた一方で、新しく入会 された方も多く、私たちが「きべりはむし」の編集を受け継いでからの6年間に入会され た会員が過半数を超えました。この半年を見ても8名の新入会員を迎えています。新し い方の投稿を期待しています。本会では難しい投稿規程などな定めていませんが、書き 方やまとめ方がわからないため投稿を躊躇される方も多いのではないかと思います。も し、不安な場合は事務局までご相談ください。

短報も大歓迎です。ほんのメモ程度でも結構ですので、お気軽に投稿ください。

◆次回の「きべりはむし」の発行は2001年11月です。締切は9月末日ですが、原稿は常時受け付けています。短報はきちんとした文章でなくても、メモ程度でも結構です。お気軽に御一報下さい。 (編集担当 高島 昭)

きべりはむし 第29巻 第1号

2001年5月25日発行

発 行: 兵庫昆虫同好会

編 集: 近藤伸一・高島昭

事務局,原稿送付先:

〒671-2201 姫路市書写2542-2 高島 昭 方

FAX 0792-66-7496

e-mail akira-takashima@mti.biglobe.ne.jp

郵便振替口座: 01170-3-26646

印刷: 岩峰社・東京

______ 目 次

【報 文】

世メヒカゲの観察記録 立 立岩幸雄 1 世間山のギフチョウ 山口福男 3 兵庫県の蝶観察記録一食餌植物一 広畑政巳・近藤伸一 5 9 可郡の甲虫相 故高橋寿郎氏遺稿集No.9 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
兵庫県の蝶観察記録ー食餌植物ー 5 多可郡の甲虫相 故高橋寿郎氏遺稿集No.9 長庫昆虫同好会事務局編 10 兵庫県のデオキノコムシ 故高橋寿郎氏遺稿集No.10 兵庫昆虫同好会事務局編 28 兵庫県下のオピモンマグソコガネほか数種のマグソコガネの記録 へ内藤隆夫 33 兵庫県のセダカモクメ亜科(兵庫県産蝦類分布資料・20) 高島昭 34 【短報】 9月末にアサギマダラの産卵を目撃 新家勝 50 兵庫県からのテントウムシの記録 稲畑憲昭 50 兵庫県からのオオキノコムシの記録 稲畑憲昭 50 兵庫県の線数種から発生した寄生パエ 広畑政已 ウラナミシジミの冬季における生態について 浅田卓 51 兵庫県北部におけるオオゴキブリの越冬について 浅田卓 51 兵庫県北部におけるオオゴキブリの越冬について 浅田卓 51 県関係文献紹介・ 52	ヒメヒカゲの観察記録 ・・・・・・・・・・・・・・・・立岩幸雄	1
多可郡の甲虫相 故高橋寿郎氏遺稿集No.9 10 兵庫県のデオキノコムシ 故高橋寿郎氏遺稿集No.10 兵庫昆虫同好会事務局編 28 兵庫県下のオピモンマグソコガネほか数種のマグソコガネの記録・・・・・・ 内藤隆夫 33 兵庫県のセダカモクメ亜科(兵庫県産螻類分布資料・20) 高島昭 34 【短報】 9月末にアサギマダラの産卵を目撃・新家勝兵庫県からのテントウムシの記録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	雌岡山のギフチョウ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
世 故 高橋 寿郎氏 遠 稿集 No. 9 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	兵庫県の蝶観察記録一食餌植物ー ・・・・・・・・広畑政巳・近藤伸一	5
長庫県のデオキノコムシ 故高橋寿郎氏遠稿集No.10 28 兵庫県下のオビモンマグソコガネほか数種の マグソコガネの記録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	多可郡の甲虫相	
世内の は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	故髙橋寿郎氏遺稿集No.9 ·······兵庫昆虫同好会事務局編	10
兵庫県下のオビモンマグソコガネほか数種のマグソコガネの記録 の内藤隆夫 33 兵庫県のセダカモクメ亜科 (兵庫県産銀類分布資料・20) 高島 昭 34 【短 報】 9月末にアサギマダラの産卵を目撃 新家 勝 50 兵庫県からのテントウムシの記録 稲畑憲昭 50 兵庫県からのオオキノコムシの記録 稲畑憲昭 50 但馬でのイシガケチョウの採集記録 立岩幸雄 50 兵庫県の蝶数種から発生した寄生パエ 広畑政已 50 ウラナミシジミの冬季における生態について 浅田 卓 51 兵庫県北部におけるオオゴキブリの越冬について 浅田 卓 51 ヒメアカタテハの食草オオオナモミ 近藤伸 51 県関係文献紹介 52	兵庫県のデオキノコムシ	
マグソコガネの記録 ・・・・・ 内藤隆夫 33 兵庫県のセダカモクメ亜科 (兵庫県産機類分布資料・20) ・・・・・・・・ 高島 昭 34 【短 報】	故髙橋寿郎氏遺稿集No.10 ············兵庫昆虫同好会事務局編	28
兵庫県のセダカモクメ亜科 (兵庫県産鐵類分布資料・20) 高島 昭 34 【短 報】 9月末にアサギマダラの産卵を目撃 新家 勝 50 兵庫県からのテントウムシの記録 福畑憲昭 50 兵庫県からのオオキノコムシの記録 福畑憲昭 50 但馬でのイシガケチョウの採集記録 立岩幸雄 50 兵庫県の螺数種から発生した寄生パエ 広畑政已 50 ウラナミシジミの冬季における生態について 浅田 卓 51 兵庫県北部におけるオオゴキブリの越冬について 浅田 卓 51 ヒメアカタテハの食草オオオナモミ 51 県関係文献紹介 52	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	00
(兵庫県産機類分布資料・20) 高島 昭 34 [短報] 9月末にアサギマダラの産卵を目撃 新家 勝 50 兵庫県からのテントウムシの記録 ・稲畑憲昭 50 兵庫県からのオオキノコムシの記録 ・稲畑憲昭 50 但馬でのイシガケチョウの採集記録 ・立岩幸雄 50 兵庫県の蝶数種から発生した寄生パエ		33
[短 報] 9月末にアサギマダラの産卵を目撃 ・・・・・新家 勝 50 兵庫県からのテントウムシの記録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		34
9月末にアサギマダラの産卵を目撃 新家 勝 50 兵庫県からのテントウムシの記録 稲畑憲昭 50 兵庫県からのオオキノコムシの記録 稲畑憲昭 50 但馬でのイシガケチョウの採集記録 立岩幸雄 50 兵庫県の蝶数種から発生した寄生パエ 広畑政巳 50 広畑政巳 50 ウラナミシジミの冬季における生態について 浅田 卓 51 長庫県北部におけるオオゴキブリの越冬について 浅田 卓 51 ヒメアカタテハの食草オオオナモミ 近藤伸ー 51 近藤伸ー 51 県関係文献紹介 52 52		04
9月末にアサギマダラの産卵を目撃 新家 勝 50 兵庫県からのテントウムシの記録 稲畑憲昭 50 兵庫県からのオオキノコムシの記録 稲畑憲昭 50 但馬でのイシガケチョウの採集記録 立岩幸雄 50 兵庫県の蝶数種から発生した寄生パエ 広畑政巳 50 広畑政巳 50 ウラナミシジミの冬季における生態について 浅田 卓 51 長庫県北部におけるオオゴキブリの越冬について 浅田 卓 51 ヒメアカタテハの食草オオオナモミ 近藤伸ー 51 近藤伸ー 51 県関係文献紹介 52 52		
兵庫県からのテントウムシの記録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	【短 報】	
兵庫県からのオオキノコムシの記録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9月末にアサギマダラの産卵を目撃 ・・・・・・・・・・・新家 勝	50
但馬でのイシガケチョウの採集記録 ・・・・・・・立岩幸雄 50 兵庫県の蝶数種から発生した寄生パエ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	兵庫県からのテントウムシの記録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	50
兵庫県の螺数種から発生した寄生パエ 50 ウラナミシジミの冬季における生態について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	兵庫県からのオオキノコムシの記録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	50
ウラナミシジミの冬季における生態について ・・・・・・・・・・・ 浅田 卓 51 兵庫県北部におけるオオゴキブリの越冬について ・・・・・ 浅田 卓 51 ヒメアカタテハの食草オオオナモミ ・・・・・・・・・・ 近藤伸一 51 県関係文献紹介・・・・・・・・・ 52	但馬でのイシガケチョウの採集記録 ・・・・・・・・・・・・・・立岩幸雄	50
兵庫県北部におけるオオゴキブリの越冬について ····・浅田 卓 51 ヒメアカタテハの食草オオオナモミ ·····・・・・・近藤伸一 51 県関係文献紹介・・・・・・・・・・・ 52	兵庫県の蝶数種から発生した寄生パエ ・・・・・・・・・・広畑政巳	50
兵庫県北部におけるオオゴキブリの越冬について ····・浅田 卓 51 ヒメアカタテハの食草オオオナモミ ·····・・・・・近藤伸一 51 県関係文献紹介・・・・・・・・・・・ 52	ウラナミシジミの冬季における牛態について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	51
ヒメアカタテハの食草オオオナモミ 51 県関係文献紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52		-
県関係文献紹介······ 52		
	ヒメアカタテハの食草オオオナモミ ・・・・・・・・・・・近藤伸一	51
交換誌・寄贈誌紹介 ・・・・・・・・・・・・・ 52	県関係文献紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	52
	交換誌・寄贈誌紹介 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	52